

審査意見への対応を記載した書類（9月）

（是正事項） 保健医療学研究科救急災害医療学専攻（D） （博士課程）

1. 【第一次審査意見3の回答について】

＜研究指導科目の内容が不適切＞

特別演習科目と特別研究科目について、依然として各科目における授業概要や到達目標、及び講義計画の各回の詳細な授業内容が不明確なものや、同一の科目の中で担当教員の違いにより、指導内容が異なっているものがあり、これらの科目の教育内容がディプロマ・ポリシーに対応しているか疑義があるため、以下に例示する内容も含め、教育課程を網羅的に適切に改めること。

（1）複数の教員が共同で開講する「救急災害医療学特別演習Ⅰ」及び「救急災害医療学特別研究Ⅰ」について、到達目標や評価方法が担当教員ごとに異なっていると同時に、各回の授業内容が単なる「関連論文の紹介・解説」や「レジュメ作成」となっているものや、評価方法が「討論中の発言や態度」のみとなっているもの、及び科目内容が修士課程相当と見受けられるものがある。

（2）「救急災害医療学特別演習Ⅰ」については、複数回の授業内容が「文献のレジュメ作成、内容検討」、「原著論文を要約しプレゼンテーション」及び「関連論文の紹介」とあるなど、依然として各回の詳細な授業内容が不明確である。

（対応）

審査意見を踏まえ、全10科目（専門科目4科目、研究指導科目6科目）のシラバス（授業内容）を下記のとおり網羅的に改めた。

① 専門科目

- 1) 「救急災害医療学特講」は、ディプロマ・ポリシーのA「最新の医学や社会情勢を常に学ぶ姿勢を有し、自立して研究活動を行う能力」に対応した内容であることが明確になるよう「講義概要・目標」、「履修注意」、「評価方法」及び「講義計画・内容」をより具体性のある内容に改めた。
- 2) 「救急災害医療学演習」・「スポーツ救急特講」・「国際救急・災害システム演習」は、ディプロマ・ポリシーのイ「国際的な視野と高い倫理観を有し、社会の発展に貢献できる能力」に対応した内容であることが明確になるよう「講義概要・目標」、「履修注意」、「評価方法」及び「講義計画・内容」をより具体性のある内容に改めた。

② 研究指導科目

- 1) 「講義概要・目標」は、本専攻が掲げるディプロマ・ポリシーに対応した内容とすべく、一般目標・行動目標を明記し、行動目標には領域（「認知領域」、「精神・運動領域」、「情意領域」）毎の目標を定めた。また、教員間の概要・目標を統一した。
- 2) 「履修注意」は、レポート、課題、プレゼンテーション資料及び研究ノートに関する注意事項の文言を整えた。
- 3) 「評価方法」は、領域（「認知領域」、「精神・運動領域」、「情意領域」）毎の評価方法を定めるとともに、教員によって評価基準が異ならないよう、教員間で情報交換を行うこととし、その旨をシラバスに明記した。
- 4) 「講義計画・内容」は、より具体性のある内容に改めた。

次ページ以降に再補正後、再補正前のシラバスを添付する。

科目	救急災害医療学特講	担当	オムニバス方式/共同(一部) 主:小川 理郎 山本 保博、横田 裕行、平沼 直人、 後藤 真吏奈、鈴木 健介	90分×15回	1年	前期・集中
					必修	2単位

講義概要・目標

救急・災害医学に関する最新の知識及び社会情勢を学習し、自立して研究活動を行う能力を養う。最新の論文をPICO/PECOでまとめながら、研究目的・方法・結果・考察についてディスカッションを行い、研究手法や倫理的配慮など研究能力を身に着けるよう指導する。全15回を集中で実施する。(オムニバス方式/全15回)

(2 小川理郎 4 横田裕行/5回)

救急医学に関する最新の知識を修得し、The New England Journal of Medicine や Resuscitation などから最新の論文をPICO/PECOでまとめ、ディスカッションを行い、研究手法や倫理的配慮など研究能力を身に着けるよう指導する。全15回中の5回を集中で実施する。

(3 山本保博 11 鈴木健介/6回)

災害医学に関する最新の知識を修得し、Prehospital and Disaster Medicine などから最新の論文をPICO/PECOでまとめ、ディスカッションを行い、研究手法や倫理的配慮など研究能力を身に着けるよう指導する。全15回中の6回を集中で実施する。

(6 平沼 直人/2回)

救急・災害医学に関する最新の知識を修得し、救急災害医療に関する法律(善きサマリア人法など)や医療訴訟の事例から、倫理面や法的な問題点をまとめ、ディスカッションを行い、研究手法や倫理的配慮など研究能力を身に着けるよう指導する。全15回中の2回を集中で実施する。

(9 後藤真吏奈/2回)

救急医学(基礎)に関する最新の知識を修得し、The New England Journal of Medicine や The Lancet などから最新の論文をPICO/PECOでまとめ、ディスカッションを行い、研究手法や倫理的配慮など研究能力を身に着けるよう指導する。全15回中の2回を集中で実施する。

履修注意

原著論文を題材に詳細な議論が展開されるので、講義担当者より配布される論文を精読しておくこと。

評価方法

1) 討論内容(50%)、2) レポート(50%)

講義計画・内容

回	項目	内容	担当
1	災害医学1	地域における防災・減災に関する論文についてディスカッションし、分析・検討する。	山本・鈴木
2	災害医学2	病院における防災・減災に関する論文についてディスカッションし、分析・検討する。	山本・鈴木
3	災害医学3	関東大震災に関する論文についてディスカッションし、分析・検討する。	山本・鈴木
4	災害医学4	阪神淡路大震災に関する論文についてディスカッションし、分析・検討する。	山本・鈴木
5	災害医学5	東日本大震災に関する論文についてディスカッションし、分析・検討する。	山本・鈴木
6	災害医学6	近年の災害に関する論文についてディスカッションし、分析・検討する。	山本・鈴木
7	救急医学(基礎)1	蘇生の病態生理に関する論文についてディスカッションし、分析・検討する。	後藤
8	救急医学(基礎)2	集中治療における論文についてディスカッションし、分析・検討する。	後藤
9	救急災害医学(法律)	救急災害医療に関する法律(善きサマリア人法など)についてディスカッションし、分析・検討する。	平沼
10	救急災害医学(医療訴訟)	過去の医療訴訟の事例についてディスカッションし、分析・検討する。	平沼
11	救急医学1	ファーストレスポnderに関する論文についてディスカッションし、分析・検討する。	小川・横田
12	救急医学2	通信指令に関する論文についてディスカッションし、分析・検討する。	小川・横田
13	救急医学3	一次救命処置に関する論文についてディスカッションし、分析・検討する。	小川・横田
14	救急医学4	二次救命処置に関する論文についてディスカッションし、分析・検討する。	小川・横田
15	救急医学5	救急救命処置に関する論文についてディスカッションし、分析・検討する。	小川・横田

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学特講	担当	オムニバス方式/共同(一部) 主:小川 理郎 山本 保博、横田 裕行、平沼 直人、後藤 真吏奈、鈴木 健介	90分×15回	1年	前期・集中
					必修	2単位

講義概要・目標

救急・災害医学に関する最新の知識を習得し、研究を実践する能力を向上させる。

最新の論文をPICO/PECOでまとめながら、研究目的・方法・結果・考察についてディスカッションを行う。全15回を集中で実施する。(オムニバス方式/全15回)

(2 小川理郎 4 横田裕行/5回)

救急医学に関する最新の知識を習得する。The New England Journal of Medicine や Resuscitation などから最新の論文をPICO/PECOでまとめ、ディスカッションを行う。全15回中の5回を集中で実施する。

(3 山本保博 11 鈴木健介/6回)

災害医学に関する最新の知識を習得する。Prehospital and Disaster Medicine などから最新の論文をPICO/PECOでまとめ、ディスカッションを行う。全15回中の6回を集中で実施する。

(6 平沼 直人/2回)

救急・災害医学に関する最新の知識を習得する。救急災害医療に関する法律(善きサマリア人法など)や医療訴訟の事例から、倫理面や法的な問題点をまとめ、ディスカッションを行う。全15回中の2回を集中で実施する。

(9 後藤真吏奈/2回)

救急医学(基礎)に関する最新の知識を習得する。The New England Journal of Medicine や The Lancet などから最新の論文をPICO/PECOでまとめ、ディスカッションを行う。全15回中の2回を集中で実施する。

履修注意

授業中、各々の課題についてディスカッションするので、予習をしておくこと。

評価方法

1)プレゼンテーション(50%)、2)レポート(50%)を総合評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容	担当
1	災害医学1	地域における防災・減災に関する論文についてディスカッションする	山本・鈴木
2	災害医学2	病院における防災・減災に関する論文についてディスカッションする	山本・鈴木
3	災害医学3	関東大震災に関する論文についてディスカッションする	山本・鈴木
4	災害医学4	阪神淡路大震災に関する論文についてディスカッションする	山本・鈴木
5	災害医学5	東日本大震災に関する論文についてディスカッションする	山本・鈴木
6	災害医学6	近年の災害に関する論文についてディスカッションする	山本・鈴木
7	救急医学(基礎)1	蘇生の病態生理に関する論文についてディスカッションする	後藤
8	救急医学(基礎)2	集中治療における論文についてディスカッションする	後藤
9	救急災害医学(法律)	救急災害医療に関する法律(善きサマリア人法など)についてディスカッションする	平沼
10	救急災害医学(医療訴訟)	過去の医療訴訟の事例についてディスカッションする	平沼
11	救急医学1	ファーストレスポnderに関する論文についてディスカッションする	小川・横田
12	救急医学2	通信指令に関する論文についてディスカッションする	小川・横田
13	救急医学3	一次救命処置に関する論文についてディスカッションする	小川・横田
14	救急医学4	二次救命処置に関する論文についてディスカッションする	小川・横田
15	救急医学5	救急救命処置に関する論文についてディスカッションする	小川・横田

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学演習	担当	オムニバス方式/共同(一部) 主:小川 理郎 横田 裕行、山本 保博、 後藤 真吏奈、鈴木 健介	90分×15回	1年	後期・集中
					選択	2単位

講義概要・目標

救急・災害医学に関する最新の知識・技術を修得し、研究活動能力を向上させる指導をする。

被災地訪問や臨床施設で演習を行いながら、研究目的・方法・結果・考察・倫理的配慮についてディスカッションを行い、研究活動に繋げる指導をする。全15回を集中講義で実施する。(オムニバス方式/全15回)

(2) 小川理郎 4 横田裕行/6回)

救急医学に関する最新の知識・技術を修得する。臨床施設で演習を行い、最新の研究手法と倫理的配慮をまとめ、ディスカッション及びプレゼンテーションを行い、分析、検討内容を研究活動に繋げる指導をする。全15回中の6回を集中演習で実施する。

(3) 山本保博 11 鈴木健介/6回)

災害医学に関する最新の知識・技術を修得する。被災地訪問や、病院や消防機関が主催する災害訓練などから最新の知識・技術をまとめ、ディスカッションを行い、分析、検討内容を研究活動に繋げる指導をする。全15回中の6回を集中演習で実施する。

(9) 後藤真吏奈/3回)

救急医学(基礎)に関する最新の知識・技術を修得する。研究施設で演習を行い、研究手法についてディスカッションを行い、分析、検討内容を研究活動に繋げる指導をする。全15回中の3回を集中演習で実施する。

履修注意

各々の課題についてディスカッションするための準備を十分に行い、個別に議論するための徹底した研究内容の分析をしておくこと。

評価方法

1)プレゼンテーション(30%)、2)討論内容(30%)、3)レポート(40%)を総合評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容	担当
1	災害医学1	地域(連携協定先70ヶ所など)における災害訓練に参加しディスカッションし、分析、検討の上、研究活動に繋げる指導を行う。	山本・鈴木
2	災害医学2	災害拠点病院における災害訓練に参加しディスカッションし、分析、検討の上、研究活動に繋げる指導を行う。	山本・鈴木
3	災害医学3	関東大震災の被災地・資料館等を訪問しディスカッションし、分析、検討の上、研究活動に繋げる指導を行う。	山本・鈴木
4	災害医学4	阪神淡路大震災の被災地・資料館等を訪問しディスカッションし、分析、検討の上、研究活動に繋げる指導を行う。	山本・鈴木
5	災害医学5	東日本大震災の被災地を訪問しディスカッションし、分析、検討の上、研究活動に繋げる指導を行う。	山本・鈴木
6	災害医学6	近年の災害の被災地を訪問しディスカッションし、分析、検討の上、研究活動に繋げる指導を行う。	山本・鈴木
7	救急医学(基礎)1	基礎研究施設を訪問し、研究手法についてディスカッションし、救急医学(基礎)に関する最新の知識を研究活動に繋げる指導を行う。	後藤
8	救急医学(基礎)2	基礎研究施設を訪問し、研究手法についてディスカッションし、救急医学(基礎)に関する最新の技術を研究活動に繋げる指導を行う。	後藤
9	救急医学(基礎)3	基礎研究施設を訪問し、研究手法についてディスカッションし、分析、検討の上、研究活動に繋げる指導を行う。	後藤
10	救急医学1	東京都または政令指定都市の通信指令を行う施設を訪問しディスカッションし、分析、検討の上、研究活動に繋げる指導を行う。	小川・横田
11	救急医学2	地方都市の通信指令を行う施設を訪問しディスカッションし、分析、検討の上、研究活動に繋げる指導を行う。	小川・横田
12	救急医学3	東京都または政令指定都市で救急車同乗実習を行い救急救命処置についてディスカッションし、分析、検討の上、研究活動に繋げる指導を行う。	小川・横田
13	救急医学4	地方都市で救急車同乗実習を行い救急救命処置についてディスカッションし、分析、検討の上、研究活動に繋げる指導を行う。	小川・横田
14	救急医学5	救命救急センターで病院内実習を行い救急救命処置についてディスカッションし、分析、検討の上、研究活動に繋げる指導を行う。	小川・横田
15	救急医学6(まとめ)	救急災害医療に関する最新研究手法と研究倫理について分析、検討した内容をプレゼンテーションし、研究活動に反映させるためのまとめを行う。	小川・横田

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学演習	担当	オムニバス方式/共同(一部) 主:小川 理郎 横田 裕行、山本 保博、 後藤 真吏奈、鈴木 健介	90分×15回	1年	後期・集中
					選択	2単位

講義概要・目標

救急・災害医学に関する最新の知識・技術を習得し、研究活動能力を向上させる。

被災地訪問や臨床施設で演習を行いながら、研究目的・方法・結果・考察・倫理的配慮についてディスカッションを行う。全15回を集中講義で実施する。(オムニバス方式/全15回)

(2 小川理郎 4 横田裕行/6回)

救急医学に関する最新の知識・技術を習得する。臨床施設で演習を行い、最新の研究手法と倫理的配慮をまとめ、ディスカッションを行う。全15回中の6回を集中演習で実施する。

(3 山本保博 11 鈴木健介/6回)

災害医学に関する最新の知識・技術を習得する。被災地訪問や、病院や消防機関が主催する災害訓練などから最新の知識・技術をまとめ、ディスカッションを行う。全15回中の6回を集中演習で実施する。

(9 後藤真吏奈/3回)

救急医学(基礎)に関する最新の知識・技術を習得する。研究施設で演習を行い、研究手法についてディスカッションを行う。全15回中の3回を集中演習で実施する。

履修注意

授業中、各々の課題についてディスカッションするので、予習をしておくこと。

評価方法

1)プレゼンテーション(50%)、2)レポート(50%)を総合評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容	担当
1	災害医学1	地域(横浜市青葉区など)における災害訓練に参加しディスカッションする	山本・鈴木
2	災害医学2	災害拠点病院における災害訓練に参加しディスカッションする	山本・鈴木
3	災害医学3	関東大震災の被災地・資料館等を訪問しディスカッションする	山本・鈴木
4	災害医学4	阪神淡路大震災の被災地・資料館等を訪問しディスカッションする	山本・鈴木
5	災害医学5	東日本大震災の被災地を訪問しディスカッションする	山本・鈴木
6	災害医学6	近年の災害の被災地を訪問しディスカッションする	山本・鈴木
7	救急医学(基礎)1	基礎研究施設を訪問し、研究手法についてディスカッションする	後藤
8	救急医学(基礎)2	基礎研究施設を訪問し、研究手法についてディスカッションする	後藤
9	救急医学(基礎)3	基礎研究施設を訪問し、研究手法についてディスカッションする	後藤
10	救急医学1	東京都または政令指定都市の通信指令を行う施設を訪問しディスカッションする	小川・横田
11	救急医学2	地方都市の通信指令を行う施設を訪問しディスカッションする	小川・横田
12	救急医学3	東京都または政令指定都市で救急車同乗実習を行い救急救命処置についてディスカッションする	小川・横田
13	救急医学4	地方都市で救急車同乗実習を行い救急救命処置についてディスカッションする	小川・横田
14	救急医学5	救命救急センターで病院内実習を行い救急救命処置についてディスカッションする	小川・横田
15	救急医学6(まとめ)	救急災害医療に関する研究方法と研究倫理についてディスカッションする	小川・横田

教科書・参考書

特になし。

科目	スポーツ救急特講	担当	オムニバス方式/共同(一部) 主:平沼 憲治、 舟橋 厚、中里 浩一、 遠藤 直哉、鴻崎 香里奈	90分×15回	1年	後期・集中
					選択	2単位

講義概要・目標

スポーツ現場で発生する急性の外傷、疾病について、それぞれのスポーツ医・科学および臨床スポーツ医学専門学術誌における最新の原著論文を精読・議論し、解析する。本講義の目的は(1)スポーツ救急分野において学問的基礎となるスポーツ医・科学の最新の知見を得るとともに、その知識を土台にしてスポーツ臨床医学分野の原著論文を読解・議論し、解析することで、(2)最先端のスポーツ救急分野における研究手法や倫理的配慮など研究能力を身に着けるよう指導することにある。

(オムニバス形式/全15回)

(1 平沼 憲治/3回)

マスキング対応に関する論文と過去の事例について精読・議論する

(5 舟橋 厚/2回)

発達障害(自閉症・自閉スペクトラム障害・知的障害など)に関する臨床スポーツ医学分野の原著論文を精読・議論する。

(7 中里 浩一 12 鴻崎 香里奈/6回)

スポーツ現場で発生する急性の外傷および疾病に関連するスポーツ医・科学分野の原著論文を精読・議論する。

(10 遠藤 直哉/3回)

内科的疾患とオリンピックにおける医療体制に関する臨床スポーツ医学分野の原著論文を精読・議論する。

(1 平沼 憲治 10 遠藤 直哉/1回)

臨床スポーツ医学分野における研究手法と倫理的配慮についてディスカッションし、研究手法を決定し研究計画を立案した上で結論を導き、研究内容を論文に反映させるための指導をする。

履修注意

原著論文を題材に詳細な議論が展開されるので、講義担当者より配布される原著論文を精読しておくこと。

評価方法

1) 討論内容(50%)、2) レポート(50%)で評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容	担当
1	循環器、血管系	血管・循環器系におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について精読・議論し、解析する。	中里・鴻崎
2	呼吸器系	呼吸器におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について精読・議論し、解析する。	中里・鴻崎
3	消化器系・内分泌代謝系	消化器(肝臓、胆嚢、膵臓等)におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について精読・議論し、解析する。	中里・鴻崎
4	脳・神経系	脳・神経系におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について精読・議論し、解析する。	中里・鴻崎
5	筋肉系	骨格筋におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について精読・議論し、解析する。	中里・鴻崎
6	骨・関節系	骨・関節におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について精読・議論し、解析する。	中里・鴻崎
7	障害者スポーツ1	臨床スポーツ医学分野における自閉症・自閉スペクトラム障害に関する臨床スポーツ医学分野の原著論文について精読・議論し、解析する。	舟橋
8	障害者スポーツ2	臨床スポーツ医学分野における知的障害に関する原著論文について精読・議論し、解析する。	舟橋
9	スポーツ心臓・突然死	臨床スポーツ医学分野における肥大型心筋症、心臓振とう等に関する原著論文について精読・議論し、解析する。	遠藤
10	熱中症	臨床スポーツ医学分野における熱中症の予防・救急処置等に関する原著論文について精読・議論し、解析する。	遠藤
11	オリンピックにおける医療体制	各種スポーツを取り巻く環境及びオリンピックにおける医療体制に関する論文と過去の事例について精読・議論し、解析する。	遠藤
12	スポーツマスキングイベント対応1	スポーツ現場におけるマスキング対応に関する論文と過去の事例について精読・議論し、解析する。	平沼
13	スポーツマスキングイベント対応2	スポーツ現場におけるファーストレスポンスシステムに関する論文と過去の実例について精読・議論し、解析する。	平沼
14	スポーツマスキングイベント対応3	スポーツ現場におけるテロ対策に関する論文と過去の実例について精読・議論し、解析する。	平沼
15	まとめ	臨床スポーツ医学分野における研究手法と倫理的配慮についてディスカッションし、研究手法を決定し研究計画を立案した上で結論を導き、研究内容を論文に反映させるための指導をする。	平沼・遠藤

教科書・参考書

特になし。

科目	スポーツ救急特講	担当	オムニバス方式/共同(一部) 平沼 憲治、舟橋 厚、 中里 浩一、遠藤 直哉、 鴻崎 香里奈	90分 ×15回	1年	後期・集中
					選択	2単位

講義概要・目標

スポーツ現場で発生する急性の外傷、疾病について、そのスポーツ医・科学および臨床スポーツ医学専門学術誌における最新の原著論文を精読・議論する。本講義の目的は(1)スポーツ救急分野において学問的基礎となるスポーツ医・科学の最新の知見を得るとともに、その知識を土台にしてスポーツ臨床医学分野の原著論文を読解・議論することで、(2)最先端のスポーツ救急分野における研究手法や倫理的配慮など研究能力を身に着けることにある。

(オムニバス形式/全15回)。

(1 平沼 憲治/3回)

マスキング対応に関する論文と過去の事例について精読・議論する

(5 舟橋 厚/2回)

発達障害(自閉症・自閉スペクトラム障害・知的障害など)に関する臨床スポーツ臨床医学分野の原著論文を精読・議論する。

(7 中里 浩一 12 鴻崎 香里奈/6回)

スポーツ現場で発生する急性の外傷および疾病に関連するスポーツ医・科学分野の原著論文を精読・議論する。

(10 遠藤 直哉/3回)

内科的疾患とオリンピックにおける医療体制に関する臨床スポーツ医学分野の原著論文を精読・議論する。

(1 平沼 憲治 10 遠藤 直哉/1回)

臨床スポーツ医学分野における研究手法と倫理的配慮についてディスカッションする

履修注意

原著論文を題材に詳細な議論が展開されるので、講義担当者より配布される原著論文を精読しておくこと。

評価方法

ディスカッション、課題レポートで評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容	担当
1	循環器、血管系	血管・循環器系におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について	中里・鴻崎
2	呼吸器系	呼吸器におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について	中里・鴻崎
3	消化器系・内分泌代謝系	消化器(肝臓、胆嚢、膵臓等)におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について	中里・鴻崎
4	脳・神経系	脳・神経系におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について	中里・鴻崎
5	筋肉系	骨格筋におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について	中里・鴻崎
6	骨・関節系	骨・関節におけるスポーツ医・科学関連の原著論文について	中里・鴻崎
7	障害者スポーツ1	臨床スポーツ医学分野における自閉症・自閉スペクトラム障害に関する原著論文について	舟橋
8	障害者スポーツ2	臨床スポーツ医学分野における知的障害に関する原著論文について	舟橋
9	スポーツ心臓・突然死	臨床スポーツ医学分野における肥大型心筋症、心臓振とう等に関する原著論文について	遠藤
10	熱中症	臨床スポーツ医学分野における熱中症の予防・救急処置等に関する原著論文について	遠藤
11	オリンピックにおける医療体制	各種スポーツを取り巻く環境であるオリンピックにおける医療体制に関する論文と過去の事例について	遠藤
12	スポーツマスキングイベント対応1	スポーツ現場におけるマスキング対応に関する論文と過去の事例について	平沼
13	スポーツマスキングイベント対応2	スポーツ現場におけるファーストレスポンスシステムに関する論文と過去の事例について	平沼
14	スポーツマスキングイベント対応3	スポーツ現場におけるテロ対策に関する論文と過去の事例について	平沼
15	まとめ	臨床スポーツ医学分野における研究手法と倫理的配慮についてディスカッションする	平沼・遠藤

教科書・参考書

特になし。

科目	国際救急・災害システム演習	担当	オムニバス方式/共同 主:小川 理郎、 山本 保博、横田 裕行、 鈴木 健介	90分×15回	1年	後期・集中
					選択	2単位

講義概要・目標

国際救急・災害システムに関する最新の知識・技術を修得し、研究活動能力及び国際的な視野を身に着けるための指導をする。

臨床施設で演習を行いながら、研究目的・方法・結果・考察・倫理的配慮についてディスカッションを行い、さらに、個別に事例を分析した上で、各々に適する徹底した指導と、議論・分析内容を論文に反映できるよう指導をする。全 15 回を集中講義で実施する。(オムニバス方式/全 15 回)

(2) 小川理郎 4 横田裕行/8回)

米国の救急医学に関する最新の知識・技術を修得するため、米国の臨床施設で演習を行い、最新の知識・技術をまとめ、研究手法と倫理的配慮についてディスカッションをした上で、個別事例を分析し、徹底した指導をするとともに、議論・分析内容を論文に反映できるよう指導する。全 15 回中の 8 回を集中演習で実施する。

(3) 山本保博 11 鈴木健介/7回)

米国の災害医学に関する最新の知識・技術を修得する。病院や消防機関が主催する災害訓練などから最新の知識・技術をまとめ、研究手法と倫理的配慮についてディスカッションをした上で、個別事例を分析し、徹底した指導をするとともに、議論・分析内容を論文に反映できるよう指導する。全 15 回中の 7 回を集中演習で実施する。

履修注意

各々の課題についてディスカッションするための準備を十分に行い、徹底した研究内容の分析をしておくこと。

評価方法

1)プレゼンテーション(30%)、2)討論内容(30%)、3)レポート(40%)を総合評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容	担当
1	災害システム1	米国連邦緊急事態管理庁を訪問し災害対応についてディスカッションする。	山本・鈴木
2	災害システム2	米国連邦緊急事態管理庁を訪問し災害対応についてディスカッションし、分析、検討の上、指導する。	山本・鈴木
3	災害システム3	米国連邦緊急事態管理庁を訪問し災害対応についてディスカッションし、分析、検討した内容を論文に反映できるよう指導する。	山本・鈴木
4	救急災害システム1	米国運輸省を訪問しEMSの災害対応についてディスカッションする。	山本・鈴木
5	救急災害システム2	米国運輸省を訪問しEMSの災害対応についてディスカッションし、分析、検討の上、指導する。	山本・鈴木
6	救急災害システム3	米国運輸省を訪問しEMSの災害対応についてディスカッションし、分析、検討した内容を論文に反映できるよう指導する。	山本・鈴木
7	救急災害システム4	米国におけるEMSの研究手法と倫理的配慮についてディスカッションし、分析、検討の上、論文に反映できるよう指導する。	山本・鈴木
8	救急医学1	米国シアトルの通信指令を行う施設を訪問しディスカッションし、分析、検討の上、指導する。	小川・横田
9	救急医学2	米国シアトルの救急車同乗実習を行い、救急システムについてディスカッションする。	小川・横田
10	救急医学3	米国シアトルの救急車同乗実習を行い、救急システムについてディスカッションし、分析、検討の上、指導する。	小川・横田
11	救急医学4	米国シアトルの救急車同乗実習を行い、臨床研究手法についてディスカッションし、分析、検討の上、論文に反映できるよう指導する。	小川・横田
12	救急医学5	米国シアトルの救急車同乗実習を行い、倫理的配慮についてディスカッションし、分析、検討の上、論文に反映できるよう指導する。	小川・横田
13	救急医学6	米国シアトルの外傷センターを視察し、救急システムについてディスカッションし、分析、検討の上、指導する。	小川・横田
14	救急医学7	米国シアトルの外傷センターを視察し、救急システムについてディスカッションし、分析、検討した内容を論文に反映できるよう指導する。	小川・横田
15	救急医学8(まとめ)	米国における最新の臨床研究手法と倫理的配慮について分析、検討した内容をプレゼンテーションし、研究活動に反映させるためのまとめを行う。	小川・横田

教科書・参考書

特になし。

科目	国際救急・ 災害システム演習	担当	オムニバス方式/共同 主:小川 理郎、 山本 保博、横田 裕行、 鈴木 健介	90分×15回	1年	後期・集中
					選択	2単位

講義概要・目標

国際救急・災害システムに関する最新の知識・技術を習得し、研究活動能力を向上させる。
臨床施設で演習を行いながら、研究目的・方法・結果・考察・倫理的配慮についてディスカッションを行う。全 15 回を集中講義で実施する。(オムニバス方式/全 15 回)

(2 小川理郎 4 横田裕行/8 回)

米国の救急医学に関する最新の知識・技術を習得する。臨床施設で演習を行い、最新の知識・技術をまとめ、研究手法と倫理的配慮についてディスカッションを行う。全 15 回中の 8 回を集中演習で実施する。

(3 山本保博 11 鈴木健介/7 回)

米国の災害医学に関する最新の知識・技術を習得する。病院や消防機関が主催する災害訓練などから最新の知識・技術をまとめ、研究手法と倫理的配慮についてディスカッションを行う。全 15 回中の 7 回を集中演習で実施する。

履修注意

授業中、各々の課題についてディスカッションするので、予習をしておくこと。

評価方法

1)プレゼンテーション(50%)、2)レポート(50%)を総合評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容	担当
1	災害システム1	米国連邦緊急事態管理庁を訪問し災害対応についてディスカッションする	山本・鈴木
2	災害システム2	米国連邦緊急事態管理庁を訪問し災害対応についてディスカッションする	山本・鈴木
3	災害システム3	米国連邦緊急事態管理庁を訪問し災害対応についてディスカッションする	山本・鈴木
4	救急災害システム1	米国運輸省を訪問し EMS の災害対応についてディスカッションする	山本・鈴木
5	救急災害システム2	米国運輸省を訪問し EMS の災害対応についてディスカッションする	山本・鈴木
6	救急災害システム3	米国運輸省を訪問し EMS の災害対応についてディスカッションする	山本・鈴木
7	救急災害システム4	米国における EMS の研究手法と倫理的配慮についてディスカッションする	山本・鈴木
8	救急医学1	米国シアトルの通信指令を行う施設を訪問しディスカッションする	小川・横田
9	救急医学2	米国シアトルの救急車同乗実習を行い、救急システムについてディスカッションする	小川・横田
10	救急医学3	米国シアトルの救急車同乗実習を行い、救急システムについてディスカッションする	小川・横田
11	救急医学4	米国シアトルの救急車同乗実習を行い、救急システムについてディスカッションする	小川・横田
12	救急医学5	米国シアトルの救急車同乗実習を行い、救急システムについてディスカッションする	小川・横田
13	救急医学6	米国シアトルの外傷センターを視察し、救急システムについてディスカッションする	小川・横田
14	救急医学7	米国シアトルの外傷センターを視察し、救急システムについてディスカッションする	小川・横田
15	救急医学8(まとめ)	米国における臨床研究手法と倫理的配慮についてディスカッションする	小川・横田

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅰ	担当	共同 主:平沼 憲治 副:舟橋 厚 副:平沼 直人	90分×30回	1年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

救急災害医療の研究に関わる論文を収集し、研究の立案・実行方法、論文の書き方など、研究を行うために必要な基礎能力を身につける。研究のオリジナリティや課題を理解し、それらを分類して整理する能力を養う。また、医療人として常に知識の獲得が出来るよう積極性を養う。

一般目標: 研究計画の立案・実行方法を身につけ、論文の書き方など研究を行うために必要な基礎能力を修得する。

行動目標: ①研究テーマに関する研究論文を抽出する(認知領域)。

②収集した研究論文を整理する(認知領域)。

③整理した研究論文において、新発見や課題を指摘する(精神・運動領域)。

④新たな知識や技術を獲得するための向上心を養う(情意領域)。

履修注意

先行研究に関連する論文の要旨をレポートにまとめ、プレゼンテーション資料を作成する。作成したプレゼンテーション資料はディスカッション時に資料として提出する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、教員間で共有する。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	研究の意義	研究の社会的意義、基本的なルール、研究倫理の総論を理解する
3	論文検索 1	医中誌・medical on line を用いて和文の文献を検索する
4	論文検索 2	Pub med や up to date を用いて英文の文献を検索する
5	論文検索と引用	論文検索に伴う引用のルールを理解する
6	論文整理 1	検索した論文を Endnote や Menderly などを用いてまとめる
7	論文整理 2	検索した論文の中で、必要な論文と不必要な論文の判断根拠を理解する
8	論文を読む 1	PICO・PECO でまとめる
9	論文を読む 2	方法をまとめる
10	論文を読む 3	結果(グラフや表)をまとめる
11	論文を読む 4	考察をまとめる
12	論文を読む 5	重要な参考文献を読む
13	論文を読む 6	Limitation を明らかにする
14	スライド作成要領 1	最新のスライドの作成方法を学ぶ
15	スライド作成要領 2	最新のスライドの作成方法を実践する
16	プレゼンテーション技法	最新のプレゼンテーションの技法を学ぶ
17	研究計画の立案・実行	研究計画の立案・実行方法を学ぶ
18	抄読会 1	原著論文 3 本(1,2,3)を要約しプレゼンテーションする
19	抄読会 2	原著論文 3 本(1,2,3)を要約し新発見を確認する
20	抄読会 3	原著論文 3 本(1,2,3)を要約し新発見と反対意見について考察する
21	抄読会 4	原著論文 3 本(1,2,3)を要約し、課題を抽出する
22	抄読会 5	原著論文 3 本(1,2,3)を要約し、参考文献についての課題を指摘する
23	抄読会 6	原著論文 3 本(1,2,3)を要約し、自身の研究との相違点を指摘する
24	抄読会 7	原著論文 3 本(4,5,6)を要約しプレゼンテーションする
25	抄読会 8	原著論文 3 本(4,5,6)を要約し新発見を確認する
26	抄読会 9	原著論文 3 本(4,5,6)を要約し新発見と反対意見について考察する
27	抄読会 10	原著論文 3 本(4,5,6)を要約し、課題を抽出する
28	抄読会 11	原著論文 3 本(4,5,6)を要約し、参考文献についての課題を指摘する
29	抄読会 12	原著論文 3 本(4,5,6)を要約し、自身の研究との相違点を指摘する
30	まとめ	研究計画の立案・実行方法及び論文の書き方をまとめる

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習 I	担当	共同 主:平沼 憲治 副:舟橋 厚 副:平沼 直人	90分×30回	1年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

研究テーマを検討しながら、研究計画、論文の書き方など、研究を行うために必要な基礎能力を習得する。研究テーマに関連した論文の検索し、要約してまとめる。研究テーマの先行研究でどこまで明らかにされているかを理解する。また、プレゼンテーション方法や論文のまとめ方など研究遂行のための基礎能力を習得する。

GIO:研究計画の作成、論文の書き方など、研究を行うために必要な基礎能力を習得する。同時に研究テーマの方向性を決める。

SBOs:

- ① 研究テーマに関する研究論文を文献検索する。
- ② 収集した研究論文を整理し、レジメを作成する。
- ③ 整理した研究論文において、どこまで明らかにされているか理解する。
- ④ 論文を要約しプレゼンテーションする

履修注意

先行研究に関連する論文のレジメを作成し、プレゼンテーション資料を作成してください。

評価方法

レジメ(50%)、プレゼンテーション(50%)で評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義内容を説明する
2	論文検索方法 1	国内医学雑誌検索(医中誌・medical on line の使い方を学ぶ)
3	論文検索方法 2	海外医学雑誌検索(Pub med や up to date の使い方を学ぶ)
4	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
5	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
6	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
7	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
8	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
9	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
10	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
11	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
12	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
13	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
14	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
15	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
16	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
17	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
18	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
19	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
20	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
21	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
22	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
23	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
24	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
25	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
26	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
27	関連論文	文献のレジメ作成、内容検討をする。
28	プレゼンテーション1	研究テーマに関する論文を要約しプレゼンテーションする
29	プレゼンテーション2	研究テーマに関する論文を要約しプレゼンテーションする
30	まとめ	全体総括

教科書・参考書

特に指定なし。

科目	救急災害医療学 特別演習 I	担当	共同 主:小川 理郎 副:後藤 真吏奈	90分×30回	1年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

救急災害医療の研究に関わる論文を収集し、研究の立案・実行方法、論文の書き方など、研究を行うために必要な基礎能力を身につける。研究のオリジナリティや課題を理解し、それらを分類して整理する能力を養う。また、医療人として常に知識の獲得が出来るよう積極性を養う。

一般目標: 研究計画の立案・実行方法を身につけ、論文の書き方など研究を行うために必要な基礎能力を修得する。

行動目標: ①研究テーマに関する研究論文を抽出する(認知領域)。

②収集した研究論文を整理する(認知領域)。

③整理した研究論文において、新知見や課題を指摘する(精神・運動領域)。

④新たな知識や技術を獲得するための向上心を養う(情意領域)。

履修注意

先行研究に関連する論文の要旨をレポートにまとめ、プレゼンテーション資料を作成する。作成したプレゼンテーション資料はディスカッション時に資料として提出する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、教員間で共有する。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	論文検索方法	医中誌・medical on line・Pub med などを用いた論文の検索方法を学ぶ
3	論文整理	検索した論文の管理方法を学ぶ
4	論文の読み方1	文献の読み方を学ぶ
5	論文の読み方2	検索した論文の信憑性の判断方法を学ぶ
6	リサーチクエストの設定1	優れたリサーチクエストの条件(FINER 及び PECO)を学ぶ
7	関連論文1	救急災害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーションする
8	関連論文2	救急災害医学分野の論文を収集して、新知見を指摘する
9	関連論文3	救急災害医学分野の論文を収集して、課題を指摘する
10	関連論文4	救急災害医学分野の論文を収集して、反対意見を紹介する
11	関連論文5	救急災害医学分野の論文を収集して、自身の評価を発表する
12	関連論文6	救急災害医学分野の論文を収集・検討し、結論を導く
13	医療統計1	医療統計学総論1(医学研究に必要な統計学の基本的な概念を学ぶ)
14	医療統計2	医療統計学総論2(医学研究に必要な統計学の基本的な手法を学ぶ)
15	医療統計3	医療統計学各論1(医学研究で頻繁に使用される高度な統計手法を学ぶ)
16	医療統計4	医療統計学各論2(医学研究で頻繁に使用される高度な統計手法を実践する)
17	医療統計5	これまで学んだ統計方法をまとめてプレゼンテーションする
18	関連論文6	リサーチクエストに関する救急災害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーションする
19	関連論文7	リサーチクエストに関する救急災害医学分野の論文を収集して、新知見を指摘する
20	関連論文8	リサーチクエストに関する救急災害医学分野の論文を収集して、課題を指摘する
21	関連論文9	リサーチクエストに関する救急災害医学分野の論文を収集して、反対意見を紹介する
22	関連論文10	リサーチクエストに関する救急災害医学分野の論文を収集して、自身の評価を発表する
23	リサーチクエストの設定2	博士論文の研究テーマとして最適なりサーチクエストをまとめて発表する
24	レビューの作成1	レビュー作成に必要な基礎知識を学ぶ
25	レビューの作成2	これまでの講義で検索した論文のレビューを作成する
26	レビューの作成3	作成した論文レビューのプレゼンテーションをする
27	レビューの作成4	論文レビューを改編する
28	レビューの作成5	改編した論文レビューのプレゼンテーションをする
29	リサーチクエストの設定3	作成したレビューを参考に研究によって解決すべきリサーチクエストについてプレゼンテーションし、博士論文の研究テーマとして最適なりサーチクエストを設定する
30	まとめ	研究計画の立案・実行方法及び論文の書き方をまとめる

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習 I	担当	共同 主:小川 理郎 副:後藤 真吏奈	90分×30回	1年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

GI0:リサーチマインドを持った救急救命士となるために、特別演習 I では、救急災害医療分野の先行研究で発表されている原著論文から学識を養い、現代の救急医療分野の背景および問題点を抽出。研究で解決すべきリサーチクエッションの設定方法を学ぶ。

SBOs:

- ① 研究分野の英文論文を読み、理解するための知識を修得する。
- ② 医療統計ができる。
- ③ 先行論文のレビューを作成することができる。
- ④ 博士論文の研究テーマを絞り込む。

履修注意

毎回文献を検索し要約のプレゼンテーション資料を作成してください。

本講義で読み込んだ全ての論文をまとめてレビューを作成して提出してください。

評価方法

プレゼンテーション(50%)、レポート(50%)で総合的に評価します。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	論文検索方法	医中誌・medical on line・Pub med などを用いた論文の検索方法を学ぶ
3	論文整理	検索した論文の管理方法を学ぶ
4	論文の読み方1	文献の読み方を学ぶ
5	論文の読み方2	検索した論文の信憑性の判断方法を学ぶ
6	リサーチクエッションの設定1	優れたリサーチクエッションの条件(FINER 及び PECO)を学ぶ
7	関連論文1	救急災害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーションする
8	関連論文2	救急災害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーションする
9	関連論文3	救急災害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーションする
10	関連論文4	救急災害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーションする
11	関連論文5	救急災害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーションする
12	リサーチクエッションの設定2	論文を参考にして、リサーチクエッションをまとめて発表する
13	医療統計1	医療統計学総論1(医学研究に必要な統計学の基本的な概念と手法を学ぶ)
14	医療統計2	医療統計学総論2(医学研究に必要な統計学の基本的な概念と手法を学ぶ)
15	医療統計3	医療統計学各論1(医学研究で頻繁に使用される高度な統計手法を学ぶ)
16	医療統計4	医療統計学各論2(医学研究で頻繁に使用される高度な統計手法を学ぶ)
17	医療統計5	これまで学んだ統計方法をまとめてプレゼンテーションする
18	関連論文6	リサーチクエッションに関する救急災害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーションする
19	関連論文7	リサーチクエッションに関する救急災害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーションする
20	関連論文8	リサーチクエッションに関する救急災害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーションする
21	関連論文9	リサーチクエッションに関する救急災害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーションする
22	関連論文10	リサーチクエッションに関する救急災害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーションする
23	関連論文11	リサーチクエッションに関する救急災害医学分野の論文を収集して、プレゼンテーションする
24	リサーチクエッションの設定3	博士論文の研究テーマとして最適なりサーチクエッションをまとめて発表する
25	レビューの作成1	これまでの講義で検索した論文のレビューを作成する
26	レビューの作成2	これまでの講義で検索した論文のレビューを作成する
27	レビューの作成3	これまでの講義で検索した論文のレビューを作成する
28	レビューの作成4	作成した論文レビューのプレゼンテーションをする
29	レビューの作成5	改編した論文レビューのプレゼンテーションをする
30	リサーチクエッションの設定4	作成したレビューを参考に研究によって解決すべきリサーチクエッションについてプレゼンテーションし、博士論文の研究テーマとして最適なりサーチクエッションを設定する

教科書・参考書

なし

科目	救急災害医療学 特別演習 I	担当	共同 主:山本 保博 副:横田 裕行 副:鈴木 健介	90分×30回	1年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

救急災害医療の研究に関わる論文を収集し、研究の立案・実行方法、論文の書き方など、研究を行うために必要な基礎能力を身につける。研究のオリジナリティや課題を理解し、それらを分類して整理する能力を養う。また、医療人として常に知識の獲得が出来るよう積極性を養う。

一般目標: 研究計画の立案・実行方法を身につけ、論文の書き方など研究を行うために必要な基礎能力を修得する。

行動目標: ①研究テーマに関する研究論文を抽出する(認知領域)。

②収集した研究論文を整理する(認知領域)。

③整理した研究論文において、新知見や課題を指摘する(精神・運動領域)。

④新たな知識や技術を獲得するための向上心を養う(情意領域)。

履修注意

先行研究に関連する論文の要旨をレポートにまとめ、プレゼンテーション資料を作成する。作成したプレゼンテーション資料はディスカッション時に資料として提出する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、教員間で共有する。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	論文検索 1	医中誌・medical on line を用いて和文の文献を検索する
3	論文検索 2	Pub med や up to date を用いて英文の文献を検索する
4	論文検索 3	検索した英文の文献を精読する
5	論文検索 4	検索した英文の文献を精読し、理解する
6	論文整理	検索した論文について Endnote を用いてまとめる
7	論文整理	検索した論文について Mendery を用いてまとめる
8	論文を読む 1	PICO・PECO でまとめる
9	論文を読む 2	方法をまとめる
10	論文を読む 3	結果(グラフや表)をまとめる
11	論文を読む 4	考察をまとめる
12	論文を読む 5	重要な参考文献を読む
13	論文を読む 6	Limitation を明らかにする
14	スライド作成要領 1	最新のスライドの作成方法を学ぶ
15	スライド作成要領 2	最新のスライドの作成方法を学ぶ
16	プレゼンテーション技法	最新のプレゼンテーションの技法を学ぶ
17	研究計画の立案・実行	研究計画の立案・実行方法を学ぶ
18	抄読会 1	原著論文 3 本(1,2,3)を要約しプレゼンテーションする
19	抄読会 2	原著論文 3 本(1,2,3)を要約し、新知見を確認する
20	抄読会 3	原著論文 3 本(1,2,3)を要約し、新知見と反対意見について考察する
21	抄読会 4	原著論文 3 本(1,2,3)を要約し、課題を抽出する。
22	抄読会 5	原著論文 3 本(1,2,3)を要約し、参考文献についての課題を指摘する
23	抄読会 6	原著論文 3 本(1,2,3)を要約し、自身の研究との相違点を指摘する
24	抄読会 7	原著論文 3 本(4,5,6)を要約しプレゼンテーションする
25	抄読会 8	原著論文 3 本(4,5,6)を要約し、新知見を確認する
26	抄読会 9	原著論文 3 本(4,5,6)を要約し、新知見と反対意見について考察する
27	抄読会 10	原著論文 3 本(4,5,6)を要約し、課題を抽出する。
28	抄読会 11	原著論文 3 本(4,5,6)を要約し、参考文献についての課題を指摘する
29	抄読会 12	原著論文 3 本(4,5,6)を要約し、自身の研究との相違点を指摘する
30	まとめ	研究計画の立案・実行方法及び論文の書き方をまとめる

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習 I	担当	共同 主:山本 保博 副:横田 裕行 副:鈴木 健介	90分×30回	1年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

研究計画の立案・実行方法、論文の書き方など、研究を行うために必要な基礎能力をアップデートする。研究のオリジナリティや limitation を理解し、グラフや表に記載されている結果を統計学的に検証する。また、プレゼンテーション方法や論文のまとめ方など研究遂行のための基礎能力をアップデートする。

GIO: 研究計画の立案・実行方法、論文の書き方など、研究を行うために必要な基礎能力をアップデートする
SBOs:

- ① 研究テーマに関する研究論文を検索抽出する。
- ② 収集した研究論文を整理する。
- ③ 整理した研究論文において、オリジナリティや limitation を指摘する。
- ④ 論文を要約しプレゼンテーションする

履修注意

先行研究に関連する論文をレポートにまとめ、プレゼンテーション資料を作成してください。
作成したプレゼンテーション資料はディスカッションに用います。

評価方法

プレゼンテーション(50%)、レポート(50%)で総合的に評価します。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義内容、受講上の注意等を説明する
2	論文検索 1	医中誌・medical on line を用いて和文の文献を検索する
3	論文検索 2	Pub med や up to date を用いて英文の文献を検索する
4	論文検索 3	Pub med や up to date を用いて英文の文献を検索する
5	論文検索 4	Pub med や up to date を用いて英文の文献を検索する
6	論文整理	検索した論文を Endnote や Menderly などを用いてまとめる
7	論文整理	検索した論文を Endnote や Menderly などを用いてまとめる
8	論文を読む 1	PICO・PECO でまとめる
9	論文を読む 2	方法をまとめる
10	論文を読む 3	結果(グラフや表)をまとめる
11	論文を読む 4	考察をまとめる
12	論文を読む 5	重要な参考文献を読む
13	論文を読む 6	Limitation を明らかにする
14	スライド作成要領 1	最新のスライドの作成方法を学ぶ
15	スライド作成要領 2	最新のスライドの作成方法を学ぶ
16	プレゼンテーション技法	最新のプレゼンテーションの技法を学ぶ
17	抄読会準備	読み込んだ論文をプレゼンテーションにまとめる
18	抄読会 1	研究テーマに関する原著論文を要約しプレゼンテーションする
19	抄読会 2	研究テーマに関する原著論文を要約しプレゼンテーションする
20	抄読会 3	研究テーマに関する原著論文を要約しプレゼンテーションする
21	抄読会 4	研究テーマに関する原著論文を要約しプレゼンテーションする
22	抄読会 5	研究テーマに関する原著論文を要約しプレゼンテーションする
23	抄読会 6	研究テーマに関する原著論文を要約しプレゼンテーションする
24	抄読会 7	研究テーマに関する原著論文を要約しプレゼンテーションする
25	抄読会 8	研究テーマに関する原著論文を要約しプレゼンテーションする
26	抄読会 9	研究テーマに関する原著論文を要約しプレゼンテーションする
27	抄読会 10	研究テーマに関する原著論文を要約しプレゼンテーションする
28	抄読会 11	研究テーマに関する原著論文を要約しプレゼンテーションする
29	抄読会 12	研究テーマに関する原著論文を要約しプレゼンテーションする
30	まとめ	プレゼンした論文をまとめ整理する

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習 I	担当	共同 主: 中里 浩一 副: 鴻崎 香里奈	90分×30回	1年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

救急災害医療の研究に関わる論文を収集し、研究の立案・実行方法、論文の書き方など、研究を行うために必要な基礎能力を身につける。研究のオリジナリティや課題を理解し、それらを分類して整理する能力を養う。また、医療人として常に知識の獲得が出来るよう積極性を養う。

一般目標: 研究計画の立案・実行方法を身につけ、論文の書き方など研究を行うために必要な基礎能力を修得する。

行動目標: ①研究テーマに関する研究論文を抽出する(認知領域)。

②収集した研究論文を整理する(認知領域)。

③整理した研究論文において、新発見や課題を指摘する(精神・運動領域)。

④新たな知識や技術を獲得するための向上心を養う(情意領域)。

履修注意

先行研究に関連する論文の要旨をレポートにまとめ、プレゼンテーション資料を作成する。作成したプレゼンテーション資料はディスカッション時に資料として提出する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、教員間で共有する。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	論文検索方法 1	医中誌・medical on line を用いて論文を検索する
3	論文検索方法 2	Pub med や up to date を用いて論文を検索する
4	論文整理 1	検索した論文について Endnote を用いてまとめる
5	論文整理 2	検索した論文について Mendery を用いてまとめる
6	論文精読(生理学[循環器系])1	循環器系原著論文の関連論文を精読、理解する
7	論文精読(生理学[循環器系])2	循環器系原著論文の関連論文における新発見や課題を指摘する
8	論文精読(生理学[神経系])1	神経系原著論文の関連論文を精読、理解する
9	論文精読(生理学[神経系])2	神経系原著論文の関連論文における新発見や課題を指摘する
10	論文精読(生理学[内分泌系])1	内分泌系原著論文の関連論文を精読、理解する
11	論文精読(生理学[内分泌系])2	内分泌系原著論文の関連論文における課題を指摘する
12	論文精読(生理学[呼吸器系])1	呼吸器系原著論文の関連論文を精読、理解する
13	論文精読(生理学[呼吸器系])2	呼吸器系原著論文の関連論文における新発見や課題を指摘する
14	論文精読(生理学[消化器系])1	消化器系原著論文の関連論文を精読、理解する
15	論文精読(生理学[消化器系])2	消化器系原著論文の関連論文における新発見や課題を指摘する
16	論文精読(生理学[感覚器系])1	感覚器系原著論文の関連論文を精読、理解する
17	論文精読(生理学[感覚器系])2	感覚器系原著論文の関連論文における新発見や課題を指摘する
18	論文精読(生理学[筋骨格系])1	筋骨格系原著論文の関連論文を精読、理解する
19	論文精読(生理学[筋骨格系])2	筋骨格系原著論文の関連論文における新発見や課題を指摘する
20	論文精読(生理学[免疫系])1	免疫系原著論文の関連論文を精読、理解する
21	論文精読(生理学[免疫系])2	免疫系原著論文の関連論文における新発見や課題を指摘する
22	論文精読(生化学)1	生化学原著論文の関連論文を精読、理解する
23	論文精読(生化学)2	生化学原著論文の関連論文における新発見や課題を指摘する
24	論文精読(細胞生物学)1	細胞生物学原著論文の関連論文を精読、理解する
25	論文精読(細胞生物学)2	細胞生物学原著論文の関連論文における新発見や課題を指摘する
26	論文精読(分子生物学)1	分子生物学原著論文の関連論文を精読、理解する
27	論文精読(分子生物学)2	分子生物学原著論文の関連論文における新発見や課題を指摘する
28	総合討論 1	自身の学位論文の小テーマと本講義で取り上げた論文との関連性を精査する
29	総合討論 2	自身の学位論文の小テーマと本講義で取り上げた論文との関連性を精査する
30	まとめ	研究計画の立案・実行方法及び論文の書き方をまとめる

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習 I	担当	共同	90分×30回	1年	通年・集中
			主:中里 浩一 副:鴻崎 香里奈		必修	4単位

講義概要・目標

保健医療学分野に限らず近年の高いインパクトを持つバイオ系国際原著論文は生化学から生理学まで幅広い学問領域および対象を横断しながら総合的にデータを提示し論文をまとめることが必須である。本講義では研究小テーマに関連する先行文献を中心としながらも救急災害医療の基礎分野である生理学、生化学、細胞生物学、分子生物学等の原著論文の関連論文を紹介する。本講義の最終目標は国際的な批判に耐えうる原著論文を作成する基礎能力を獲得することである。

履修注意

指定された評価の高い国際原著論文を事前に読み込むことが必須である。講義時には講義担当者から内容に関する解説をするとともに、論理構造やデータの解釈や過不足に関する議論を行う。

評価方法

討論中の発言や態度を評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	イントロダクション	本講義の進め方や全体像の概説を行う
2	生理学(循環器系)1	循環器系原著論文1の関連論文を紹介する
3	生理学(循環器系)2	循環器系原著論文2の関連論文を紹介する
4	生理学(循環器系)3	循環器系原著論文3の関連論文を紹介する
5	生理学(循環器系)4	循環器系原著論文4の関連論文を紹介する
6	生理学(循環器系)5	循環器系原著論文5の関連論文を紹介する
7	生理学(呼吸器系)1	呼吸器系原著論文1の関連論文を紹介する
8	生理学(呼吸器系)2	呼吸器系原著論文2の関連論文を紹介する
9	生理学(呼吸器系)3	呼吸器系原著論文3の関連論文を紹介する
10	生理学(呼吸器系)4	呼吸器系原著論文4の関連論文を紹介する
11	生理学(呼吸器系)5	呼吸器系原著論文5の関連論文を紹介する
12	生理学(筋骨格系)1	筋骨格系原著論文1の関連論文を紹介する
13	生理学(筋骨格系)2	筋骨格系原著論文2の関連論文を紹介する
14	生理学(筋骨格系)3	筋骨格系原著論文3の関連論文を紹介する
15	生理学(筋骨格系)4	筋骨格系原著論文4の関連論文を紹介する
16	生理学(筋骨格系)5	筋骨格系原著論文5の関連論文を紹介する
17	生化学1	生化学原著論文1本の関連論文を紹介する
18	生化学2	生化学原著論文2の関連論文を紹介する
19	生化学3	生化学原著論文3の関連論文を紹介する
20	生化学4	生化学原著論文4の関連論文を紹介する
21	細胞生物学1	細胞生物学原著論文1の関連論文を紹介する
22	細胞生物学2	細胞生物学原著論文2の関連論文を紹介する
23	細胞生物学3	細胞生物学原著論文3の関連論文を紹介する
24	細胞生物学4	細胞生物学原著論文4の関連論文を紹介する
25	分子生物学1	分子生物学原著論文1の関連論文を紹介する
26	分子生物学2	分子生物学原著論文2の関連論文を紹介する
27	分子生物学3	分子生物学原著論文3の関連論文を紹介する
28	分子生物学4	分子生物学原著論文4の関連論文を紹介する
29	総合討論1	自身の学位論文の小テーマと本講義で取り上げた論文との関連性を精査する
30	総合討論2	自身の学位論文の小テーマと本講義で取り上げた論文との関連性を精査する

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習 I	担当	共同 主:小林 正利 副:遠藤 直哉	90分×30回	1年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

救急災害医療の研究に関わる論文を収集し、研究の立案・実行方法、論文の書き方など、研究を行うために必要な基礎能力を身につける。研究のオリジナリティや課題を理解し、それらを分類して整理する能力を養う。また、医療人として常に知識の獲得が出来るよう積極性を養う。

一般目標:研究計画の立案・実行方法を身につけ、論文の書き方など研究を行うために必要な基礎能力を修得する。

行動目標:①研究テーマに関する研究論文を抽出する(認知領域)。

②収集した研究論文を整理する(認知領域)。

③整理した研究論文において、新発見や課題を指摘する(精神・運動領域)。

④新たな知識や技術を獲得するための向上心を養う(情意領域)。

履修注意

主に原著論文やデータを確認しながら、議論していく。

評価方法

教員間での評価が異なるように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、教員間で共有する。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する。
2	研究倫理について1	研究者としての倫理について解説する。
3	研究倫理について2	研究倫理に関して、web上で確認できるサイトについて解説する。
4	研究倫理について3	研究倫理に関する問題事例を検討し、再発予防策を検討する。
5	研究計画の作成法1	研究計画の作成法について解説する。
6	研究計画の作成法2	研究計画を作成し問題点について検討する。
7	研究ノートの作成法1	研究ノートの重要性について解説する。
8	研究ノートの作成法2	研究ノート作成・記入に必要な事項を具体的に解説・演習する。
9	文献検索方法1	医学中央雑誌等の日本語文献サイトの紹介と利用法
10	文献検索方法2	Pub Med等の欧文文献サイトの紹介と利用法
11	文献検索方法3	文献整理の方法について解説する。
12	研究方法の枠組み1	量的研究の概説
13	研究方法の枠組み2	量的研究法を用いた論文を紹介し確認する。
14	研究方法の枠組み3	質的研究の概説
15	研究方法の枠組み4	質的研究法を用いた論文を紹介し確認する。
16	研究方法の枠組み5	形態的研究の概説
17	研究方法の枠組み6	形態的研究法を用いた論文を紹介し確認する。
18	研究方法の枠組み7	症例研究の概説
19	研究方法の枠組み8	症例研究法を用いた論文を紹介し確認する。
20	症例報告の方法	自身の経験から症例を考える。
21	症例報告1	症例報告のデザインを検討する。
22	症例報告2	症例報告を記述する。
23	統計手法1	統計学の必要性について解説する。
24	統計手法2	検定の原理について解説する。
25	統計手法3	パラメトリック検定について解説・実践する。
26	統計手法4	ノンパラメトリック検定について解説・実践する。
27	抄読会1	整理した研究論文について新発見や課題を指摘する。
28	抄読会2	整理した研究論文について新発見や課題を指摘し、結論を導く。
29	まとめ1	受講者が特に注目した項目について振り返り、考察・議論する。
30	まとめ2	研究計画の立案・実行方法及び論文の書き方をまとめる。

教科書・参考書

必要に応じて提示する。

科目	救急災害医療学 特別演習 I	担当	共同 主:小林 正利 副:遠藤 直哉	90分×30回	1年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

救急災害医療学分野のうち特に形態学における研究に対する「なぜ」という疑問について、科学研究として疑問解決の為の具体的方法・技法の基礎を学び研究者としての基本的事項を解説・演習する。

本講義の目標は次のとおり。

- 1 研究倫理を学ぶ
- 2 研究法について学ぶ
- 3 仮説に対する検証の手続きの評価

履修注意

主に原著論文やデータを確認しながら、議論していく

評価方法

事前準備状況、発言内容、口頭質問により研究能力の習得程度により総合的に評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義内容, 受講上の注意を説明する。
2	研究倫理について1	研究者としての倫理について解説する。
3	研究倫理について2	研究倫理に関して、web 上で確認できるサイトについて解説する。
4	研究倫理について3	研究倫理に関する問題事例を検討し、再発予防策を検討する。
5	研究計画の作成法1	研究計画の作成法について解説する。
6	研究計画の作成法2	研究計画を作成し問題点について検討する。
7	研究ノートの作成法1	研究ノートの重要性について解説する。
8	研究ノートの作成法2	研究ノート作成・記入に必要な事項を具体的に解説・演習する。
9	文献検索方法1	医学中央雑誌等の日本語文献サイトの紹介と利用法
10	文献検索方法2	Pub Med 等の欧文文献サイトの紹介と利用法
11	文献検索方法3	文献整理の方法について解説する。
12	研究方法の枠組み1	量的研究の概説
13	研究方法の枠組み2	量的研究法を用いた論文を紹介し確認する。
14	研究方法の枠組み3	質的研究の概説
15	研究方法の枠組み4	質的研究法を用いた論文を紹介し確認する。
16	研究方法の枠組み5	形態的研究の概説
17	研究方法の枠組み6	形態的研究法を用いた論文を紹介し確認する。
18	研究方法の枠組み7	症例研究の概説
19	研究方法の枠組み8	症例研究法を用いた論文を紹介し確認する。
20	症例報告の方法	自身の経験から症例を考える。
21	症例報告 1	症例報告のデザインを検討する。
22	症例報告2	症例報告を記述する。
23	統計手法1	統計学の必要性について解説する。
24	統計手法2	検定の原理について解説する。
25	統計手法3	パラメトリック検定について解説する。
26	統計手法4	パラメトリック検定について実践する。
27	統計手法5	ノンパラメトリック検定について解説する。
28	統計手法6	ノンパラメトリック検定について実践する。
29	まとめ 1	受講者が特に注目した項目について振り返る。
30	まとめ 2	受講者が特に注目した項目について振り返る。

教科書・参考書

必要に応じて提示する。

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅱ	担当	共同 主:平沼 憲治 副:舟橋 厚 副:平沼 直人	90分×30回	2年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

研究計画の立案・実行方法など、研究を行うために必要な総合能力を修得する。研究に必要な文献を引用し、研究の課題を指摘する。また、研究方法、結果、考察、結論など研究遂行のための総合能力を身につける。

一般目標: 研究計画の立案・実行方法を修得し、結果についての統計操作を修得して、論文の書き方など研究を行うために必要な基礎能力を身につける。

行動目標: ①研究についてその方法を列挙する(認知領域)。

②研究結果をまとめて統計操作する(精神・運動領域)。

③結論と課題について研究者同士で議論し、それぞれの意見に配慮する(情意領域)。

履修注意

先行研究に関連する論文の要旨をレポートにまとめ、プレゼンテーション資料を作成する。作成したプレゼンテーション資料はディスカッション時に資料として提出する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、教員間で共有する。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	研究方法の検討	研究テーマについての一般的認識、研究方法のデザインをまとめる
3	研究手法の検討	各論文の新規性・有効性・信頼性をまとめる
4	研究方法の確立1	先行研究で明らかになっていないリサーチクエッションを明確にする
5	研究ノート記載方法	研究ノートの記載方法とルールを修得する
6	研究方法の確立2	研究方法をデザインする
7	研究資料の収集	研究資料を収集する
8	研究結果の想定	想定される研究結果をデザインする
9	研究方法の確立3	予備実験を行う
10	研究方法の課題抽出	予備実験の課題を検証する
11	研究方法の確立4	予備実験を行い検証する
12	研究方法の検証1	研究方法を実行する
13	研究方法の検証2	研究方法を検証し、改善点を抽出する
14	研究方法の検証3	研究方法を検証し、修正点を明確にする
15	前学期のまとめ	研究方法について、受講者が特に注目した項目について振り返る
16	結果のまとめ1	予備実験結果をまとめる
17	結果のまとめ2	予備実験結果をまとめ、改善点を抽出する
18	結果のまとめ3	予備実験結果をまとめ、修正点を明確にする
19	結果のまとめ4	予備実験結果をまとめ、発展的な研究課題の議論を行う
20	結果のまとめ5	表・グラフを作成する
21	結果のまとめ6	統計学的処理を行う
22	結果のまとめ7	結果から考察をまとめる
23	考察のまとめ1	結果から考察をまとめ、結論を導く
24	考察のまとめ2	結果の根拠となる文献を引用する
25	結論・抄録作成	結論をまとめ・抄録を作成する
26	結論	結論について検討する
27	研究発表資料作成	研究についてパワーポイントで発表資料を作成する
28	模擬研究発表	プレゼンテーションを担当教官の前で行い、想定質問に対しても回答を検討する
29	研究発表	実践した研究のプレゼンテーションを行う
30	まとめ	受講者が特に注目した項目について振り返る

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅱ	担当	共同 主:平沼 憲治 副:舟橋 厚 副:平沼 直人	90分×30回	2年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

研究計画の立案・実行方法、研究を行うために必要な総合能力を習得する。研究のオリジナリティ、グラフや表に記載されている結果から引用できる部分を抽出し、参考文献としてまとめる。また、研究方法、結果、考察、結論などの論文の書き方を含め研究遂行のための総合能力を習得する。

GIO: 研究方法論の確立や研究結果をまとめ考察する能力等、研究を行うために必要な総合能力を習得する

SBOs:

- ① 研究方法の検討。
- ② 研究手法の習得
- ③ 予備研究の結果をまとめ考察する

履修注意

研究手技についての文献を検索し、先行研究に基づいた方法で行うこと。

評価方法

研究計画および研究手技の習得度(70%)、プレゼンテーション(30%)で評価します。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義内容を説明する。研究テーマについて検討。
2	研究方法の検討	研究を行うに必要な研究方法の検討。
3	研究方法の検討	研究を行うに必要な研究方法の検討。
4	研究方法の確立	研究手法の習得
5	研究方法の確立	研究手法の習得
6	研究方法の確立	研究手法の習得
7	研究方法の確立	研究手法の習得
8	研究方法の確立	研究手法の習得
9	研究方法の確立	研究手法の習得
10	研究方法の確立	研究手法の習得
11	研究方法の確立	研究手法の習得
12	研究方法の検証	研究方法を実行し検証する
13	研究方法の検証	研究方法を実行し検証する
14	研究方法の検証	研究方法を実行し検証する
15	研究方法の検証	研究方法を実行し検証する
16	結果をまとめる	予備研究結果をまとめる
17	結果をまとめる	予備研究結果をまとめる
18	結果をまとめる	予備研究結果をまとめる
19	結果をまとめる	予備研究結果をまとめる
20	考察をまとめる	結果から考察をまとめる
21	考察をまとめる	結果から考察をまとめる
22	考察をまとめる	結果から考察をまとめる
23	考察をまとめる	結果から考察をまとめる
24	結論	結論について検討
25	結論	結論について検討
26	結論	結論について検討
27	プレゼンテーション	研究についてパワーポイント使い発表する
28	プレゼンテーション	研究についてパワーポイント使い発表する
29	プレゼンテーション	研究についてパワーポイント使い発表する
30	まとめ	今後の研究について

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅱ	担当	共同	90分×30回	2年	通年・集中
			主:小川 理郎 副:後藤 真史奈		必修	4単位

講義概要・目標

研究計画の立案・実行方法など、研究を行うために必要な総合能力を修得する。研究に必要な文献を引用し、研究の課題を指摘する。また、研究方法、結果、考察、結論など研究遂行のための総合能力を身につける。

一般目標: 研究計画の立案・実行方法を修得し、結果についての統計操作を修得して、論文の書き方など研究を行うために必要な基礎能力を身につける。

行動目標: ①研究についてその方法を列挙する(認知領域)。

②研究結果をまとめて統計操作する(精神・運動領域)。

③結論と課題について研究者同士で議論し、それぞれの意見に配慮する(情意領域)。

履修注意

先行研究に関連する論文の要旨をレポートにまとめ、プレゼンテーション資料を作成する。作成したプレゼンテーション資料はディスカッション時に資料として提出する。実験ノートは逐一記入する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、教員間で共有する。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	研究方法の検討 1	研究を行うに必要な研究方法の検討
3	研究方法の検討 2	研究方法を決定する
4	研究方法の確立 1	研究手法の習得
5	研究方法の確立 2	研究手法を実践する
6	研究ノート記載方法	研究ノートの記載方法とルールを修得する
7	結果をまとめる 1	研究結果をまとめ統計操作する
8	結果をまとめる 2	特別研究Ⅱで実施した研究結果をまとめる
9	結果をまとめる 3	特別研究Ⅱで実施した研究結果を考察する
10	結果をまとめる 4	特別研究Ⅱで実施した研究結果について議論する
11	結果をまとめる 5	特別研究Ⅱで実施した研究結果をまとめ、研究方法の改善点を抽出する
12	結果をまとめる 6	特別研究Ⅱで実施した研究結果をまとめ、研究方法の修正点を明確にする
13	結果をまとめる 7	特別研究Ⅱで実施した研究結果をまとめ、結論を導く
14	まとめ 1	受講者が特に注目した項目について振り返る
15	結果の考察 1	研究結果の考察方法について学ぶ
16	結果の考察 2	特別研究Ⅱで実施した研究結果から考察をまとめる
17	結果の考察 3	特別研究Ⅱで実施した研究結果から考察をまとめ、研究者同士で議論する
18	結果の考察 4	特別研究Ⅱで実施した研究結果から考察をまとめ、議論し、改善点を明確にする
19	結果の考察 5	特別研究Ⅱで実施した研究結果から考察について、プレゼンテーションする
20	結果の結論 1	研究結果の結論をまとめる方法を学ぶ
21	結果の結論 2	特別研究Ⅱで実施した研究結果の結論を検討
22	結果の結論 3	特別研究Ⅱで実施した研究結果の結論について、プレゼンテーションする
23	研究成果発表 1	研究成果の発表方法について学ぶ
24	研究成果発表 2	特別研究Ⅱでまとめた研究成果の発表をまとめる
25	研究成果発表 3	特別研究Ⅱでまとめた研究成果の発表をまとめ、研究者同士で議論する
26	研究成果発表 4	特別研究Ⅱでまとめた研究成果の発表をまとめ、議論し、改善点を明確にする
27	研究成果発表 5	特別研究Ⅱでまとめた研究成果についてパワーポイント使い発表する
28	研究成果発表 6	研究成果に関する発表内容を基に議論する
29	研究発表	実践した研究のプレゼンテーションを行う
30	まとめ 2	受講者が特に注目した項目について振り返る

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅱ	担当	共同	90分×30回	2年	通年・集中
			主:小川 理郎 副:後藤 真吏奈		必修	4単位

講義概要・目標

GIO:特別演習Ⅰで設定したリサーチクエスションの社会的・学問的意義について考察、博士論文の研究テーマとしての適性や問題点を討論し、研究の質を高める。また、研究で得られた知見を他者と共有する為の効果的な発表方法を修得する。

SBOs:

- ① 研究テーマの設定と研究結果が社会に及ぼす貢献度を説明できる。
- ② 研究分野の最新の論文を読み、客観的に評価できる知識を修得する。
- ③ 研究成果を社会へ発信するための様々な知識を修得する。

履修注意

プレゼンテーション資料は講義後に毎回、提出して下さい。

評価方法

プレゼンテーション(50%), レポート(50%)で総合的に評価します。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	研究方法の検討 1	研究を行うに必要な研究方法の検討
3	研究方法の検討 2	研究を行うに必要な研究方法の検討
4	研究方法の確立 1	研究手法の習得
5	研究方法の確立 2	研究手法の習得
6	研究方法の確立 3	研究手法の習得
7	結果をまとめる 1	研究結果をまとめる方法を学ぶ
8	結果をまとめる 2	特別研究Ⅱで実施した研究結果をまとめる
9	結果をまとめる 3	特別研究Ⅱで実施した研究結果をまとめる
10	結果をまとめる 4	特別研究Ⅱで実施した研究結果をまとめる
11	結果をまとめる 5	特別研究Ⅱで実施した研究結果をまとめる
12	結果をまとめる 6	特別研究Ⅱで実施した研究結果をまとめる
13	結果をまとめる 7	特別研究Ⅱで実施した研究結果をまとめる
14	結果をまとめる 8	特別研究Ⅱで実施した研究結果をまとめる
15	結果の考察 1	研究結果の考察方法について学ぶ
16	結果の考察 2	特別研究Ⅱで実施した研究結果から考察をまとめる
17	結果の考察 3	特別研究Ⅱで実施した研究結果から考察をまとめる
18	結果の考察 4	特別研究Ⅱで実施した研究結果から考察をまとめる
19	結果の考察 5	特別研究Ⅱで実施した研究結果から考察について、プレゼンテーションする
20	結果の結論 1	研究結果の結論をまとめる方法を学ぶ
21	結果の結論 2	特別研究Ⅱで実施した研究結果の結論を検討
22	結果の結論 3	特別研究Ⅱで実施した研究結果の結論について、プレゼンテーションする
23	研究成果発表 1	研究成果の発表方法について学ぶ
24	研究成果発表 2	特別研究Ⅱでまとめた研究成果の発表をまとめる
25	研究成果発表 3	特別研究Ⅱでまとめた研究成果の発表をまとめる
26	研究成果発表 4	特別研究Ⅱでまとめた研究成果の発表をまとめる
27	研究成果発表 5	特別研究Ⅱでまとめた研究成果についてパワーポイント使い発表する
28	研究成果発表 6	特別研究Ⅱでまとめた研究成果についてパワーポイント使い発表する
29	研究成果発表 7	特別研究Ⅱでまとめた研究成果についてパワーポイント使い発表する
30	まとめ	今後の研究について課題と展望を検討する

教科書・参考書

なし

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅱ	担当	共同	90分×30回	2年	通年・集中
			主:山本 保博 副:横田 裕行 副:鈴木 健介		必修	4単位

講義概要・目標

研究計画の立案・実行方法など、研究を行うために必要な総合能力を修得する。研究に必要な文献を引用し、研究の課題を指摘する。また、研究方法、結果、考察、結論など研究遂行のための総合能力を身につける。

一般目標:研究計画の立案・実行方法を修得し、結果についての統計操作を修得して、論文の書き方など研究を行うために必要な基礎能力を身につける。

行動目標:①研究についてその方法を列挙する(認知領域)。

②研究結果をまとめて統計操作する(精神・運動領域)。

③結論と課題について研究者同士で議論し、それぞれの意見に配慮する(情意領域)。

履修注意

先行研究に関連する論文の要旨をレポートにまとめ、プレゼンテーション資料を作成する。作成したプレゼンテーション資料はディスカッション時に資料として提出する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、教員間で共有する。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	先行研究1	先行研究について調べ、研究方法のデザインをまとめる
3	先行研究2	各論文の新規性・有効性・信頼性をまとめる
4	先行研究3	先行研究で明らかになっていないリサーチクエッションを明確にする
5	研究ノート記載方法	研究ノートの記載方法とルールを修得する
6	研究方法のデザイン1	研究方法を学ぶ
7	研究方法のデザイン2	研究方法を検討する
8	研究方法のデザイン3	研究方法をデザインする
9	予備実験1	予備実験を行う
10	予備実験2	予備実験を行い検証する
11	予備実験3	予備実験結果に基づき考察をすすめる
12	まとめ1	受講者が特に注目した項目について振り返る
13	結果のまとめ1	予備実験結果をまとめ、改善点を抽出する
14	結果のまとめ2	予備実験結果をまとめ、修正点を明確にする
15	研究方法の再検討	研究方法を再検討する
16	予備実験4	予備実験を行う
17	生物統計	生物統計の基礎を修得する
18	医学統計	医学統計の基礎を修得する
19	予備実験5	予備実験を行い検証する
20	結果のまとめ3	予備実験結果をまとめる
21	結果のまとめ4	予備実験結果について議論する
22	結果のまとめ5	表・グラフを作成する
23	結果のまとめ6	統計学的処理を行う
24	考察のまとめ1	結果から考察をまとめる
25	考察のまとめ2	結果の根拠となる文献を引用する
26	結論・抄録作成	結論をまとめ・抄録を作成する
27	Limitationの検討1	limitationをまとめる
28	Limitationの検討2	limitationをまとめ研究テーマ・方法などの検証を行う
29	研究発表	実践した研究のプレゼンテーションを行う
30	まとめ2	受講者が特に注目した項目について振り返る

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅱ	担当	共同 主: 山本 保博 副: 横田 裕行 副: 鈴木 健介	90分×30回	2年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

研究計画の立案・実行方法、論文の書き方など、研究を行うために必要な総合能力をアップデートする。研究に必要な文献を引用する。研究のオリジナリティや limitation、グラフや表を作成する。研究方法、結果、考察、結論、limitation などの論文の書き方を含め研究遂行のための総合能力をアップデートする。

GIO: 研究計画の立案・実行方法、論文の書き方など、研究を行うために必要な総合能力をアップデートする

SBOs:

- ① 研究方法をデザインする
- ② 研究結果をまとめ考察する
- ③ 結論・limitation をまとめる

履修注意

作成したプレゼンテーション資料はディスカッションに用います。

評価方法

プレゼンテーション資料(50%)、レポート(50%)で総合的に評価します。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義内容、受講上の注意等を説明する。
2	先行研究1	先行研究について調べ、研究方法のデザインをまとめる
3	先行研究2	各論文の新規性・有効性・信頼性をまとめる
4	先行研究3	先行研究で明らかになっていないリサーチクエッションを明確にする
5	研究方法のデザイン1	研究方法をデザインする
6	研究方法のデザイン2	研究方法をデザインする
7	研究方法のデザイン3	研究方法をデザインする
8	研究方法のデザイン4	研究方法をデザインする
9	予備実験1	予備実験を行い検証する
10	予備実験2	予備実験を行い検証する
11	予備実験3	予備実験を行い検証する
12	予備実験4	予備実験を行い検証する
13	結果のまとめ1	予備実験結果をまとめ、改善点を抽出する
14	結果のまとめ2	予備実験結果をまとめ、改善点を抽出する
15	研究方法の再検討	研究方法を再検討する
16	予備実験5	予備実験を行い検証する
17	予備実験6	予備実験を行い検証する
18	予備実験7	予備実験を行い検証する
19	予備実験8	予備実験を行い検証する
20	結果のまとめ3	予備実験結果をまとめる
21	結果のまとめ4	予備実験結果をまとめる
22	結果のまとめ5	表・グラフを作成する
23	結果のまとめ6	統計学的処理を行う
24	考察のまとめ1	結果から考察をまとめる
25	考察のまとめ2	結果の根拠となる文献を引用する
26	考察のまとめ3	結果の根拠となる文献を引用する
27	結論・抄録作成	結論をまとめ・抄録を作成する
28	Limitationの検討1	limitationをまとめ研究テーマ・方法などの検証を行う
29	Limitationの検討2	limitationをまとめ研究テーマ・方法などの検証を行う
30	研究発表	実践した研究のプレゼンテーションを行う

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅱ	担当	共同	90分×30回	2年	通年・集中
			主：中里 浩一 副：鴻崎 香里奈		必修	4単位

講義概要・目標

研究計画の立案・実行方法など、研究を行うために必要な総合能力を修得する。研究に必要な文献を引用し、研究の課題を指摘する。また、研究方法、結果、考察、結論など研究遂行のための総合能力を身につける。

一般目標：研究計画の立案・実行方法を修得し、結果についての統計操作を修得して、論文の書き方など研究を行うために必要な基礎能力を身につける。

行動目標：①研究についてその方法を列挙する(認知領域)。

②研究結果をまとめて統計操作する(精神・運動領域)。

③結論と課題について研究者同士で議論し、それぞれの意見に配慮する(情意領域)。

履修注意

先行研究に関連する論文の要旨をレポートにまとめ、プレゼンテーション資料を作成する。作成したプレゼンテーション資料はディスカッション時に資料として提出する。

評価方法

教員間での評価が異なるように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、教員間で共有する。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	研究方法の検討1	研究を行うに必要な研究方法を検討する
3	研究方法の検討2	研究方法を決定する
4	小テーマ1の先行研究	小テーマ1に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を精読し、議論する
5	小テーマ1の先行研究	小テーマ1に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ1)
6	小テーマ1の先行研究	小テーマ1に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ2)
7	小テーマ1の先行研究	小テーマ1に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ3)
8	小テーマ1の先行研究	小テーマ1に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ4)
9	小テーマ1の先行研究	小テーマ1に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ5)
10	小テーマ1の概要まとめ	これまでの講義内容からイントロダクションの論理構成を議論する
11	小テーマ2の先行研究	小テーマ2に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を精読する
12	小テーマ2の先行研究	小テーマ2に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を理解する
13	小テーマ2の先行研究	小テーマ2に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文について議論する
14	小テーマ2の先行研究	小テーマ2に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ1)
15	小テーマ2の先行研究	小テーマ2に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ2)
16	小テーマ2の先行研究	小テーマ2に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ3)
17	小テーマ2の先行研究	小テーマ2に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ4)
18	小テーマ2の概要まとめ	これまでの講義内容からイントロダクションの論理構成を議論する
19	小テーマ3の先行研究	小テーマ3に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を精読する
20	小テーマ3の先行研究	小テーマ3に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を理解する
21	小テーマ3の先行研究	小テーマ3に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文について議論する
22	小テーマ3の先行研究	小テーマ3に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ1)
23	小テーマ3の先行研究	小テーマ3に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ2)
24	小テーマ3の先行研究	小テーマ3に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ3)
25	小テーマ3の先行研究	小テーマ3に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ4)
26	小テーマ3の概要まとめ	これまでの講義内容からイントロダクションの論理構成を議論する
27	研究結果の統計操作	特別研究Ⅱで行った研究(実験)結果をまとめ、統計操作する
28	研究発表1	小テーマ1～3を元にした博士論文全体の構成についてプレゼンを行う
29	研究発表2	博士論文全体の構成から大テーマの設定を再確認する
30	まとめ	受講者が特に注目した項目について振り返る

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅱ	担当	共同	90分×30回	2年	通年・集中
			主:中里 浩一 副:鴻崎 香里奈		必修	4単位

講義概要・目標

通常自然科学分野における博士学位申請論文は学位申請者が3報程度の原著論文を作成し、それぞれの論文における科学的な結論を組み合わせることで学位申請論文の全体的な結論(大テーマ)を導くことになる。本講義はそういった学位申請論文の全体構造を意識し、学位論文の要素となる複数の研究小テーマ(小テーマ)に関連する原著論文をレビューすることで自分自身の小テーマの設定を行う。本講義の目的は学位申請論文を形作る原著論文の小テーマに関連する複数の先行研究をまとめることで原著論文の中でも特にイントロダクションにおけるパラグラフライティングの一助とすることである。

履修注意

基本的にディスカッション中心に講義を進めるため、履修者の積極的な参加態度を重視する。

評価方法

討論中の発言や態度を評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	イントロダクション	博士学位請求論文作成へ向けての学位論文全体の構造を議論する
2	小テーマ1の先行研究	小テーマ1に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する1
3	小テーマ1の先行研究	小テーマ1に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する2
4	小テーマ1の先行研究	小テーマ1に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する3
5	小テーマ1の先行研究	小テーマ1に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ1)
6	小テーマ1の先行研究	小テーマ1に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ2)
7	小テーマ1の先行研究	小テーマ1に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ3)
8	小テーマ1の先行研究	小テーマ1に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ4)
9	小テーマ1の先行研究	小テーマ1に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ5)
10	小テーマ1の概要まとめ	これまでの講義内容からイントロダクションの論理構成を議論する
11	小テーマ2の先行研究	小テーマ2に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する1
12	小テーマ2の先行研究	小テーマ2に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する2
13	小テーマ2の先行研究	小テーマ2に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する3
14	小テーマ2の先行研究	小テーマ2に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ1)
15	小テーマ2の先行研究	小テーマ2に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ2)
16	小テーマ2の先行研究	小テーマ2に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ3)
17	小テーマ2の先行研究	小テーマ2に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ4)
18	小テーマ2の先行研究	小テーマ2に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ5)
19	小テーマ2の概要まとめ	これまでの講義内容からイントロダクションの論理構成を議論する
20	小テーマ3の先行研究	小テーマ3に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する1
21	小テーマ3の先行研究	小テーマ3に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する2
22	小テーマ3の先行研究	小テーマ3に関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を紹介する3
23	小テーマ3の先行研究	小テーマ3に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ1)
24	小テーマ3の先行研究	小テーマ3に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ2)
25	小テーマ3の先行研究	小テーマ3に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ3)
26	小テーマ3の先行研究	小テーマ3に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ4)
27	小テーマ3の先行研究	小テーマ3に関連し蒐集した複数の論文から問題点の形成を行う(パラグラフ5)
28	小テーマ3の概要まとめ	これまでの講義内容からイントロダクションの論理構成を議論する
29	博士論文の構成	小テーマ1～3を元にした博士論文全体の構成についてプレゼンを行う
30	博士論文の構成	博士論文全体の構成から大テーマの設定を再確認する

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅱ	担当	共同	90分×30回	2年	通年・集中
			主:小林 正利 副:遠藤 直哉		必修	4単位

講義概要・目標

研究計画の立案・実行方法など、研究を行うために必要な総合能力を修得する。研究に必要な文献を引用し、研究の課題を指摘する。また、研究方法、結果、考察、結論など研究遂行のための総合能力を身につける。

一般目標: 研究計画の立案・実行方法を修得し、結果についての統計操作を修得して、論文の書き方など研究を行うために必要な基礎能力を身につける。

行動目標: ①研究についてその方法を列挙する(認知領域)。

②研究結果をまとめて統計操作する(精神・運動領域)。

③結論と課題について研究者同士で議論し、それぞれの意見に配慮する(情意領域)。

履修注意

先行研究に関連する論文の要旨をレポートにまとめ、プレゼンテーション資料を作成する。作成したプレゼンテーション資料はディスカッション時に資料として提出する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、教員間で共有する。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	プレゼン技法の確認	プレゼン技法について検討する。
3	研究の論理構成の確認	研究の論理構成・ストーリーについて検討する。
4	研究方法の検討	研究を行うに必要な研究方法を検討し、研究方法を決定する。
5	各項目の文章構成1	パラグラフライティングの技法、文章構成について解説する。
6	各項目の文章構成2	パラグラフの文章構成を実践する。
7	画像解析・整理1	写真データの整理法について解説する
8	画像解析・整理2	Image J・Photoshop・3次元解析ソフトを使用したデータ処理を解説し、実践する
9	生物統計	生物統計の基礎を修得する
10	医学統計	医学統計の基礎を修得する
11	図表の整理1	パワーポイントを利用した図表の整理法を解説する。
12	図表の整理2	パワーポイントを利用した図表の整理法を実践する。
13	ポスターの作製法1	Illustrator・Power point を使用したポスターの作製法を解説する。
14	ポスターの作製法2	効果的な文章・図表の配置を解説し議論する。
15	ポスターの作製法3	ポスターを完成させる。
16	ポスター発表演習1	内容を発表し受講者が互いに議論を行う。
17	ポスター発表演習2	ハンドアウトを作製する。
18	口頭発表演習1	口頭発表用のスライド原稿を作成する。
19	口頭発表演習2	口頭発表を受講者が互いに行い評価する。
20	口頭発表演習3	加筆・修正を行い完成させる。
21	抄録の作成	発表抄録を作成する。
22	論文の作成法演習1	序章・問題意識・先行研究の書き方を演習する。
23	論文の作成法演習2	研究方法の書き方を演習する。
24	論文の作成法演習3	研究結果・研究考察・参考文献の書き方を演習する。
25	論文の作成法演習4	題名・目次・凡例及び要旨・抄録の書き方を演習する。
26	論文の作成法演習5	投稿規定について論文構成のまとめ方を演習する。
27	論文の作成法演習6	論文構成を再考する。
28	小論文作成	小論文を完成させる。
29	研究発表	実践した研究のプレゼンテーションを行う
30	まとめ	受講者が特に注目した項目について振り返る

教科書・参考書

必要に応じて提示する。

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅱ	担当	共同 主:小林 正利 副:遠藤 直哉	90分×30回	2年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

特別演習Ⅰに引き続き、各人の救急医療災害分野に関連する研究を進展させ、学会発表等でのプレゼン能力を向上させるとともに抄録を作成し、論文作成のストーリー展開能力を向上させることを目標とする。

本講義の目標は次のとおり。

- 1 クリティカルシンキングができる。
- 2 エビデンスに基づいて論理的説明ができる。
- 3 得られた結果の妥当性および導き出される結論を明確に伝えられるようになる。

履修注意

事前準備状況、発言内容、口頭質問により研究能力の習得程度を総合的に評価する。

評価方法

プレゼンレジュメ・資料、発表内容、口頭質問により研究能力の習得程度により総合的に評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義内容、受講上の注意を説明する。
2	プレゼン技法の確認1	プレゼン技法、研究の論理構成・ストーリーについて検討する。
3	プレゼン技法の確認2	プレゼン技法、研究の論理構成・ストーリーについて検討する。
4	各項目の文章構成1	パラグラフライティングの技法について解説する。
5	各項目の文章構成2	パラグラフの文章構成について解説する。
6	各項目の文章構成3	パラグラフの文章構成を実践する。
7	画像解析・整理1	写真データの整理法について解説する
8	画像解析・整理2	Image Jを使用したデータ処理を解説し、実践する
9	画像解析・整理3	Photoshopを使用したデータ処理を解説し、実践する。
10	画像解析・整理4	3次元解析ソフトを用いたデータ処理を解説し実践する。
11	図表の整理1	パワーポイントを利用した図表の整理法を解説し実践する。
12	図表の整理2	パワーポイントを利用した図表の整理法を解説し実践する。
13	ポスターの作製法1	Illustrator・Power pointを使用したポスターの作製法を解説する。
14	ポスターの作製法2	効果的な文章・図表の配置を解説し議論する。
15	ポスターの作製法3	ポスターを完成させる。
16	ポスター発表演習1	内容を発表し受講者が互いに議論を行う。
17	ポスター発表演習2	ハンドアウトを作製する。
18	口頭発表演習1	口頭発表用のスライド原稿を作成する。
19	口頭発表演習2	口頭発表を受講者が互いに行い評価する。
20	口頭発表演習3	加筆・修正を行い完成させる。
21	抄録の作成	発表抄録を作成する。
22	論文の作成法演習1	序章・問題意識・先行研究の書き方を演習する。
23	論文の作成法演習2	研究方法の書き方を演習する。
24	論文の作成法演習3	研究結果・研究考察・参考文献の書き方を演習する。
25	論文の作成法演習4	題名・目次・凡例及び要旨・抄録の書き方を演習する。
26	論文の作成法演習5	投稿規定について論文構成のまとめ方を演習する。
27	論文の作成法演習5	論文構成を再考する。
28	論文の作成法演習7	小論文を完成させる。
29	まとめ1	受講者が特に注目した項目について振り返る。
30	まとめ2	受講者が特に注目した項目について振り返る。

教科書・参考書

必要に応じて提示する。

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅲ	担当	共同 主:平沼 憲治 副:舟橋 厚 副:平沼 直人	90分×30回	3年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

特別演習Ⅰ・Ⅱで修得した知識と実験、その結果のまとめと考察、課題抽出等を行い、論文を作成する。

一般目標:特別演習Ⅰ・Ⅱで修得した知識から特別研究Ⅲを遂行するために必要な研究推進技能を用い、医療倫理や研究倫理を理解し、研究者同士の意見と協調しつつ、論文を作成する能力を修得する。

行動目標:①研究方法を記述する(認知領域)。

②研究の結果を説明する(認知領域)。

③上記①②を文書化する(精神・運動領域)。

④研究者同士の議論の中で、反対意見に対しても配慮する(情意領域)。

履修注意

作成したプレゼンテーション資料はディスカッションに用いるため、次回講義前に毎回提出すること。研究ノートは逐一記入こと。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、認知領域はレポート、研究ノート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	研究方法の検討1	研究を行うに必要な研究方法をデザイン
3	研究方法の検討2	研究を行うに必要な研究方法の検討
4	研究方法の確立1	研究手法が適切か検討
5	研究方法の確立2	研究手法を決定
6	研究方法の検証1	研究手法精度について検討
7	研究方法の検証2	研究手法精度について考察
8	研究方法の検証3	研究手法精度について解析
9	医療倫理1	ヘルシンキ宣言の意義と概念
10	医療倫理2	いわゆる「人指針と臨床研究法」
11	研究倫理	利益相反、盗用、剽窃等
12	結果のまとめ1	本研究結果の整理
13	結果のまとめ2	本研究結果の解釈
14	結果のまとめ3	実験結果の解釈
15	結果のまとめ4	実験結果の解釈(外れ値の扱い)
16	結果のまとめ5	実験結果の総括
17	結果のまとめ6	実験結果を英文にする
18	研究ノート記載方法	研究ノートの記載方法とルールを修得する
19	考察のまとめ1	研究結果をまとめる
20	考察のまとめ2	研究結果をまとめ、考察する
21	考察のまとめ3	研究結果を基に考察をまとめ、議論を通じて理解を深める
22	考察のまとめ4	研究結果を基に考察をまとめ、結論を導く
23	結論1	本研究の結論について検討
24	結論2	本研究の結論について検討し、改善点を抽出する
25	結論3	本研究の結論について検討し、修正点を明確にする
26	参考文献のまとめ方1	論文投稿規程に合わせた参考文献の表示法を学ぶ。
27	参考文献のまとめ方2	論文投稿規程に合わせた参考文献の表示法を演習する。
28	研究発表1	パワーポイントを使い発表し、検討する
29	研究発表2	研究発表1で指摘された事項を修正し、再度発表を行う
30	まとめ	受講者が特に注目した項目について振り返る

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅲ	担当	共同 主:平沼 憲治 副:舟橋 厚 副:平沼 直人	90分×30回	3年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

本研究計画の立案・実行方法、研究を行うために必要な総合能力を習得する。研究のオリジナリティ、グラフや表に記載されている結果から引用できる部分を抽出し、参考文献としてまとめる。また、研究方法、結果、考察、結論などの論文の書き方を含め研究遂行のための総合能力を習得する。

GIO: 研究方法論の確立や研究結果をまとめ考察する能力等、研究を行うために必要な総合能力を習得する

SBOs:

- ④ 研究方法の検討。
- ⑤ 研究手法の習得
- ⑥ 本研究の結果をまとめ考察する

履修注意

研究手技についての文献を検索し、先行研究に基づいた方法で行うこと。

評価方法

研究計画および研究手技の習得度(70%)、プレゼンテーション(30%)で評価します。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義内容を説明する。研究テーマについて検討。
2	研究方法の検討	研究を行うに必要な研究方法の検討。
3	研究方法の検討	研究を行うに必要な研究方法の検討。
4	研究方法の確立	研究手法が適切か検討
5	研究方法の確立	研究手法が適切か検討
6	研究方法の検証	研究手法精度について検討
7	研究方法の検証	研究手法精度について検討
8	研究方法の検証	研究手法精度について検討
9	研究方法の検証	研究手法精度について検討
10	研究方法の検証	研究手法精度について検討
11	研究方法の検証	研究手法精度について検討
12	結果をまとめる	本研究結果をまとめる
13	結果をまとめる	本研究結果をまとめる
14	結果をまとめる	本研究結果をまとめる
15	結果をまとめる	本研究結果をまとめる
16	結果をまとめる	本研究結果をまとめる
17	結果をまとめる	本研究結果をまとめる
18	結果をまとめる	本研究結果をまとめる
19	考察をまとめる	本研究結果から考察をまとめる
20	考察をまとめる	本研究結果から考察をまとめる
21	考察をまとめる	本研究結果から考察をまとめる
22	考察をまとめる	本研究結果から考察をまとめる
23	考察をまとめる	本研究結果から考察をまとめる
24	考察をまとめる	本研究結果から考察をまとめる
25	結論	本研究の結論について検討
26	結論	本研究の結論について検討
27	結論	本研究の結論について検討
28	プレゼンテーション	本研究についてパワーポイント使い発表する
29	プレゼンテーション	本研究についてパワーポイント使い発表する
30	まとめ	本研究のオリジナリティと今後の展望について

教科書・参考書

特になし

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅲ	担当	共同	90分×30回	3年	通年・集中
			主:小川 理郎 副:後藤 真史奈		必修	4単位

講義概要・目標

特別演習Ⅰ・Ⅱで修得した知識と実験、その結果のまとめと考察、課題抽出等を行い、論文を作成する。

一般目標:特別演習Ⅰ・Ⅱで修得した知識から特別研究Ⅲを遂行するために必要な研究推進技能を用い、医療倫理や研究倫理を理解し、研究者同士の意見と協調しつつ、論文を作成する能力を修得する。

行動目標:①研究方法を記述する(認知領域)。

②研究の結果を説明する(認知領域)。

③上記①②を文書化する(精神・運動領域)。

④研究者同士の議論の中で、反対意見に対しても配慮する(情意領域)。

履修注意

作成したプレゼンテーション資料はディスカッションに用いるため、次回講義前に毎回提出すること。研究ノートは逐一記入すること。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、認知領域はレポート、研究ノート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	研究方法の検討 1	研究方法のデザインをする
3	研究方法の検討 2	研究を行うに必要な研究方法の検討
4	研究方法の検討 3	特別研究Ⅲの実験計画に参考となる論文をまとめてプレゼンテーションする
5	研究方法の確立 1	研究手法が適切か検討する
6	研究方法の検証 1	研究手法精度について検討する
7	結果をまとめる 1	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる
8	結果をまとめる 2	特別研究Ⅲで実施した研究結果の疑問点をまとめる
9	結果をまとめる 3	特別研究Ⅲで実施した研究結果の疑問点を検証する
10	結果をまとめる 4	特別研究Ⅲで実施した研究結果の疑問点について議論する
11	結果をまとめる 5	特別研究Ⅲで実施した研究結果の外れ値をまとめる
12	研究ノート記載方法	研究ノートの記載方法とルールを修得する
13	結果をまとめる 6	特別研究Ⅲで実施した研究結果の外れ値を検証する
14	結果をまとめる 7	特別研究Ⅲで実施した研究結果の外れ値について議論する
15	結果をまとめる 8	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる
16	結果をまとめる 9	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめ、改善点を抽出する
17	結果をまとめる 10	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめ、修正点を明確にする
18	結果をまとめる 11	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめ、結論を導く
19	医療倫理1	ヘルシンキ宣言の意義と概念
20	医療倫理2	いわゆる「人指針と臨床研究法」
21	研究倫理	利益相反、盗用、剽窃等
22	結果の考察 1	特別研究Ⅲで実施した研究結果から考察をまとめる
23	結果の考察 2	特別研究Ⅲで実施した研究結果から考察をまとめ、プレゼンテーション資料を作成する
24	結果の考察 3	まとめた考察について、プレゼンテーションする
25	結果の結論 1	特別研究Ⅱで実施した研究結果の結論を検討
26	結果の結論 2	特別研究Ⅱで実施した研究結果の結論を検討し、プレゼンテーション資料を作成する
27	結果の結論 3	結論について、プレゼンテーションする
28	研究発表 1	研究成果の発表方法を検討する
29	研究発表 2	実践した研究のプレゼンテーションを行う
30	まとめ	受講者が特に注目した項目について振り返る

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅲ	担当	共同 主:小川 理郎 副:後藤 真吏奈	90分×30回	3年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

GIO:特別演習Ⅲは、特別研究Ⅲで研究を計画・実施・結果解析・論文作成するのに必要となる知識を取得する。

SBOs:

- ① 研究計画を構築し、妥当性、信頼性を検証する枠組みを確立するための知識を修得する。
- ② 研究結果を分かりやすく発表するための様々な知識を修得する。

履修注意

プレゼンテーション資料は講義後に毎回、提出して下さい。

評価方法

プレゼンテーション(50%), レポート(50%)で総合的に評価します。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	研究方法の検討 1	研究方法のデザインをする
3	研究方法の検討 2	研究を行うに必要な研究方法の検討
4	研究方法の検討 3	特別研究Ⅲの実験計画に参考となる論文をまとめてプレゼンテーションする
5	研究方法の確立 1	研究手法が適切か検討する
6	研究方法の検証 1	研究手法精度について検討する
7	結果をまとめる 1	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる
8	結果をまとめる 2	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる
9	結果をまとめる 3	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる
10	結果をまとめる 4	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる
11	結果をまとめる 5	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる
12	結果をまとめる 6	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる
13	結果をまとめる 7	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる
14	結果をまとめる 8	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる
15	結果をまとめる 9	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる
16	結果をまとめる 10	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる
17	結果をまとめる 11	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる
18	結果をまとめる 12	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる
19	結果をまとめる 13	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる
20	結果をまとめる 14	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる
21	結果をまとめる 15	特別研究Ⅲで実施した研究結果をまとめる
22	結果の考察 1	特別研究Ⅲで実施した研究結果から考察をまとめる
23	結果の考察 2	特別研究Ⅲで実施した研究結果から考察をまとめる
24	結果の考察 3	まとめた考察について、プレゼンテーションする
25	結果の結論 1	特別研究Ⅱで実施した研究結果の結論を検討
26	結果の結論 2	特別研究Ⅱで実施した研究結果の結論を検討
27	結果の結論 3	結論について、プレゼンテーションする
28	研究成果発表 1	研究成果の発表方法を検討する
29	研究成果発表 2	研究発表を検討する
30	研究発表	本研究を総括としてまとめてプレゼンテーションする

教科書・参考書

なし

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅲ	担当	共同 主:山本 保博 副:横田 裕行 副:鈴木 健介	90分×30回	3年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

特別演習Ⅰ・Ⅱで修得した知識と実験、その結果のまとめと考察、課題抽出等を行い、論文を作成する。

一般目標:特別演習Ⅰ・Ⅱで修得した知識から特別研究Ⅲを遂行するために必要な研究推進技能を用い、医療倫理や研究倫理を理解し、研究者同士の意見と協調しつつ、論文を作成する能力を修得する。

行動目標:①研究方法を記述する(認知領域)。

②研究の結果を説明する(認知領域)。

③上記①②を文書化する(精神・運動領域)。

④研究者同士の議論の中で、反対意見に対しても配慮する(情意領域)。

履修注意

作成したプレゼンテーション資料はディスカッションに用いるため、次回講義前に毎回提出すること。研究ノートは逐一記入すること。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、認知領域はレポート、研究ノート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	文献検索	研究テーマに沿った文献を検索する
3	文献精読	研究テーマに沿った文献を精読する
4	参考文献リスト作成	研究テーマに沿った参考文献リストを作成する
5	研究方法のデザイン	研究方法をデザインする
6	医療倫理1	ヘルシンキ宣言の意義と概念
7	医療倫理2	いわゆる「人指針と臨床研究法」
8	研究倫理	利益相反、盗用、剽窃等
9	実験1	実験を行う
10	実験2	実験を行い検証する
11	実験3	実験の検証結果について議論する
12	研究ノート記載方法	研究ノートの記載方法とルールを修得する
13	結果のまとめ1	実験結果をまとめる
14	結果のまとめ2	実験結果を検証する
15	結果のまとめ3	実験結果を英文にする
16	結果のまとめ4	実験結果を英文にし、英文で解説を作成する
17	結果のまとめ5	表・グラフを作成し英語で解説を作成する
18	結果のまとめ6	統計学的処理を行う
19	考察のまとめ1	結果から考察をまとめ英文にする
20	考察のまとめ2	結果の根拠となる文献を引用する
21	結論・抄録作成	結論をまとめ・抄録を英文で作成する
22	Limitationの検討1	limitationを英文でまとめる
23	Limitationの検討2	limitationを英文でまとめ研究テーマ・方法などの検証を行う
24	投稿規定の確認1	International Journalの投稿規定に沿っているか確認する
25	投稿規定の確認2	International Journalの投稿規定に沿っているか確認し、抄録の編集を行う
26	英文の確認	英文の確認を行う
27	投稿準備1	編集長への手紙を作成する
28	投稿準備2	査読者への手紙を作成する
29	研究発表	実践した研究のプレゼンテーションを行う
30	まとめ	受講者が特に注目した項目について振り返る

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅲ	担当	共同	90分×30回	3年	通年・集中
			主:山本 保博 副:横田 裕行 副:鈴木 健介		必修	4単位

講義概要・目標

特別演習Ⅰ・Ⅱで行った研究計画の立案・実行方法、論文の書き方など、研究を遂行するために必要な研究推進能力を用いて、論文を作成する。

GIO:研究計画の立案・実行方法、論文の書き方など、研究を行うために必要な研究推進能力を用いて論文を作成する。

SBOs:

- ① 研究方法をデザインする。
- ② 研究結果をまとめ考察する。
- ③ 結論・limitationをまとめる。
- ④ International Journalに投稿する。

履修注意

作成したプレゼンテーション資料はディスカッションに用います。プレゼンテーション資料は講義後に毎回、提出して下さい。

評価方法

プレゼンテーション資料(50%)、レポート(50%)で総合的に評価します。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義内容, 受講上の注意等を説明する.
2	文献検索1	研究テーマに沿った文献を検索する
3	文献検索2	研究テーマに沿った文献を検索する
4	参考文献リスト作成	研究テーマに沿った参考文献リストを作成する
5	研究方法のデザイン1	研究方法をデザインする
6	研究方法のデザイン2	研究方法をデザインする
7	研究方法のデザイン3	研究方法をデザインする
8	研究方法のデザイン4	研究方法をデザインする
9	実験1	実験を行い検証する
10	実験2	実験を行い検証する
11	実験3	実験を行い検証する
12	実験4	実験を行い検証する
13	結果のまとめ1	実験結果をまとめる
14	結果のまとめ2	実験結果をまとめる
15	結果のまとめ3	実験結果を英文にする
16	結果のまとめ4	実験結果を英文にする
17	結果のまとめ5	表・グラフを作成し英語で解説を作成する
18	結果のまとめ6	統計学的処理を行う
19	考察のまとめ1	結果から考察をまとめ英文にする
20	考察のまとめ2	結果の根拠となる文研を引用する
21	考察のまとめ3	結果の根拠となる文研を引用する
22	結論・抄録作成	結論をまとめ・抄録を英文で作成する
23	Limitationの検討1	limitationを英文でまとめ研究テーマ・方法などの検証を行う
24	Limitationの検討2	limitationを英文でまとめ研究テーマ・方法などの検証を行う
25	投稿規定の確認1	International Journalの投稿規定に沿っているか確認する
26	投稿規定の確認2	International Journalの投稿規定に沿っているか確認する
27	英文の確認	英文の確認を行う
28	投稿準備1	編集長への手紙を作成する
29	投稿準備2	査読者への手紙を作成する
30	研究発表	実践した研究のプレゼンテーションを行う

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅲ	担当	共同 主：中里 浩一 副：鴻崎 香里奈	90分×30回	3年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

特別演習Ⅰ・Ⅱで修得した知識と実験、その結果のまとめと考察、課題抽出等を行い、論文を作成する。

一般目標：特別演習Ⅰ・Ⅱで修得した知識から特別研究Ⅲを遂行するために必要な研究推進技能を用い、研究者同士の意見と協調しつつ、論文を作成する能力を修得する。

行動目標：①研究方法を記述する（認知領域）。

②研究の結果を説明する（認知領域）。

③上記①②を文書化する（精神・運動領域）。

④研究者同士の議論の中で、反対意見に対しても配慮する（情意領域）。

履修注意

講義担当者が指定した博士学位論文を事前に精読することが要求される。受講者は入念な講義への準備が求められる。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、教員間で共有する。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	博士論文1精読1	博士論文1における general introduction の関連論文を精読する
3	博士論文1精読2	博士論文1における小テーマ1(各 chapter)の関連論文を精読する
4	博士論文1精読3	博士論文1における小テーマ2(各 chapter)の関連論文を精読する
5	博士論文1精読4	博士論文1における小テーマ3(各 chapter)の関連論文を精読する
6	博士論文1精読5	博士論文1における general discussion の関連論文を精読する
7	博士論文1精読6	博士論文1を通読することで博士論文の論理構成を議論する
8	博士論文2精読1	博士論文2における general introduction の関連論文を精読する
9	博士論文2精読2	博士論文2における小テーマ1(各 chapter)の関連論文を精読する
10	博士論文2精読3	博士論文2における小テーマ2(各 chapter)の関連論文を精読する
11	博士論文2精読4	博士論文2における小テーマ3(各 chapter)の関連論文を精読する
12	博士論文2精読5	博士論文2における general discussion の関連論文を精読する
13	博士論文2精読6	博士論文2を通読することで博士論文の論理構成を議論する
14	博士論文3精読1	博士論文3における general introduction の関連論文を精読する
15	博士論文3精読2	博士論文3における小テーマ1(各 chapter)の関連論文を精読する
16	博士論文3精読3	博士論文3における小テーマ2(各 chapter)の関連論文を精読する
17	博士論文3精読4	博士論文3における小テーマ3(各 chapter)の関連論文を精読する
18	博士論文3精読5	博士論文3における general discussion の関連論文を精読する
19	博士論文3精読6	博士論文3を通読することで博士論文の論理構成を議論する
20	博士論文4精読1	博士論文4における general introduction の関連論文を精読する
21	博士論文4精読2	博士論文4における小テーマ1(各 chapter)の関連論文を精読する
22	博士論文4精読3	博士論文4における小テーマ2(各 chapter)の関連論文を精読する
23	博士論文4精読4	博士論文4における小テーマ3(各 chapter)の関連論文を精読する
24	博士論文4精読5	博士論文4における general discussion の関連論文を精読する
25	博士論文4精読6	博士論文4を通読することで博士論文の論理構成を議論する
26	論文構成	博士論文 1, 2, 3, 4 から、論文構成(章立て)について検討する
27	研究方法記述	博士論文 1, 2, 3, 4 を参考とし、研究方法を記述する
28	研究結果考察	博士論文 1, 2, 3, 4 を参考とし、研究結果を説明、考察する
29	研究方法、結果の文書化	研究方法、結果、考察等を文書化する
30	研究発表	博士学位請求論文に関してその構造を発表、議論する

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅲ	担当	共同 主:中里 浩一 副:鴻崎 香里奈	90分×30回	3年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

本講義では過去に提出された複数の博士学位請求論文を読み込むことにより、博士学位請求論文を作成するために必要な考え方を学ぶ。精読する博士学位論文は講義担当者が指定するものとするが、生理学、生化学、細胞生物学に関連し過去に講義担当者が関与した学位論文とする。本講義の最終的な目標は博士学位請求論文を作成するために必要な知識と技能を習得することにある。

履修注意

講義担当者が指定した博士学位論文を事前に精読することが要求される。受講者は入念な講義への準備が求められる。

評価方法

討論中の発言や態度を評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	イントロダクション	本講義の進め方や全体像の概説を行う
2	博士論文1精読1	博士論文1における general introduction の関連論文を紹介する
3	博士論文1精読2	博士論文1における小テーマ1(各 chapter)の関連論文を紹介する
4	博士論文1精読3	博士論文1における小テーマ2(各 chapter)の関連論文を紹介する
5	博士論文1精読4	博士論文1における小テーマ3(各 chapter)の関連論文を紹介する
6	博士論文1精読5	博士論文1における general discussion の関連論文を紹介する
7	博士論文1精読6	博士論文1を通読することで博士論文1の論理構成を議論する
8	博士論文2精読1	博士論文2における general introduction の関連論文を紹介する
9	博士論文2精読2	博士論文2における小テーマ1(各 chapter)の関連論文を紹介する
10	博士論文2精読3	博士論文2における小テーマ2(各 chapter)の関連論文を紹介する
11	博士論文2精読4	博士論文2における小テーマ3(各 chapter)の関連論文を紹介する
12	博士論文2精読5	博士論文2における general discussion の関連論文を紹介する
13	博士論文2精読6	博士論文2を通読することで博士論文1の論理構成を議論する
14	博士論文3精読1	博士論文3における general introduction の関連論文を紹介する
15	博士論文3精読2	博士論文3における小テーマ1(各 chapter)の関連論文を紹介する
16	博士論文3精読3	博士論文3における小テーマ2(各 chapter)の関連論文を紹介する
17	博士論文3精読4	博士論文3における小テーマ3(各 chapter)の関連論文を紹介する
18	博士論文3精読5	博士論文3における general discussion の関連論文を紹介する
19	博士論文3精読6	博士論文3を通読することで博士論文1の論理構成を議論する
20	博士論文4精読1	博士論文4における general introduction の関連論文を紹介する
21	博士論文4精読2	博士論文4における小テーマ1(各 chapter)の関連論文を紹介する
22	博士論文4精読3	博士論文4における小テーマ2(各 chapter)の関連論文を紹介する
23	博士論文4精読4	博士論文4における小テーマ3(各 chapter)の関連論文を紹介する
24	博士論文4精読5	博士論文4における general discussion の関連論文を紹介する
25	博士論文4精読6	博士論文4を通読することで博士論文1の論理構成を議論する
26	博士論文1再読	博士論文1の論理構造を再度議論する
27	博士論文2再読	博士論文2の論理構造を再度議論する
28	博士論文3再読	博士論文3の論理構造を再度議論する
29	博士論文4再読	博士論文4の論理構造を再度議論する
30	まとめ	自分自身の博士学位請求論文に関してその構造を発表、議論する

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅲ	担当	共同 主：小林 正利 副：遠藤 直哉	90分×30回	3年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

特別演習Ⅰ・Ⅱで修得した知識と実験、その結果のまとめと考察、課題抽出等を行い、論文を作成する。

一般目標：特別演習Ⅰ・Ⅱで修得した知識から特別研究Ⅲを遂行するために必要な研究推進技能を用い、医療倫理や研究倫理を理解し、研究者同士の意見と協調しつつ、論文を作成する能力を修得する。

行動目標：①研究方法を記述する(認知領域)。

②研究の結果を説明する(認知領域)。

③上記①②を文書化する(精神・運動領域)。

④研究者同士の議論の中で、反対意見に対しても配慮する(情意領域)。

履修注意

作成したプレゼンテーション資料はディスカッションに用いるため、次回講義前に毎回提出すること。研究ノートは逐一記入すること。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、認知領域はレポート、研究ノート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	目的に関する先行研究1	目的について蒐集した論文の中で重要性の高い論文1を抄読する。
3	目的に関する先行研究2	目的について蒐集した論文の中で重要性の高い論文2を抄読する。
4	目的に関する先行研究3	目的について蒐集した論文の中で重要性の高い論文3を抄読する。
5	目的に関する先行研究4	目的について蒐集した論文の中で重要性の高い論文4を抄読する。
6	目的に関する先行研究5	目的について蒐集した論文の中で重要性の高い論文5を抄読する。
7	目的の概要まとめ	目的の段落構成および論理構成をについて演習する。
8	方法に関する先行研究1	方法について蒐集した論文1,2,3を抄読し方法論作成の演習を行う。
9	方法に関する先行研究2	方法について蒐集した論文4,5を抄読し方法論作成の演習を行う。
10	医療倫理1	ヘルシンキ宣言の意義と概念
11	医療倫理2	いわゆる「人指針と臨床研究法」
12	研究倫理	利益相反、盗用、剽窃等
13	方法の概要まとめ	目的の段落構成および論理構成について演習する。
14	結果の作成演習1	効果的な図表の作成法について蒐集した論文1を抄読し演習する。
15	結果の作成演習2	効果的な図表の作成法について蒐集した論文2を抄読し演習する。
16	結果の作成演習3	統計手法について蒐集した論文を抄読し演習する。
17	研究ノート記載方法	研究ノートの記載方法とルールを修得する
18	結果の作成演習4	結果の文章構成について演習する。
19	結果の概要まとめ	結果の段落構成および論理構成について演習する。
20	考察に関する先行研究1	考察について関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文1を抄読する。
21	考察に関する先行研究2	考察について関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文2を抄読する。
22	考察に関する先行研究3	考察について関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文3を抄読する。
23	考察の概要まとめ1	考察の段落構成について演習する。
24	考察の概要まとめ2	考察の論理構成について演習する。
25	結論・まとめの作成演習1	蒐集した論文の中から結論のまとめ方を学ぶ。
26	結論・まとめの作成演習2	蒐集した論文の中から結論のまとめ方を演習する。
27	参考文献のまとめ方1	論文投稿規程に合わせた参考文献の表示法を学ぶ。
28	参考文献のまとめ方2	論文投稿規程に合わせた参考文献の表示法を演習する。
29	研究発表	実践した研究のプレゼンテーションを行う。
30	まとめ	受講者が特に注目した項目について振り返る。

教科書・参考書

必要に応じて提示する。

科目	救急災害医療学 特別演習Ⅲ	担当	共同 主:小林 正利 副:遠藤 直哉	90分×30回	3年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

特別演習Ⅱに引き続き、各人の救急医療災害分野に関連する形態研究の国内および国外の原著論文を検索・精読し、ディスカッションを行う。博士論文を作成に関連する引用文献を検討しながら項目ごとに内容を検討・演習していく。

履修注意

事前準備状況、発言内容、口頭質問により研究能力の習得程度を総合的に評価する。

評価方法

担当者とディスカッションを重ね、事前準備状況、発言内容、口頭質問により研究能力の習得程度により総合的に評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義内容、受講上の注意、説明するとともに研究倫理を理解する。
2	目的に関する先行研究1	目的について蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する1。
3	目的に関する先行研究2	目的について蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する2。
4	目的に関する先行研究3	目的について蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する3。
5	目的に関する先行研究4	目的について蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する4。
6	目的に関する先行研究5	目的について蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する5。
7	目的の概要まとめ	目的の段落構成および論理構成をについて演習する。
8	方法に関する先行研究1	方法について蒐集した論文を抄読し方法論作成の演習を行う1。
9	方法に関する先行研究2	方法について蒐集した論文を抄読し方法論作成の演習を行う2。
10	方法に関する先行研究3	方法について蒐集した論文を抄読し方法論作成の演習を行う3。
11	方法に関する先行研究4	方法について蒐集した論文を抄読し方法論作成の演習を行う4。
12	方法に関する先行研究5	方法について蒐集した論文を抄読し方法論作成の演習を行う5。
13	方法の概要まとめ	目的の段落構成および論理構成について演習する。
14	結果の作成演習1	効果的な図表の作成法について蒐集した論文を抄読し演習する1。
15	結果の作成演習2	効果的な図表の作成法について蒐集した論文を抄読し演習する2
16	結果の作成演習3	統計手法について蒐集した論文を抄読し演習する1。
17	結果の作成演習4	統計手法について蒐集した論文を抄読し演習する2。
18	結果の作成演習5	結果の文章構成について演習する。
19	結果の概要まとめ	結果の段落構成および論理構成について演習する。
20	考察に関する先行研究1	考察について関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する1。
21	考察に関する先行研究2	考察について関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する2。
22	考察に関する先行研究3	考察について関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する3。
23	考察に関する先行研究4	考察について関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する4。
24	考察に関する先行研究5	考察について関連し蒐集した論文の中で重要性の高い論文を抄読する5。
25	考察の概要まとめ1	考察の段落構成および論理構成をについて演習する1。
26	考察の概要まとめ2	考察の段落構成および論理構成をについて演習する2。
27	結論・まとめの作成演習1	蒐集した論文の中からまとめ方を紹介し、演習する1。
28	結論・まとめの作成演習2	蒐集した論文の中からまとめ方を紹介し、演習する2。
29	参考文献のまとめ方1	論文投稿規程に合わせた参考文献の表示法を演習する1。
30	参考文献のまとめ方2	論文投稿規程に合わせた参考文献の表示法を演習する2。

教科書・参考書

必要に応じて提示する。

科目	救急災害医療学 特別研究 I	担当	共同 主:平沼 憲治 副:舟橋 厚 副:平沼 直人	90分×30回	1年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

基礎研究に関わる論文を収集し、研究を行うために必要な基礎能力を身につける。研究のオリジナリティや課題を理解し、それらを分類して整理する能力を養う。また、医療人として常に知識の獲得が出来るよう積極性を養う。

一般目標:救急災害医療に関する研究計画を立案し、研究遂行に必須の医療統計を操作し、医療倫理に配慮した論文の書き方、Journal の評価について修得する。

行動目標:①研究に関する様々な関連法令や諸規定を厳守できる(認知領域)。

②医療統計ソフトを操作する(精神・運動領域)。

③医療倫理に配慮する(情意領域)。

履修注意

作成したプレゼンテーション資料、課題は次回講義前までに提出する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、教員間で共有する。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	研究計画の作成1	研究計画の立案・検討を行う
3	研究計画の作成2	研究計画・行程表を作成する
4	研究計画の作成3	研究倫理申請書作成方法の解説・実践
5	研究倫理1	人権と倫理、動物倫理、共同研究、利益相反についての解説・議論
6	研究倫理2	インフォームドコンセント、個人情報の保護、研究不正行為についての解説・議論
7	研究倫理3	守秘義務、オーサーシップ、二重投稿・二重出版・著作権についての解説・議論
8	研究倫理4	研究倫理における対策の検討・考察・議論
9	予備研究準備	予備研究に必要な準備・調整を行う
10	予備研究実施	予備研究を実施する
11	データ解析	集計されたデータを統計学的に解析する方法について解説・実践
12	研究論文作成方法1	論文の種類
13	研究論文作成方法2	introduction の書き方
14	研究論文作成方法3	方法の書き方
15	研究論文作成方法4	結果の書き方
16	研究論文作成方法5	考察の書き方
17	研究論文作成方法6	limitation の書き方
18	研究論文作成方法7	文献・謝辞の書き方
19	研究論文作成方法8	英語論文の書き方1(introduction、方法)
20	研究論文作成方法9	英語論文の書き方2(結果、考察)
21	研究論文作成方法10	英語論文の書き方3(limitation、文献・謝辞)
22	Journal の評価方法1	Impact factor 等
23	Journal の評価方法2	投稿規定の比較についての説明
24	Journal の評価方法3	投稿規定の比較についての考察
25	Journal の評価方法4	投稿規定の比較についての議論
26	結果のまとめ1	データ解析結果を表やグラフでまとめる
27	結果のまとめ2	データ解析結果をプレゼンテーションする
28	考察	結果から考察をまとめ、議論する
29	まとめ1	原著論文の書き方について理論構成を議論する
30	まとめ2	原著論文の書き方についてまとめる

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別研究 I	担当	共同 主:平沼 憲治 副:舟橋 厚 副:平沼 直人	90分×30回	1年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

立案した研究計画の予備実験を行い、データ解析・結果・考察するなど、研究を行うために必要な基礎能力を習得する。研究計画を基に予備実験を行い、データを集計し統計学的に検証する。集計したデータを基にグラフや表を作成し結果・考察を記載する。予備研究等を通じて研究方法・結果・考察を組み立て、研究遂行のための基礎能力を習得する。

GIO:立案した研究計画の予備研究を行い、データ解析・結果・考察するなど、研究を行うために必要な基礎能力を習得する。

SBOs:① 立案した研究計画を実行する行程表を作成する。② 予備研究の準備を行う。③ 予備研究を行う

④ データを集計し統計学的に検証する ⑤ 結果から考察をまとめ研究計画を見直す

履修注意

予備研究はできるだけ早期に行い、本実験に支障を来さないように注意すること。

評価方法

研究計画書(50%)、プレゼンテーション(50%)で総合的に評価します。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義内容等を説明する
2	研究計画の作成	研究計画・行程表を作成する
3	研究計画の作成	研究計画・行程表を作成する
4	研究計画の作成	研究計画・行程表を作成する
5	研究計画の作成	研究計画・行程表を作成する
6	研究計画の作成	研究計画・行程表を作成する
7	研究倫理	研究倫理申請書を作成する
8	研究倫理	研究倫理申請書を作成する。
9	予備研究準備	予備研究に必要な準備・調整を行う
10	予備研究実施	予備研究に必要な準備・調整を行う
11	データ解析	集計されたデータを統計学的に解析する
12	データ解析	集計されたデータを統計学的に解析する
13	データ解析	集計されたデータを統計学的に解析する
14	予備研究実施	予備実験を行いデータを集計する
15	予備研究実施	予備実験を行いデータを集計する
16	予備研究実施	予備実験を行いデータを集計する
17	予備研究実施	予備実験を行いデータを集計する
18	予備研究実施	予備実験を行いデータを集計する
19	予備研究実施	予備実験を行いデータを集計する
20	予備研究実施	予備実験を行いデータを集計する
21	予備研究実施	予備実験を行いデータを集計する
22	データ解析	集計されたデータを統計学的に解析する
23	データ解析	集計されたデータを統計学的に解析する
24	データ解析	集計されたデータを統計学的に解析する
25	データ解析	集計されたデータを統計学的に解析する
26	結果のまとめ	データ解析結果を表やグラフでまとめる
27	結果のまとめ	データ解析結果を表やグラフでまとめる
28	考察	結果から考察をまとめる
29	考察	結果から考察をまとめる
30	まとめ	次の研究についての検討

教科書・参考書

特になし

科目	救急災害医療学 特別研究 I	担当	共同 主:小川 理郎 副:後藤 真史奈	90分×30回	1年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

基礎研究に関わる論文を収集し、研究を行うために必要な基礎能力を身につける。研究のオリジナリティや課題を理解し、それらを分類して整理する能力を養う。また、医療人として常に知識の獲得が出来るよう積極性を養う。

一般目標:救急災害医療に関する研究計画を立案し、研究遂行に必須の医療統計を操作し、医療倫理に配慮した論文の書き方、Journalの評価について修得する。

行動目標:①研究に関する様々な関連法令や諸規定を厳守できる(認知領域)。

②医療統計ソフトを操作する(精神・運動領域)。

③医療倫理に配慮する(情意領域)。

履修注意

先行研究に関連する論文の要旨をレポートにまとめ、プレゼンテーション資料を作成する。作成したプレゼンテーション資料はディスカッション時に資料として提出する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、教員間で共有する。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	研究倫理	医療研究者に求められる倫理観と関連する法律について説明・議論する
3	研究不正行為の対策	研究不正行為への対策を検討・議論する
4	研究の種類	医療分野の研究で用いられる研究手法について説明する
5	研究手法 1	基礎研究(実験計画)動物実験
6	研究手法 2	基礎研究(データの採取および解析)動物実験
7	研究手法 3	基礎研究(実験計画)遺伝子
8	研究手法 4	基礎研究(データの採取および解析)遺伝子
9	研究手法 5	基礎研究(実験計画)タンパク質
10	研究手法 6	基礎研究(データの採取および解析)タンパク質
11	研究手法 7	基礎研究(実験計画)免疫組織学的手法
12	研究手法 8	基礎研究(データの採取および解析)免疫組織学的手法
13	研究手法および知識のアップデート方法	研究分野の知識や研究手法をアップデートする方法を説明する
14	データ分析	研究手法の講義回で得られた実験結果を用いて、データの分析方法を学ぶ
15	統計解析 1	データ解析に必要な統計知識を説明する
16	統計解析 2	データ解析に必要な統計知識を検討・考察する
17	研究計画 1	特別演習 I で設定したリサーチクエッションに対する実験計画を検討する
18	研究計画 2	特別演習 I で設定したリサーチクエッションに対する実験計画を立案する
19	研究準備 1	予備実験を行うにあたり、必要な書類の作成をする
20	研究準備 2	予備実験を行うにあたり、必要な機材等の手配を行う
21	予備実験 1	予備実験を行いデータ収集する
22	予備実験 2	予備実験のデータ解析を行う
23	予備実験 3	予備実験のデータ解析を表やグラフでまとめる
24	予備実験 4	予備実験のデータ解析に基づき考察を行う
25	研究論文作成方法 1	英語論文の書き方 1 (introduction、方法)
26	研究論文作成方法 2	英語論文の書き方 2 (結果、考察)
27	研究論文作成方法 3	英語論文の書き方 3 (limitation、文献・謝辞)
28	Journal の評価方法	投稿規定の比較について説明し、議論と検討を行う
29	まとめ 1	原著論文の書き方について理論構成を議論する
30	まとめ 2	原著論文の書き方についてまとめる

教科書・参考書

なし

科目	救急災害医療学 特別研究 I	担当	共同 主:小川 理郎 副:後藤 真吏奈	90分×30回	1年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

GIO: 特別研究 I では、博士論文を作成する第一段階として、研究計画をするうえで必要となる研究手法および申請書類の作成方法などを修得する。特に基礎研究の手法を用いた実験手法を体験することで、研究手法として基礎実験の可能性を学ぶ。また、医療及び研究技術はまさに日進月歩である。医療及び研究技術の飛躍的進歩にともなう知識のアップデート方法を学ぶ。

- SBO: ①リサーチクエッションを解決するのに最適な研究手法を選択できる。
 ②研究倫理を正しく理解し、それにのっとった研究計画および実施ができる。
 ③研究不正行為について対策ができる。

履修注意

基礎研究の手法を用いた研究計画と実施、データ解析を行います。担当の講義回では、動きやすい服装で参加してください。

研究不正行為への対応策についてプレゼンテーションしてください。

倫理審査書類を作成してください。

評価方法

プレゼンテーション(50%)、レポート(50%)で総合的に評価します。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	研究倫理	医療研究者に求められる倫理観と関連する法律について説明する
3	研究不正行為の対策	研究不正行為への対策を検討する
4	研究の種類	医療分野の研究で用いられる研究手法について説明する
5	研究手法 1	基礎研究(実験計画、データの採取および解析)動物実験
6	研究手法 2	基礎研究(実験計画、データの採取および解析)動物実験
7	研究手法 3	基礎研究(実験計画、データの採取および解析)遺伝子
8	研究手法 4	基礎研究(実験計画、データの採取および解析)遺伝子
9	研究手法 5	基礎研究(実験計画、データの採取および解析)タンパク質
10	研究手法 6	基礎研究(実験計画、データの採取および解析)タンパク質
11	研究手法 7	基礎研究(実験計画、データの採取および解析)免疫組織学的手法
12	研究手法 8	基礎研究(実験計画、データの採取および解析)免疫組織学的手法
13	研究手法および知識のアップデート方法	研究分野の知識や研究手法をアップデートする方法を説明する
14	データ分析 1	研究手法の講義回で得られた実験結果を用いて、データの分析方法を学ぶ
15	統計解析 1	データ解析に必要な統計知識を説明する
16	統計解析 2	データ解析に必要な統計知識を説明する
17	研究計画 1	特別演習 I で設定したリサーチクエッションに対する実験計画を立てる
18	研究計画 2	特別演習 I で設定したリサーチクエッションに対する実験計画を立てる
19	研究準備 1	予備実験を行うにあたり、必要な書類の作成をする
20	研究準備 2	予備実験を行うにあたり、必要な機材等の手配を行う
21	予備実験 1	予備実験を行い検証する
22	予備実験 2	予備実験を行い検証する
23	予備実験 3	予備実験を行い検証する
24	予備実験 4	予備実験を行い検証する
25	予備実験 5	予備実験を行い検証する
26	予備実験 6	予備実験を行い検証する
27	予備実験 7	予備実験を行い検証する
28	予備実験 8	予備実験を行い検証する
29	予備実験の結果解析	予備実験の結果を解析してレポートを作成する
30	予備実験結果の発表	予備実験の結果をプレゼンテーションする

教科書・参考書

なし

科目	救急災害医療学 特別研究 I	担当	共同 主: 山本 保博 副: 横田 裕行 副: 鈴木 健介	90分×30回	1年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

基礎研究に関わる論文を収集し、研究を行うために必要な基礎能力を身につける。研究のオリジナリティや課題を理解し、それらを分類して整理する能力を養う。また、医療人として常に知識の獲得が出来るよう積極性を養う。

一般目標: 救急災害医療に関する研究計画を立案し、研究遂行に必須の医療統計を操作し、医療倫理に配慮した論文の書き方、Journal の評価について修得する。

行動目標: ①研究に関する様々な関連法令や諸規定を厳守できる(認知領域)。

②医療統計ソフトを操作する(精神・運動領域)。

③医療倫理に配慮する(情意領域)。

履修注意

作成したプレゼンテーション資料、課題は次回講義前までに提出する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、教員間で共有する。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	研究倫理 1	人権と倫理、動物倫理、共同研究、利益相反について解説・議論
3	研究倫理 2	インフォームドコンセント、個人情報の保護、研究不正行為について解説・議論
4	研究倫理 3	守秘義務、オーサーシップ、二重投稿・二重出版・著作権について解説・議論
5	研究倫理 4	研究倫理における対策の検討・考察・議論
6	研究計画の作成 1	研究計画立案方法の解説・実践
7	研究計画の作成 2	研究計画・行程表作成方法の解説・実践
8	研究計画の作成 3	研究倫理申請書作成方法の解説・実践
9	予備研究準備	予備研究に必要な準備・調整
10	予備研究実施	予備研究の実施
11	医療統計 1	仮説と検証のためのデザイン
12	医療統計 2	データ収集法と実践
13	医療統計 3	データ分析方法と実践
14	医療統計 4	集計・分析されたデータの統計学的解析・考察
15	研究論文作成方法 1	論文の種類
16	研究論文作成方法 2	introduction の書き方
17	研究論文作成方法 3	方法の書き方
18	研究論文作成方法 4	結果の書き方
19	研究論文作成方法 5	考察の書き方
20	研究論文作成方法 6	limitation の書き方
21	研究論文作成方法 7	文献・謝辞の書き方
22	研究論文作成方法 8	英語論文の書き方 1 (introduction、方法)
23	研究論文作成方法 9	英語論文の書き方 2 (結果、考察)
24	研究論文作成方法 10	英語論文の書き方 3 (limitation、文献・謝辞)
25	Journal の評価方法 1	Impact factor 等
26	Journal の評価方法 2	投稿規定の比較についての説明
27	Journal の評価方法 3	投稿規定の比較についての考察
28	Journal の評価方法 4	投稿規定の比較についての議論
29	まとめ 1	原著論文の書き方について論理構成を議論する
30	まとめ 2	原著論文の書き方についてまとめる

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別研究 I	担当	共同 主: 山本 保博 副: 横田 裕行 副: 鈴木 健介	90分×30回	1年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

GIO: 研究計画の立案・実行に必須の研究倫理、医療統計、論文の書き方、Journal の評価について習得する。

SBOs:

- ① 研究に関する様々な関連法令や諸規定を厳守できる。
- ② 研究計画書が作成できる
- ③ 学術誌の評価ができる。

履修注意

プレゼンテーション資料は講義後に毎回、提出して下さい。

評価方法

- 1) プレゼンテーション(50%)、2) レポート(50%)を総合評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	研究倫理 1	人権と倫理
2	研究倫理 2	動物倫理
3	研究倫理 3	共同研究
4	研究倫理 4	利益相反
5	研究倫理 5	インフォームドコンセント
6	研究倫理 6	個人情報保護
7	研究倫理 7	研究不正行為
8	研究倫理 8	守秘義務
9	研究倫理 9	オーサーシップ
10	研究倫理 10	二重投稿・二重出版・著作権
11	医療統計 1	仮説と検証のためのデザイン
12	医療統計 2	データ収集法
13	医療統計 3	データ分析方法 1
14	医療統計 4	データ分析方法 2
15	研究論文作成方法 1	論文の種類
16	研究論文作成方法 2	introduction の書き方
17	研究論文作成方法 3	方法の書き方
18	研究論文作成方法 4	結果の書き方
19	研究論文作成方法 5	考察の書き方
20	研究論文作成方法 6	limitation の書き方
21	研究論文作成方法 7	文献・謝辞の書き方
22	研究論文作成方法 8	英語論文の書き方 1
23	研究論文作成方法 9	英語論文の書き方 2
24	研究論文作成方法 10	英語論文の書き方 3
25	Journal の評価方法 1	Impact factor 等
26	Journal の評価方法 2	投稿規定の比較 1
27	Journal の評価方法 3	投稿規定の比較 2
28	Journal の評価方法 4	投稿規定の比較 3
29	Journal の評価方法 5	投稿規定の比較 4
30	まとめ	原著論文の書き方についてまとめる

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅰ	担当	共同	90分×30回	1年	通年・集中
			主:中里 浩一 副:鴻崎 香里奈		必修	4単位

講義概要・目標

基礎研究に関わる論文を収集し、研究を行うために必要な基礎能力を身につける。研究のオリジナリティや課題を理解し、それらを分類して整理する能力を養う。また、医療人として常に知識の獲得が出来るよう積極性を養う。

一般目標:救急災害医療に関する研究計画を立案し、研究遂行に必須の医療統計を操作し、医療倫理に配慮した論文の書き方、Journalの評価について修得する。

行動目標:①研究に関する様々な関連法令や諸規定を厳守できる(認知領域)。

②医療統計ソフトを操作する(精神・運動領域)。

③医療倫理に配慮する(情意領域)。

履修注意

基本的にディスカッション中心に講義を進めるため、履修者の積極的な参加態度を重視する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、認知領域はレポート、実験ノート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	論文解説(生理学[循環器系])1	特別演習Ⅰで取り扱った循環器系原著論文の関連論文を解説・議論する。
3	論文解説(生理学[循環器系])2	特別演習Ⅰで取り扱った循環器系原著論文の関連論文について議論したことをまとめる。
4	論文解説(生理学[神経系])1	特別演習Ⅰで取り扱った神経系原著論文の関連論文を解説・議論する。
5	論文解説(生理学[神経系])2	特別演習Ⅰで取り扱った神経系原著論文の関連論文について議論したことをまとめる。
6	論文解説(生理学[内分泌系])1	特別演習Ⅰで取り扱った内分泌系原著論文の関連論文を解説・議論する。
7	論文解説(生理学[内分泌系])2	特別演習Ⅰで取り扱った内分泌系原著論文の関連論文について議論したことをまとめる。
8	論文解説(生理学[呼吸器系])1	特別演習Ⅰで取り扱った呼吸器系原著論文の関連論文を解説・議論する。
9	論文解説(生理学[呼吸器系])2	特別演習Ⅰで取り扱った呼吸器系原著論文の関連論文について議論したことをまとめる。
10	論文解説(生理学[消化器系])1	特別演習Ⅰで取り扱った消化器系原著論文の関連論文を解説・議論する。
11	論文解説(生理学[消化器系])2	特別演習Ⅰで取り扱った消化器系原著論文の関連論文について議論したことをまとめる。
12	論文解説(生理学[感覚器系])1	特別演習Ⅰで取り扱った感覚器系原著論文の関連論文を解説・議論する。
13	論文解説(生理学[感覚器系])2	特別演習Ⅰで取り扱った感覚器系原著論文の関連論文について議論したことをまとめる。
14	論文解説(生理学[筋骨格系])1	特別演習Ⅰで取り扱った筋骨格系原著論文の関連論文を解説・議論する。
15	論文解説(生理学[筋骨格系])2	特別演習Ⅰで取り扱った筋骨格系原著論文の関連論文について議論したことをまとめる。
16	論文解説(生理学[免疫系])1	特別演習Ⅰで取り扱った免疫系原著論文の関連論文を解説・議論する。
17	論文解説(生理学[免疫系])2	特別演習Ⅰで取り扱った免疫系原著論文の関連論文について議論したことをまとめる。
18	論文解説(生化学)1	特別演習Ⅰで取り扱った特別演習Ⅰで取り扱った生化学原著論文の関連論文を解説・議論する。
19	論文解説(生化学)2	特別演習Ⅰで取り扱った生化学系原著論文の関連論文について議論したことをまとめる。
20	論文解説(細胞生物学)1	特別演習Ⅰで取り扱った細胞生物学原著論文の関連論文を解説・議論する。
21	論文解説(細胞生物学)2	特別演習Ⅰで取り扱った細胞生物学系原著論文の関連論文について議論したことをまとめる。
22	論文解説(分子生物学)1	特別演習Ⅰで取り扱った分子生物学原著論文の関連論文を解説・議論する。
23	論文解説(分子生物学)2	特別演習Ⅰで取り扱った分子生物学系原著論文の関連論文について議論したことをまとめる。
24	研究倫理1	医療研究者に求められる倫理観と関連する法律について説明・議論する。
25	研究倫理2	研究倫理における対策の検討・考察・議論をまとめる。
26	医療統計1	データ収集法の検討と実践を行う。
27	医療統計2	データ分析に必要な統計知識を検討・考察する。
28	Journalの評価方法	投稿規定についての説明・議論する。
29	研究論文作成方法	医療倫理に配慮した論文の書き方を検討し議論する。
30	まとめ	原著論文の書き方について理論構成を議論し、まとめる。

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別研究 I	担当	共同 主:中里 浩一 副:鴻崎 香里奈	90分×30回	1年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

本講義は救急災害医療学特別演習 I (以下特別演習 I)に対応して、保健医療学分野に関する国内及び海外の文献を蒐集し、指導教員との討論を通じて博士学位論文を構成する小研究テーマ関連分野の理解を深める。

本講義の最終的な目標は学位論文の作成に必要な背景となる知識を自身が蒐集した原著論文を精読し発表することにより、自身の学位論文作成に必要な知識を得ることと文献収集の技法を体得することにある。

履修注意

基本的にディスカッション中心に講義を進めるため、履修者の積極的な参加態度を重視する。

評価方法

討論中の発言や態度を評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	イントロダクション	本講義の進め方や全体像の概説を行う
2	生理学(循環器系)1	特別演習 I で取り扱った循環器系論文1の関連論文を解説・議論する。
3	生理学(循環器系)2	特別演習 I で取り扱った循環器系論文2の関連論文を解説・議論する。
4	生理学(循環器系)3	特別演習 I で取り扱った循環器系論文3の関連論文を解説・議論する。
5	生理学(循環器系)4	特別演習 I で取り扱った循環器系論文4の関連論文を解説・議論する。
6	生理学(循環器系)5	特別演習 I で取り扱った循環器系論文5の関連論文を解説・議論する。
7	生理学(呼吸器系)1	特別演習 I で取り扱った呼吸器系原著論文1の関連論文を解説・議論する。
8	生理学(呼吸器系)2	特別演習 I で取り扱った呼吸器系原著論文2の関連論文を解説・議論する。
9	生理学(呼吸器系)3	特別演習 I で取り扱った呼吸器系原著論文3の関連論文を解説・議論する。
10	生理学(呼吸器系)4	特別演習 I で取り扱った呼吸器系原著論文4の関連論文を解説・議論する。
11	生理学(呼吸器系)5	特別演習 I で取り扱った呼吸器系原著論文5の関連論文を解説・議論する。
12	生理学(筋骨格系)1	特別演習 I で取り扱った筋骨格系原著論文1の関連論文を解説・議論する。
13	生理学(筋骨格系)2	特別演習 I で取り扱った筋骨格系原著論文2の関連論文を解説・議論する。
14	生理学(筋骨格系)3	特別演習 I で取り扱った筋骨格系原著論文3の関連論文を解説・議論する。
15	生理学(筋骨格系)4	特別演習 I で取り扱った筋骨格系原著論文4の関連論文を解説・議論する。
16	生理学(筋骨格系)5	特別演習 I で取り扱った筋骨格系原著論文5の関連論文を解説・議論する。
17	生化学1	特別演習 I で取り扱った生化学原著論文1本の関連論文を解説・議論する。
18	生化学2	特別演習 I で取り扱った生化学原著論文2の関連論文を解説・議論する。
19	生化学3	特別演習 I で取り扱った生化学原著論文3の関連論文を解説・議論する。
20	生化学4	特別演習 I で取り扱った生化学原著論文4の関連論文を解説・議論する。
21	細胞生物学1	特別演習 I で取り扱った細胞生物学原著論文1の関連論文を解説・議論する。
22	細胞生物学2	特別演習 I で取り扱った細胞生物学原著論文2の関連論文を解説・議論する。
23	細胞生物学3	特別演習 I で取り扱った細胞生物学原著論文3の関連論文を解説・議論する。
24	細胞生物学4	特別演習 I で取り扱った細胞生物学原著論文4の関連論文を解説・議論する。
25	分子生物学1	特別演習 I で取り扱った分子生物学原著論文1の関連論文を解説・議論する。
26	分子生物学2	特別演習 I で取り扱った分子生物学原著論文2の関連論文を解説・議論する。
27	分子生物学3	特別演習 I で取り扱った分子生物学原著論文3の関連論文を解説・議論する。
28	分子生物学4	特別演習 I で取り扱った分子生物学原著論文4の関連論文を解説・議論する。
29	総合討論1	自身の学位論文の小テーマと本講義で取り上げた論文との関連性を精査する
30	総合討論2	自身の学位論文の小テーマと本講義で取り上げた論文との関連性を精査する

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別研究 I	担当	共同 主:小林 正利 副:遠藤 直哉	90分×30回	1年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

基礎研究に関わる論文を収集し、研究を行うために必要な基礎能力を身につける。研究のオリジナリティや課題を理解し、それらを分類して整理する能力を養う。また、医療人として常に知識の獲得が出来るよう積極性を養う。

一般目標:救急災害医療に関する研究計画を立案し、研究遂行に必須の医療統計を操作し、医療倫理に配慮した論文の書き方、Journalの評価について修得する。

行動目標:①研究に関する様々な関連法令や諸規定を厳守できる(認知領域)。

②医療統計ソフトを操作する(精神・運動領域)。

③医療倫理に配慮する(情意領域)。

履修注意

作成したプレゼンテーション資料、課題は次回講義前までに提出する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、教員間で共有する。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する。
2	研究課題の選定 1	研究課題の決定法について解説する。
3	研究課題の選定 2	指導教員とディスカッションしながら研究課題を選定・決定する。
4	先行研究の検討 1	研究課題を進めていくための先行研究を検索する。
5	先行研究の検討 2	研究課題を進めていくための先行研究を検討・考察する。
6	研究計画の検討	研究期間全体の予定を確認する。
7	医療倫理1	医療研究者に求められる倫理観と関連する法律について説明・議論する。
8	医療倫理2	研究倫理における対策の検討・考察・議論をまとめる。
9	医療統計 1	仮説と検証のためのデザインを解説・実践する。
10	医療統計 2	データ収集法と分析を解説・実践する。
11	研究材料の収集 1	予備実験を行う。
12	研究材料の収集 2	実験をおこないデータを収集する。(光学顕微鏡観察データの収集)
13	研究材料の収集 3	実験をおこないデータを集計する。(光学顕微鏡観察データの集計)
14	研究材料の収集 4	実験をおこないデータを収集する。(電子顕微鏡観察データの収集)
15	研究材料の収集 5	実験をおこないデータを集計する。(電子顕微鏡観察データの集計)
16	研究材料の分析 1	実験結果の分析方法について解説する。
17	研究材料の分析 2	実験結果の所見分析を行う。
18	研究材料の分析 3	実験結果から計測分析を行う。
19	研究論文作成方法1	Introduction、方法、結果の書き方について説明する。
20	研究論文作成方法2	考察、limitationの書き方について説明する。
21	Journalの評価方法	Impact factor、投稿規定の比較について説明する
22	研究結果の考察 1	得られた実験結果から考察の項目を検討する。
23	研究結果の考察 2	得られた実験結果について考察・解析を行う。
24	研究結果の考察 3	得られた実験結果について考察をまとめる。
25	研究結果の考察 4	得られた実験結果と先行研究を照らし合わせ考察・解析を行う。
26	研究結果の考察 5	得られた実験結果と先行研究を照らし合わせ考察をまとめる。
27	研究結果の公表 1	得られたデータを学会で発表する準備をする。
28	研究結果の公表 2	得られたデータをプレゼンテーションする。
29	まとめ1	原著論文の書き方について理論構成を議論する。
30	まとめ2	原著論文の書き方についてまとめる。

教科書・参考書

必要に応じて提示する。

科目	救急災害医療学 特別研究 I	担当	共同 主:小林 正利 副:遠藤 直哉	90分×30回	1年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

救急災害医療学のうち形態研究に関連して立案した研究計画の予備実験を行い、研究を行うために必要な基礎能力を習得する事を目標とする。

形態学の実験データを集積・解析し検証する。博士論文作成の前段階として目的、方法、結果、図表などをまとめ、学会または論文にまとめて発表する。

履修注意

計画的に予備実験を行うこと。

評価方法

事前準備状況、発言内容、口頭質問により研究能力の習得程度により総合的に評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義内容、受講上の注意等を説明する。
2	研究課題の選定 1	研究課題の決定法について解説する。
3	研究課題の選定 2	指導教員とディスカッションしながら研究課題を選定していく。
4	研究課題の選定 3	指導教員とディスカッションしながら研究課題を決定する。
5	先行研究の検討 1	研究課題を進めていくための先行研究を検索し検討する。
6	先行研究の検討 2	研究課題を進めていくための先行研究を検索し検討する。
7	先行研究の検討 3	研究課題を進めていくための先行研究を検索し検討する。
8	研究計画の検討 1	研究期間全体の予定を確認する。
9	研究計画の検討 2	実験計画を作成する。
10	研究計画の検討 3	実験研究を確認する。
11	研究材料の収集 1	予備実験を行う。
12	研究材料の収集 2	実験をおこないデータを収集する。
13	研究材料の収集 3	実験をおこないデータを収集する。
14	研究材料の収集 4	実験をおこないデータを収集する。(光学顕微鏡観察データの収集)
15	研究材料の収集 5	実験をおこないデータを収集する。(電子顕微鏡観察データの収集)
16	研究材料の分析 1	実験結果の所見分析を行う。
17	研究材料の分析 2	実験結果の所見分析を行う。
18	研究材料の分析 3	実験結果から計測分析を行う。
19	研究材料の分析 4	実験結果から計測分析を行う。
20	研究材料の分析 5	実験結果の統計分析を行う。
21	研究材料の分析 6	実験結果の統計分析を行う。
22	研究結果の考察 1	得られた実験結果から考察の項目を検討する。
23	研究結果の考察 2	得られた実験結果と先行研究を照らし合わせ考察を行う。
24	研究結果の考察 3	得られた実験結果と先行研究を照らし合わせ考察を行う。
25	研究結果の考察 4	得られた実験結果と先行研究を照らし合わせ考察を行う。
26	研究結果の考察 5	得られた実験結果と先行研究を照らし合わせ考察をまとめる。
27	研究結果の公表 1	得られたデータを学会で発表する準備をする。
28	研究結果の公表 2	得られたデータを学会で発表する準備をする。
29	研究結果の公表 3	得られたデータを学会で発表する準備をまとめる。
30	まとめ	学術論文を投稿するために必要になることを確認する。

教科書・参考書

必要に応じて提示する。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅱ	担当	共同 主：平沼 憲治 副：舟橋 厚 副：平沼 直人	90分×30回	2年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

研究計画に基づき、研究方法・結果・考察を組み立て、研究遂行のための基礎能力を修得する。また、ポジティブフィードバックの手法から論文作成の過程と作成の総合能力を修得する。

一般目標：研究計画を説明し、実験を行い、その結果や考察を論文にまとめるために必要な基礎能力を修得する。

行動目標：①研究計画を構築し、実験を説明できる(認知領域)。

- ②研究ノートに記載する(認知機能)。
- ③倫理委員会に申請ができる(認知領域)。
- ④計画した実験を実行する(精神・運動領域)。
- ⑤研究結果や考察の意義付けをする(情意領域)。

履修注意

プレゼンテーション資料と課題は次回講義前に毎回、提出する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行う。研究ノートを確認し、形成的評価を行う。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的评价を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	研究計画の作成1	1回目の準備研究から改善すべきことを検討・考察する。
3	研究計画の作成2	1回目の準備研究から修正点を明確にし、改善点をまとめる。
4	研究計画の作成3	改善点を踏まえ、研究計画・行程表を作成する。
5	倫理委員会申請1	倫理委員会への手続きについて解説・検討を行う
6	倫理委員会申請2	倫理委員会へ倫理申請をする
7	予備研究準備	予備研究に必要な人・物の準備・調整を行う。
8	予備研究実施1	本研究と同じ内容で規模を縮小して実験を行いデータ収集する。
9	予備研究実施2	本研究と同じ内容で規模を縮小して実験を行いデータ集計する。
10	データ解析1	集計したデータの解析手法を検証する。
11	データ解析2	集計したデータを統計学的に解析する。
12	データ解析3	集計したデータを統計学的に解析しレポートを作成する。
13	データ解析4	作成したレポートを踏まえ、研究における改善点の抽出、修正点を明確にする。
14	研究ノートの確認	形成的評価の一環としてポジティブフィードバックを行う。
15	表・グラフの作成	データ解析結果から表やグラフを作成する。
16	考察のまとめ1	結果から考察をまとめる。
17	考察のまとめ2	考察の裏付けとなる文献を引用する。
18	実験結果の発表	データ解析、表・グラフの作成、考察のまとめから、実験の結果をプレゼンテーションする。
19	論文の作成1	最新の文献を引用し論文の背景をまとめる。
20	論文の作成2	研究の目的をまとめる
21	論文の作成3	PICO/PECOに整理しながら方法をまとめる。
22	論文の作成4	実験デザインや実験手順を図表化する。
23	論文の作成5	作成した表やグラフを用いながら結果をまとめる。
24	論文の作成6	考察をまとめる。
25	論文の作成7	考察の裏付けとなる文献を引用する
26	要旨の作成1	論文の要旨を作成する。
27	要旨の作成2	研究発表用の資料を作成する
28	研究発表1	研究発表を行う
29	研究発表2	研究における改善点の抽出、修正点を明確にする
30	まとめ	研究発表を踏まえ発展的研究課題の議論を行う

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅱ	担当	共同 主:平沼 憲治 副:舟橋 厚 副:平沼 直人	90分×30回	2年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

立案した研究計画の予備研究を行い、データ解析・結果・考察するなど、研究を行うために必要な基礎能力を習得する。研究計画を基に予備研究を行い、データを集計し統計学的に検証する。集計したデータを基にグラフや表を作成し結果・考察を記載する。予備研究等を通じて研究方法・結果・考察を組み立て、研究遂行のための基礎能力を習得する

。GIO:立案した研究計画の予備研究(2回目)を行い、データ解析・結果・考察するなど、研究を行うために必要な基礎能力を習得する。

SBOs:① 立案した研究計画を実行する行程表を作成する。② 予備研究の準備を行う。③ 予備研究を行う
④ データを集計し統計学的に検証する ⑤ 結果から考察をまとめ研究計画を見直す

履修注意

予備研究はできるだけ早期に行い、本研究に支障を来さないように注意すること。

評価方法

研究計画書(50%)、プレゼンテーション(50%)で総合的に評価します。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義内容等を説明する
2	研究計画の作成	1回目の準備研究から改善すべきことをまとめ、必要な人・物の準備・調整を行う
3	研究計画の作成	1回目の準備研究から改善すべきことをまとめ、必要な人・物の準備・調整を行う
4	研究計画の作成	1回目の準備研究から改善すべきことをまとめ、必要な人・物の準備・調整を行う
5	予備研究準備(二回目)	本研究と同じ内容で規模を縮小して行う
6	予備研究準備(二回目)	本研究と同じ内容で規模を縮小して行う
7	予備研究実施	予備研究を行いデータを集計する
8	予備研究実施	予備研究を行いデータを集計する
9	予備研究実施	予備研究を行いデータを集計する
10	予備研究実施	予備研究を行いデータを集計する
11	予備研究実施	予備研究を行いデータを集計する
12	予備研究実施	予備研究を行いデータを集計する
13	予備研究実施	予備研究を行いデータを集計する
14	予備研究実施	予備研究を行いデータを集計する
15	予備研究実施	予備研究を行いデータを集計する
16	予備研究実施	予備研究を行いデータを集計する
17	データ解析	集計されたデータを統計学的に解析する
18	データ解析	集計されたデータを統計学的に解析する
19	データ解析	集計されたデータを統計学的に解析する
20	データ解析	集計されたデータを統計学的に解析する
21	結果のまとめ	データ解析結果を表やグラフでまとめる
22	結果のまとめ	データ解析結果を表やグラフでまとめる
23	結果のまとめ	データ解析結果を表やグラフでまとめる
24	結果のまとめ	データ解析結果を表やグラフでまとめる
25	考察	結果から考察をまとめる
26	考察	結果から考察をまとめる
27	考察	結果から考察をまとめる
28	考察	結果から考察をまとめる
29	まとめ	プレゼンテーション・ディスカッションをする。
30	まとめ	研究への総括

教科書・参考書

特になし

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅱ	担当	共同 主:小川 理郎 副:後藤 真史奈	90分×30回	2年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

研究計画に基づき、研究方法・結果・考察を組み立て、研究遂行のための基礎能力を修得する。また、ポジティブフィードバックの手法から論文作成の過程と作成の総合能力を修得する。

一般目標: 研究計画を説明し、実験を行い、その結果や考察を論文にまとめるために必要な基礎能力を修得する。

行動目標: ①研究計画を構築し、実験を説明できる(認知領域)。

- ②研究ノートに記載する(認知機能)。
- ③倫理委員会に申請ができる(認知領域)。
- ④計画した実験を実行する(精神・運動領域)。
- ⑤研究結果や考察の意義付けをする(情意領域)。

履修注意

先行研究に関連する論文の要旨をレポートにまとめ、プレゼンテーション資料を作成する。作成したプレゼンテーション資料はディスカッション時に資料として提出する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行いつつ、形成的評価を随時行い、教員間で共有する。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	実験のリサーチクエッションを設定する	特別研究Ⅰの予備実験の結果を基に、本実験のリサーチクエッションを再設定する
3	実験計画1	リサーチクエッションに対する実験の実験計画を立案・検討する
4	実験計画2	リサーチクエッションに対する実験の実験計画を作成する
5	実験準備1	実験を行うにあたり、必要な書類の作成をする
6	実験準備2	実験を行うにあたり、必要な機材等の手配を行う
7	倫理委員会申請1	倫理委員会への手続きについて解説・検討を行う
8	倫理委員会申請2	倫理委員会へ倫理申請をする
9	実験1	実験を行い方法について検証・議論する
10	実験2	実験を行い統計について検証・議論する
11	実験3	実験を行い結果の解釈を検証・議論する
12	研究ノートの確認	ポジティブフィードバックを行う
13	実験の結果解析	実験の結果を解析してレポートを作成する
14	実験結果の発表	実験の結果をプレゼンテーションする
15	研究成果の発表方法	研究成果の発表方法を説明する
16	和論文作成方法	和論文の作成方法を説明する
17	和論文作成1	特別研究Ⅰおよび本講義の実験で得られた結果から、研究の目的と背景をまとめる
18	和論文作成2	特別研究Ⅰおよび本講義の実験で得られた結果から、表やグラフを作成する
19	和論文作成3	特別研究Ⅰおよび本講義の実験で得られた結果から、考察をまとめ、考察の裏付けとなる文献を引用、整理する
20	和論文作成4	特別研究Ⅰおよび本講義の実験で得られた結果から、和製論文作成 1,2,3 で行った内容をまとめ、和論文を作成する
21	和論文作成5	作成した和製論文の要旨を作成する
22	英論文作成方法	英論文の作成方法を説明する
23	英論文作成1	特別研究Ⅰおよび本講義の実験で得られた結果から、英語で研究の目的と背景をまとめる
24	英論文作成2	特別研究Ⅰおよび本講義の実験で得られた結果から、英語で表やグラフを作成する
25	英論文作成3	特別研究Ⅰおよび本講義の実験で得られた結果から、英語で考察をまとめ、考察の裏付けとなる文献を引用、整理する
26	英論文作成4	特別研究Ⅰおよび本講義の実験で得られた結果から、英論文作成 1,2,3 で行った内容をまとめ、英語で論文を作成する
27	英論文作成5	作成した英論文の要旨を作成する
28	研究発表1	研究発表を行う
29	研究発表2	研究発表を踏まえ、研究における改善点の抽出、修正点を明確にする。
30	まとめ	研究発表を踏まえ発展的研究課題の議論を行う

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅱ	担当	共同 主:小川 理郎 副:後藤 真吏奈	90分×30回	2年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

GIO: 研究者は、研究成果を自己満足で終わらせるのではなく、社会に発信することで、人類共通の知として活かすことを求められる。研究成果の発信方法を学び、特に博士論文作成で必要となる、和・英論文の作成方法を修得する。

SBO: ①研究結果を論文としてまとめることができる。

②和文・英文雑誌の投稿要領にしたがって、論文を作成できる。

③研究内容を分かりやすく発表できる。

履修注意

分からないことや疑問が生じた場合は、そのままにせず、すぐに質問をして解決して下さい。

評価方法

プレゼンテーション(50%)、レポート(50%)で総合的に評価します。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	実験のリサーチクエッションを設定する	特別研究Ⅰの予備実験の結果を基に、本実験のリサーチクエッションを再設定する
3	実験計画1	リサーチクエッションに対する実験の実験計画を立てる
4	実験計画2	リサーチクエッションに対する実験の実験計画を立てる
5	実験準備1	実験を行うにあたり、必要な書類の作成をする
6	実験準備2	実験を行うにあたり、必要な機材等の手配を行う
7	実験1	実験を行い検証する
8	実験2	実験を行い検証する
9	実験3	実験を行い検証する
10	実験4	実験を行い検証する
11	実験5	実験を行い検証する
12	実験6	実験を行い検証する
13	実験7	実験を行い検証する
14	実験8	実験を行い検証する
15	実験の結果解析	実験の結果を解析してレポートを作成する
16	実験結果の発表	実験の結果をプレゼンテーションする
17	研究成果の発表方法	研究成果の発表方法を説明する
18	和論文作成方法	和論文の作成方法を説明する
19	和論文作成1	特別研究Ⅰおよび本講義の実験で得られた結果から、和論文を作成する
20	和論文作成2	特別研究Ⅰおよび本講義の実験で得られた結果から、和論文を作成する
21	和論文作成3	特別研究Ⅰおよび本講義の実験で得られた結果から、和論文を作成する
22	和論文作成4	特別研究Ⅰおよび本講義の実験で得られた結果から、和論文を作成する
23	英論文作成方法	英論文の作成方法を説明する
24	英論文作成1	特別研究Ⅰおよび本講義の実験で得られた結果から、英語で論文を作成する
25	英論文作成2	特別研究Ⅰおよび本講義の実験で得られた結果から、英語で論文を作成する
26	英論文作成3	特別研究Ⅰおよび本講義の実験で得られた結果から、英語で論文を作成する
27	英論文作成4	特別研究Ⅰおよび本講義の実験で得られた結果から、英語で論文を作成する
28	英論文作成5	特別研究Ⅰおよび本講義の実験で得られた結果から、英語で論文を作成する
29	英論文作成6	特別研究Ⅰおよび本講義の実験で得られた結果から、英語で論文を作成する
30	まとめ	特別研究ⅠおよびⅡで得られた研究成果の社会への発信方法を議論する

教科書・参考書

なし。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅱ	担当	共同 主: 山本 保博 副: 横田 裕行 副: 鈴木 健介	90分×30回	2年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

研究計画に基づき、研究方法・結果・考察を組み立て、研究遂行のための基礎能力を修得する。また、ポジティブフィードバックの手法から論文作成の過程と作成の総合能力を修得する。

一般目標: 研究計画を説明し、実験を行い、その結果や考察を論文にまとめるために必要な基礎能力を修得する。

行動目標: ①研究計画を構築し、実験を説明できる(認知領域)。

②研究ノートに記載する(認知機能)。

③倫理委員会に申請ができる(認知領域)。

④計画した実験を実行する(精神・運動領域)。

⑤研究結果や考察の意義付けをする(情意領域)。

履修注意

プレゼンテーション資料と課題は次回講義前に毎回、提出する。

評価方法

教員間での評価が異なるように情報交換を行う。研究ノートを確認し、形成的評価を行う。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的评价を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する。
2	研究計画の確認	研究計画・行程表を作成する。
3	実験準備 1	実験に必要な人・物の準備・調整を行う。
4	実験準備 2	倫理委員会への手続きについて解説・検討を行う。
5	実験準備 3	倫理委員会に倫理申請をする。
6	実験実施 1	実験を行いデータ収集する。
7	実験実施 2	実験を行いデータ整理する。
8	実験実施 3	実験を行いデータ集計する。(外れ値の検討)
9	データ解析 1	集計したデータの解析手法を検証する。
10	データ解析 2	集計したデータを統計的に解析する。
11	データ解析 3	集計したデータを統計的に解析しレポートを作成する。
12	研究ノートの確認	形成的評価の一環としてポジティブフィードバックを行う。
13	表・グラフの作成	データ解析結果から表やグラフを作成する。
14	表・グラフの解説作成	表やグラフの解説を作成する。
15	考察のまとめ 1	結果から考察をまとめる。
16	考察のまとめ 2	考察の裏付けとなる文献を引用する。
17	実験結果の発表	データ解析、表・グラフの作成、考察のまとめから、実験の結果をプレゼンテーションする。
18	論文の作成(背景)	最新の文献を引用し論文の背景をまとめる。
19	論文の作成(目的)	研究の目的をまとめる
20	論文の作成(方法)1	PICO/PECO に整理しながら方法をまとめる。
21	論文の作成(方法)2	実験デザインや実験手順を図表化する。
22	論文の作成(結果)	作成した表やグラフを用いながら結果をまとめる。
23	論文の作成(考察)1	考察をまとめる
24	論文の作成(考察)2	考察の裏付けとなる文献を引用、整理する。
25	論文の作成(まとめ)	本講義の実験結果や分析、まとめから得られた内容をまとめ論文を作成する
26	要旨の作成	論文の要旨を作成する。
27	プレゼンテーションの作成	研究発表用のプレゼンテーション資料を作成する。
28	研究発表 1	研究発表を行う。
29	研究発表 2	研究発表を踏まえ、研究における改善点の抽出、修正点を明確にする。
30	まとめ	研究発表を踏まえ発展的研究課題の議論を行う

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅱ	担当	共同 主:山本 保博 副:横田 裕行 副:鈴木 健介	90分×30回	2年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

研究の背景(目的)、研究方法、結果、考察を組み立て、論文作成ための基礎能力をアップデートする。

GIO:研究計画に従って実験を行い、結果や考察を論文にまとめるために必要な基礎能力をアップデートする。

SBOs:

- ① 研究計画に従い実験ができる
- ② データを統計学的に検証できる
- ③ 結果をグラフや表にまとめ文献を用いて考察できる
- ④ 研究結果や考察をまとめプレゼンテーションできる

履修注意

プレゼンテーション資料は講義後に毎回、提出して下さい。

評価方法

プレゼンテーション資料(50%)、レポート(50%)で総合的に評価します。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義内容, 受講上の注意等を説明する。
2	研究計画の確認	研究計画・行程表を作成する。
3	実験準備 1	実験に必要な人・物の準備・調整を行う。
4	実験準備 2	倫理委員会の申請書を作成する
5	実験準備 3	倫理委員会に倫理申請をする
6	実験実施 1	実験を行いデータ収集する。
7	実験実施 2	実験を行いデータ収集する。
8	実験実施 3	実験を行いデータ集計する。
9	データ解析 1	収集したデータを統計学的に解析する。
10	データ解析 2	収集したデータを統計学的に解析する。
11	データ解析 3	収集したデータを統計学的に解析する。
12	結果のまとめ	データ解析結果をまとめる
13	表・グラフの作成	データ解析結果から表やグラフを作成する。
14	表・グラフの解説作成	表やグラフの解説を作成する
15	考察のまとめ 1	結果から考察をまとめる。
16	考察のまとめ 2	結果から考察をまとめる。
17	考察のまとめ 3	考察の裏付けとなる文献を引用する
18	論文の作成(背景)	最新の文献を引用し論文の背景をまとめる。
19	論文の作成(目的)	研究の目的をまとめる
20	論文の作成(方法)1	PICO/PECO に整理しながら方法をまとめる。
21	論文の作成(方法)2	実験デザインや実験手順を図表化する。
22	論文の作成(結果)1	作成した表やグラフを用いながら結果をまとめる。
23	論文の作成(結果)2	作成した表やグラフを用いながら結果をまとめる。
24	論文の作成(考察)1	考察をまとめる。
25	論文の作成(考察)2	考察の裏付けとなる文献を引用する
26	要旨の作成	論文の要旨を作成する。
27	プレゼンテーションの作成 1	論文発表用のプレゼンテーションを作成する。
28	プレゼンテーションの作成 2	論文発表用のプレゼンテーションを作成する。
29	研究発表 1	研究発表を行う
30	研究発表 2	研究発表を行う

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅱ	担当	共同	90分×30回	2年	通年・集中
			主：中里 浩一 副：鴻崎 香里奈		必修	4単位

講義概要・目標

研究計画に基づき、研究方法・結果・考察を組み立て、研究遂行のための基礎能力を修得する。また、ポジティブフィードバックの手法から論文作成の過程と作成の総合能力を修得する。

一般目標：研究計画を説明し、実験を行い、その結果や考察を論文にまとめるために必要な基礎能力を修得する。

行動目標：①研究計画を構築し、実験を説明できる（認知領域）。

②研究ノートに記載する（認知機能）

③倫理委員会に申請ができる（認知領域）。

④計画した実験を実行する（精神・運動領域）。

⑤研究結果や考察の意義付けをする（情意領域）。

履修注意

基本的にディスカッション中心に講義を進めるため、履修者の積極的な参加態度を重視する。

評価方法

教員間での評価が異なるように情報交換を行う。研究ノートを確認し、形成的評価を行う。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的评价を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	学位論文テーマ構成1	学位論文の大テーマについてプレゼンテーション資料を作成する
3	学位論文テーマ構成2	学位論文大テーマについてプレゼンテーションする
4	学位論文テーマ構成3	学位論文大テーマについて議論し、研究計画の検討と確認をする
5	学位論文テーマ構成4	学位論文小テーマ1,2,3について議論し、テーマ構成の検討と確認を行う
6	実験準備1	実験に必要な人・物の準備・調整を行う。
7	実験準備2	倫理委員会への手続きについて解説・検討を行う
8	実験準備3	倫理委員会へ倫理申請をする
9	研究ノートの確認	形成的評価の一環としてポジティブフィードバックを行う
10	小テーマ1の論文作成1	小テーマ1の実験を行いデータ収集する
11	小テーマ1の論文作成2	小テーマ1の実験を行いデータ集計する
12	小テーマ1の論文作成3	小テーマ1の集計データを統計学的に解析する
13	小テーマ1の論文作成4	小テーマ1の解析データを基に議論し、改善点を抽出する
14	小テーマ1の論文作成5	特別研究Ⅱによるイントロダクションと得られたデータとの整合性を検討する
15	小テーマ1の論文作成6	小テーマ1における実験手法の確認を行う
16	小テーマ1の論文作成7	小テーマ1におけるデータから考察を行う
17	小テーマ1の論文作成8	小テーマ1におけるデータを考察し、結論を導く
18	小テーマ1まとめ	小テーマ1のまとめを行う
19	小テーマ2の論文作成1	小テーマ2の実験を行いデータ収集する
20	小テーマ2の論文作成2	小テーマ2の実験を行いデータ集計する
21	小テーマ2の論文作成3	小テーマ2の集計データを統計学的に解析する
22	小テーマ2の論文作成4	小テーマ2の解析データを基に議論し、改善点を抽出する
23	小テーマ2の論文作成5	特別研究Ⅱによるイントロダクションと得られたデータとの整合性を検討する
24	小テーマ2の論文作成6	小テーマ2における実験手法の確認を行う
25	小テーマ2の論文作成7	小テーマ2におけるデータから考察を行う
26	小テーマ2の論文作成8	小テーマ2におけるデータを考察し、結論を導く
27	研究ノートの確認	形成的評価の一環としてポジティブフィードバックを行う
28	研究発表1	研究発表を行う
29	研究発表2	研究における改善点の抽出、修正点を明確にする
30	まとめ	研究発表を踏まえ発展的研究課題の議論を行う

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅱ	担当	共同	90分×30回	2年	通年・集中
			主:中里 浩一 副:鴻崎 香里奈		必修	4単位

講義概要・目標

通常自然科学分野における博士学位申請論文は学位申請者が3報程度の原著論文を作成し、それぞれの論文における科学的な結論を組み合わせることで学位申請論文の全体的な結論(大テーマ)を導くことになる。本講義は救急災害医療学特別演習Ⅱ(以下特別演習Ⅱ)に呼応して、学位論文の要素となる複数の研究小テーマ(小テーマ)をレビューすることで設定した小テーマの実験データから各テーマから原著論文の作成の実際を行う。本講義の目的は学位申請論文を形作る原著論文の小テーマから原著論文を作成する過程を学ぶことにある。

履修注意

基本的にディスカッション中心に講義を進めるため、履修者の積極的な参加態度を重視する。

評価方法

討論中の発言や態度を評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	イントロダクション	本講義の進め方や全体像の概説を行う
2	学位論文テーマ構成1	学位論文の大テーマについてプレゼン、議論する
3	学位論文テーマ構成2	学位論文小テーマ1について議論する
4	学位論文テーマ構成3	学位論文小テーマ1について議論する
5	学位論文テーマ構成4	学位論文小テーマ2について議論する
6	学位論文テーマ構成5	学位論文小テーマ2について議論する
7	学位論文テーマ構成6	学位論文小テーマ3について議論する
8	学位論文テーマ構成7	学位論文小テーマ3について議論する
9	学位論文テーマ構成8	学位論文の大テーマについて再考する
10	小テーマ1の論文作成1	小テーマ1の実験データ計画をプレゼン、議論する
11	小テーマ1の論文作成2	小テーマ1の実験データをプレゼン、議論する1
12	小テーマ1の論文作成3	小テーマ1の実験データをプレゼン、議論する2
13	小テーマ1の論文作成4	小テーマ1の実験データをプレゼン、議論する3
14	小テーマ1の論文作成5	特別研究Ⅱによるイントロダクションと得られたデータとの整合性を検討する
15	小テーマ1の論文作成6	小テーマ1における実験手法の確認を行う
16	小テーマ1の論文作成7	小テーマ1におけるデータから考察を行う1
17	小テーマ1の論文作成8	小テーマ1におけるデータから考察を行う2
18	小テーマ1まとめ	小テーマ1のまとめを行う
19	小テーマ2の論文作成1	小テーマ2の実験データ計画をプレゼン、議論する
20	小テーマ2の論文作成2	小テーマ2の実験データをプレゼン、議論する1
21	小テーマ2の論文作成3	小テーマ2の実験データをプレゼン、議論する2
22	小テーマ2の論文作成4	小テーマ2の実験データをプレゼン、議論する3
23	小テーマ2の論文作成5	特別研究Ⅱによるイントロダクションと得られたデータとの整合性を検討する
24	小テーマ2の論文作成6	小テーマ2における実験手法の確認を行う
25	小テーマ2の論文作成7	小テーマ2におけるデータから考察を行う1
26	小テーマ2の論文作成8	小テーマ2におけるデータから考察を行う2
27	小テーマ2まとめ	小テーマ2のまとめを行う
28	まとめ	小テーマから原著論文を作成する過程を確認する。
29	まとめ	小テーマから原著論文を作成する過程を確認する。
30	まとめ	小テーマから原著論文を作成する過程を確認する。

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅱ	担当	共同 主:小林 正利 副:遠藤 直哉	90分×30回	2年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

研究計画に基づき、研究方法・結果・考察を組み立て、研究遂行のための基礎能力を修得する。また、ポジティブフィードバックの手法から論文作成の過程と作成の総合能力を修得する。

一般目標:研究計画を説明し、実験を行い、その結果や考察を論文にまとめるために必要な基礎能力を修得する。

行動目標:①研究計画を構築し、実験を説明できる(認知領域)。

②研究ノートに記載する(認知機能)

③倫理委員会に申請ができる(認知領域)。

④計画した実験を実行する(精神・運動領域)。

⑤研究結果や考察の意義付けをする(情意領域)。

履修注意

プレゼンテーション資料と課題は次回講義前に毎回、提出する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行う。研究ノートを確認し、形成的評価を行う。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的评价を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する。
2	研究計画のデザイン 1	研究計画・行程表を作成する。
3	研究計画のデザイン 2	倫理委員会への手続きについて解説・申請を行う
4	予備実験準備 1	予備実験に必要な実験動物・物品の準備・調整を行う。
5	予備実験準備 2	予備実験に必要な化学固定試薬、緩衝液等の準備・調整を行う。
6	予備実験実施 1	実験動物を化学固定し、組織を摘出する。
7	予備実験実施 2	摘出組織を包埋し、ブロックを作製する。
8	予備実験実施 3	免疫組織化学染色を行う為の試薬を調整する。
9	予備実験実施 4	ブロック包埋試料をマイクロームで薄切しプレパラートに貼付する。
10	研究ノートの確認	形成的評価の一環としてポジティブフィードバックを行う
11	データ解析 1	光学顕微鏡の使用法および観察法、試料の撮影法を習得する。
12	データ解析 2	光学顕微鏡で観察した試料を撮影し、画像データを収集する。
13	データ解析 3	収集した画像データを Image J 等を用いて解析する。
14	データ解析 4	収集したデータを必要に応じて統計学的に解析する。
15	結果のまとめ 1	Image J や photoshop をもちいて画像データ解析し結果を図にまとめる。
16	結果のまとめ 2	必要に応じて統計学的な結果の解析データを図や表にまとめる。
17	考察のまとめ 1	結果から考察をまとめる。
18	考察のまとめ 2	結果から考察をまとめる。
19	考察のまとめ 3	結果から考察をまとめる。
20	予備実験準備 3	1 回目目の予備実験から改善すべきことをまとめ、人・実験動物・物品の準備・調整を行う。
21	予備実験準備 4	1 回目目の予備実験から改善すべきことをまとめ、必要な試薬の準備・調整を行う。
22	予備実験実施 5	予備実験を行い実験動物を化学固定し試料を摘出後、ブロック包埋する。
23	予備実験実施 6	ブロック包埋した試料を薄切し、免疫組織化学染色をおこなう。
24	データ解析 5	光学顕微鏡を観察し、画像データを取得する。
25	データ解析 6	画像データを解析・整理する。
26	結果のまとめ 3	データ解析結果を表やグラフでまとめる。
27	プレゼンテーションの準備	論文発表用のプレゼンテーションを作成する。
28	研究発表 1	研究発表を行う
29	研究発表 2	研究における改善点の抽出、修正点を明確にする
30	まとめ	研究発表を踏まえ発展的研究課題の議論を行う

教科書・参考書

必要に応じて提示する。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅱ	担当	共同 主:小林 正利 副:遠藤 直哉	90分×30回	2年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

救急災害医療特別研究Ⅰで立案した研究計画を更に発展させ、予備実験を重ねることで、研究を推進していく能力を習得する事を目標とする。

引き続き実験を行い、データを集積・解析し検証する。目的、方法、結果、図表などを学会または論文にまとめて発表する。

履修注意

計画的に予備実験を重ねること。

評価方法

事前準備状況、発言内容、口頭質問により研究能力の習得程度により総合的に評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	
2	研究計画のデザイン 1	研究計画・行程表を作成する。
3	研究計画のデザイン 2	予備実験に必要な実験動物・物品・薬品等準備するものをデザインする。
4	予備実験準備 1	予備実験に必要な実験動物・物品の準備・調整を行う。
5	予備実験準備 2	予備実験に必要な化学固定試薬、緩衝液等の準備・調整を行う。
6	予備実験実施 1	実験動物を化学固定し、組織を摘出する。
7	予備実験実施 2	摘出組織を包埋し、ブロックを作製する。
8	予備実験実施 3	免疫組織化学染色を行う為の試薬を調整する。
9	予備実験実施 4	ブロック包埋試料をマイクロームで薄切しプレパラートに貼付する。
10	予備実験実施 5	免疫組織化学染色を実行する。
11	データ解析 1	光学顕微鏡の使用法および観察法、試料の撮影法を習得する。
12	データ解析 2	光学顕微鏡で観察した試料を撮影し、画像データを収集する。
13	データ解析 3	収集した画像データを Image J 等を用いて解析する。
14	データ解析 3	収集したデータを必要に応じて統計学的に解析する。
15	結果のまとめ 1	Image J や photoshop をもちいて画像データ解析し結果を図にまとめる。
16	結果のまとめ 2	必要に応じて統計学的な結果の解析データを図や表にまとめる。
17	考察のまとめ 1	結果から考察をまとめる。
18	考察のまとめ 2	結果から考察をまとめる。
19	考察のまとめ 3	結果から考察をまとめる。
20	予備実験準備 4	1 回目の予備実験から改善すべきことをまとめ、人・実験動物・物品の準備・調整を行う。
21	予備実験準備 5	1 回目の予備実験から改善すべきことをまとめ、必要な試薬の準備・調整を行う。
22	予備実験実施 4	予備実験を行い実験動物を化学固定し試料を摘出後、ブロック包埋する。
23	予備実験実施 5	ブロック包埋した試料を薄切し、免疫組織化学染色をおこなう。
24	データ解析 4	光学顕微鏡を観察し、画像データを取得する。
25	データ解析 5	画像データを解析・整理する。
26	結果のまとめ 3	データ解析結果を表やグラフでまとめる。
27	結果のまとめ 4	データ解析結果を表やグラフでまとめる。
28	考察のまとめ 4	結果から考察をまとめる。
29	考察のまとめ 5	結果から考察をまとめる。
30	予備実験のまとめ	予備実験結果をまとめ発表する。

教科書・参考書

必要に応じて提示する。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅲ	担当	共同 主:平沼 憲治 副:舟橋 厚 副:平沼 直人	90分×30回	3年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

最終学年として研究計画に従って実験、データ収集と解析能力の向上、客観的な考察能力を修得し、学位論文を作成する。

一般目標:研究計画に従って実験を行い、データの客観的な分析を実施し論文にまとめる能力を修得する。

行動目標:①研究計画書が作成できる(精神・運動領域)。

②実験結果を統計学的に解析できる(認知領域)

③反対意見をもつ研究者に配慮が出来る(情意領域)

履修注意

プレゼンテーション資料と課題は次回講義前に毎回、提出する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行う。研究ノートを確認し、形成的評価を行う。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する。
2	研究計画の確認	これまでの研究を踏まえ、研究計画・行程表を完成させる。
3	実験準備 1	実験に必要な人の準備・調整を行う。
4	実験準備 2	実験に必要な物の準備・調整を行う。
5	研究ノートの確認	形成的評価の一環としてポジティブフィードバックを行う。
6	実験実施 1	実験を行いデータ収集する。
7	実験実施 2	実験を行いデータ集計する。
8	データ解析 1	集計したデータを統計学的に解析する。
9	データ解析 2	解析したデータを基に議論し、改善点を抽出する。
10	実験実施 3	抽出した改善点を基に再度実験を行いデータ収集する。
11	実験実施 4	抽出した改善点を基に再度実験を行いデータ集計する。
12	データ解析 3	集計したデータを統計学的に解析する。
13	結果のまとめ 1	データ解析結果を表やグラフでまとめる。
14	結果のまとめ 2	まとめた表やグラフを基に議論し、検討・改善する。
15	考察 1	結果から考察をまとめる。
16	考察 2	結果からまとめた考察と先行研究と比較し、文書を完成させる。
17	考察 3	完成した文書を基に議論し、検討・改善する。
18	論文の作成(背景、目的)	参考文献等を踏まえ、研究の背景、目的をまとめる。
19	論文の作成(背景、目的)	まとめた研究の背景、目的を基に議論し、検討・改善する。
20	論文の作成(方法)	研究デザインや研究手順を図表化して方法をまとめる。
21	論文の作成(方法)	まとめた方法を基に議論し、検討・改善する。
22	論文の作成(結果)	作成した表やグラフを用いながら結果をまとめる。
23	論文の作成(結果)	まとめた結果を基に議論し、検討・改善する。
24	論文の作成(考察)	参考文献等を踏まえ、考察をまとめる。
25	論文の作成(考察)	まとめた考察を基に議論し、検討・改善する。
26	要旨の作成	論文の要旨を作成する。
27	投稿規定の確認	International Journal の投稿規定に沿っているか確認し、投稿の準備を行う。
28	論文投稿	投稿規定に沿って論文を投稿する。
29	研究発表	研究発表を行う。
30	まとめ	研究発表を踏まえ議論を行い、博士論文を見直し完成させる。

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅲ	担当	共同 主:平沼 憲治 副:舟橋 厚 副:平沼 直人	90分×30回	3年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

立案した研究計画に従って研究を行い、データ収集・解析し、結果をまとめて考察するなど、研究を実施してから論文にまとめるために必要な基礎能力を習得する。

具体的には、研究計画を基に実験を行い、得られたデータを統計学的に解析し、解析した結果をもとにグラフや表を作成する。さらに、参考文献等を踏まえ、考察を作成する。

これらのプロセスを通じて、研究の背景(目的)、研究方法、結果、考察を組み立て、論文作成ための基礎能力を習得する。

GIO:立案した研究計画に従って研究を行い、論文を作成するために必要な基礎能力を習得する。

SBOs:① 立案した研究計画を実行する行程表を作成する。② 本研究の準備を行う。③ 本研究を行う

④ データを集計し統計学的に検証する ⑤ 最終論文を作成する。

履修注意

先行研究を十分に行いし、研究にオリジナリティがあるか確認することが重要である。

評価方法

論文の内容(50%)、プレゼンテーション(50%)で総合的に評価します。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義内容等を説明する。
2	研究計画の確認	研究計画・行程表を作成する。
3	実験準備	実験に必要な人・物の準備・調整を行う。
4	実験準備	実験に必要な人・物の準備・調整を行う。
5	実験実施	実験を行いデータ収集する。
6	実験実施	実験を行いデータ収集する。
7	実験実施	実験を行いデータ収集する。
8	実験実施	実験を行いデータ収集する。
9	実験実施	実験を行いデータ収集する。
10	実験実施	実験を行いデータ収集する。
11	データ解析	収集したデータを統計学的に解析する。
12	データ解析	収集したデータを統計学的に解析する。
13	結果のまとめ	データ解析結果を表やグラフでまとめる。
14	結果のまとめ	データ解析結果を表やグラフでまとめる。
15	考察	結果から考察をまとめる。
16	考察	結果から考察をまとめる。
17	考察	結果から考察をまとめる。
18	論文の作成(背景、目的)	参考文献等を踏まえ、研究の背景、目的をまとめる。
19	論文の作成(背景、目的)	参考文献等を踏まえ、研究の背景、目的をまとめる。
20	論文の作成(方法)	研究デザインや研究手順を図表化して方法をまとめる。
21	論文の作成(方法)	研究デザインや研究手順を図表化して方法をまとめる。
22	論文の作成(結果)	作成した表やグラフを用いながら結果をまとめる。
23	論文の作成(結果)	作成した表やグラフを用いながら結果をまとめる。
24	論文の作成(考察)	参考文献等を踏まえ、考察をまとめる。
25	論文の作成(考察)	参考文献等を踏まえ、考察をまとめる。
26	要旨の作成	論文の要旨を作成する。
27	要旨の作成	論文の要旨を作成する。
28	プレゼンテーション	論文発表用のプレゼンテーションを行い、ディスカッションする。
29	論文の作成	目的、方法、結果、考察をまとめて論文を作成する。
30	論文の作成	目的、方法、結果、考察をまとめて論文を作成する。

教科書・参考書

特になし

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅲ	担当	共同 主：小川 理郎 副：後藤 真史奈	90分×30回	3年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

最終学年として研究計画に従って実験、データ収集と解析能力の向上、客観的な考察能力を修得し、学位論文を作成する。
 一般目標：研究計画に従って実験を行い、データの客観的な分析を実施し論文にまとめる能力を修得する。
 行動目標：①研究計画書が作成できる(精神・運動領域)。
 ②実験結果を統計学的に解析できる(認知領域)
 ③反対意見をもつ研究者に配慮が出来る(情意領域)

履修注意

プレゼンテーション資料は講義前に毎回、提出する。研究ノートは逐一記入する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行う。研究ノートを確認し、形成的評価を行う。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	実験のリサーチクエッションを設定する	リサーチクエッションを設定し、研究テーマと仮説を設定する
3	研究計画 1	これまでの研究および研究テーマを基に研究計画を作成する。
4	研究計画 2	作成した研究計画を基に議論を行い、改善点を抽出し、改善・完成させる。
5	実験準備 1	実験を行うにあたり、必要な書類の作成をする
6	実験準備 2	実験を行うにあたり、必要な機材等の手配を行う
7	実験準備 3	実験を行うにあたり、必要な人の調整を行う
8	実験 1	実験を行いデータ収集する。
9	実験 2	実験を行いデータ整理する。
10	実験 3	実験を行いデータ集計する。
11	データ解析 1	収集したデータを統計学的に解析する。
12	データ解析 2	収集したデータを統計学的に解析し、改善点を抽出する。
13	データ解析 3	収集したデータを統計学的に解析し、修正点を明確にする。
14	データ解析 4	収集したデータを統計学的に解析し、結論を導く。
15	実験結果の中間発表	実験で得られた結果の解析を行い、レポートにまとめる。リサーチクエッションの再設定を行う
16	実験計画 3	中間発表の結果を基に、実験計画を修正する
17	実験準備 4	修正された実験計画で必要とされる実験準備をする
18	実験 4	実験を実施、結果の検証をする
19	結果の作成 1	研究結果についてまとめていく。(図表の作成)
20	結果の作成 2	研究結果についてまとめていく。(図表の分析)
21	結果の作成 3	研究結果についてまとめていく。(形態分析)
22	結果の作成 4	研究結果についてまとめていく。(統計分析)
23	結果の作成 5	研究結果の文章をまとめる。
24	結果の作成 6	研究結果の文章を完成させる。
25	要旨の作成	結果から要旨をまとめる。
26	まとめの作成	研究全体の「まとめ」を行う。
27	投稿規定の確認	International Journal の投稿規定に沿っているか確認し、投稿の準備を行う。
28	論文投稿	投稿規定に沿って論文を投稿する。
29	研究発表	研究発表を行う。
30	まとめ	研究発表を踏まえ議論を行い、博士論文を見直し完成させる。

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅲ	担当	共同	90分×30回	3年	通年・集中
			主:小川 理郎 副:後藤 真吏奈		必修	4単位

講義概要・目標

GIO: 特別研究Ⅲはこれまでの特別研究および特別演習の総括である。卒業後に臨床現場で見つけたリサーチクエッションを研究テーマとして課題抽出し、科学的根拠に基づき研究できる能力の修得を確認する。具体的には、リサーチクエッションおよび仮説の設定から、研究計画・実施、結果の分析・論文作成・発表を行う。

SBO: ①研究を期間内に遂行できる。

②審査、論文発表会に向け発表内容を精選し、聴衆にわかりやすい発表準備ができる。

履修注意

研究論文についてプレゼンテーションしてください

評価方法

プレゼンテーション(50%), レポート(50%)で総合的に評価します。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する
2	実験のリサーチクエッションを設定する	リサーチクエッションを設定し、研究テーマと仮説を設定する
3	実験計画 1	研究テーマを基に実験計画を立てる
4	実験計画 2	研究テーマを基に実験計画を立てる
5	実験準備 1	実験を行うにあたり、必要な書類の作成をする
6	実験準備 2	実験を行うにあたり、必要な機材等の手配を行う
7	実験 1	実験を実施、結果の検証をする
8	実験 2	実験を実施、結果の検証をする
9	実験 3	実験を実施、結果の検証をする
10	実験 4	実験を実施、結果の検証をする
11	実験 5	実験を実施、結果の検証をする
12	実験 6	実験を実施、結果の検証をする
13	実験 7	実験を実施、結果の検証をする
14	実験 8	実験を実施、結果の検証をする
15	実験結果の中間発表	実験で得られた結果の解析を行い、レポートにまとめる。リサーチクエッションの再設定を行う
16	実験計画 3	中間発表の結果を基に、実験計画を修正する
17	実験準備 3	修正された実験計画で必要とされる実験準備をする
18	実験 9	実験を実施、結果の検証をする
19	実験 10	実験を実施、結果の検証をする
20	実験 11	実験を実施、結果の検証をする
21	実験 12	実験を実施、結果の検証をする
22	実験 13	実験を実施、結果の検証をする
23	実験結果の解析	実験で得られた結果の解析を行い、レポートにまとめる
24	論文作成 1	実験で得られた結果をもとに、論文を作成する
25	論文作成 2	実験で得られた結果をもとに、論文を作成する
26	論文作成 3	実験で得られた結果をもとに、論文を作成する
27	研究発表	研究発表について検討する
28	研究発表	研究発表について検討する
29	研究発表	研究発表について検討する
30	研究発表	特別研究Ⅲで行ったことをまとめてプレゼンテーションする

教科書・参考書

なし。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅲ	担当	共同 主: 山本 保博 副: 横田 裕行 副: 鈴木 健介	90分×30回	3年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

最終学年として研究計画に従って実験、データ収集と解析能力の向上、客観的な考察能力を修得し、学位論文を作成する。

一般目標: 研究計画に従って実験を行い、データの客観的な分析を実施し論文にまとめる能力を修得する。

行動目標: ①研究計画書が作成できる(精神・運動領域)。

②実験結果を統計学的に解析できる(認知領域)。

③反対意見をもつ研究者に配慮が出来る(情意領域)。

履修注意

プレゼンテーション資料と課題は次回講義前に毎回、提出する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行う。研究ノートを確認し、形成的評価を行う。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する。
2	研究計画の確認	これまでの研究を踏まえ、研究計画・行程表を完成させる。
3	実験準備1	実験に必要な人・物をデザインする。
4	実験準備2	実験に必要な人の準備・調整を行う。
5	実験準備3	実験に必要な物の準備・調整を行う。
6	実験実施1	実験を行いデータ収集する。
7	実験実施2	実験を行いデータ整理する。
8	実験実施3	実験を行いデータ集計する。
9	データ解析1	収集したデータを統計学的に解析する。
10	データ解析2	収集したデータを統計学的に解析し、改善点を抽出する。
11	データ解析3	収集したデータを統計学的に解析し、修正点を明確にする。
12	研究ノートの確認	形成的評価の一環としてポジティブフィードバックを行う
13	表・グラフの作成	データ解析結果から表やグラフを英文で作成する。
14	表・グラフの解説作成	表やグラフの解説を英文で作成する
15	考察のまとめ1	結果から考察をまとめる。
16	考察のまとめ2	結果から考察を英文で作成する。
17	考察のまとめ3	考察の裏付けとなる文献を引用する
18	論文の作成(背景)	最新の文献を引用し論文の背景を英文で作成する。
19	論文の作成(目的)	研究の目的を英文で作成する
20	論文の作成(方法)1	PICO/PECO に整理しながら方法を英文で作成する。
21	論文の作成(方法)2	実験デザインや実験手順を図表化する。
22	論文の作成(結果)1	作成した表を用いながら結果を英文で作成する。
23	論文の作成(結果)2	作成したグラフを用いながら結果を英文で作成する
24	論文の作成(考察)1	考察を英文でまとめる。
25	論文の作成(考察)2	考察の裏付けとなる文献を引用する
26	要旨の作成	論文の要旨を英文で作成する。
27	投稿規定の確認	International Journal の投稿規定に沿っているか確認し、投稿の準備を行う。
28	論文投稿	投稿規定に沿って論文を投稿する。
29	研究発表	研究発表を行う。
30	まとめ	研究発表を踏まえ議論を行い、博士論文を見直し完成させる。

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅲ	担当	共同 主: 山本 保博 副: 横田 裕行 副: 鈴木 健介	90分×30回	3年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

研究計画に従って実験を行い、データ収集・解析し、結果をまとめて考察するなど、実験を実施してから論文にまとめる能力を習得する。

GIO: 研究計画に従って実験を行い、結果や考察を論文にまとめる能力を習得する。

SBOs:

- ① 研究計画書が作成できる
- ② 倫理委員会に申請ができる
- ③ 実験結果を統計学的に解析できる
- ④ 投稿規定に沿った論文が作成できる

履修注意

プレゼンテーション資料は講義後に毎回、提出して下さい。

評価方法

プレゼンテーション資料(50%)、レポート(50%)で総合的に評価します。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義内容, 受講上の注意等を説明する。
2	研究計画の確認	研究計画・行程表を作成する。
3	実験準備 1	実験に必要な人・物の準備・調整を行う。
4	実験準備 2	倫理委員会の申請書を作成する
5	実験準備 3	倫理委員会に倫理申請をする
6	実験実施 1	実験を行いデータ収集する。
7	実験実施 2	実験を行いデータ収集する。
8	実験実施 3	実験を行いデータ集計する。
9	データ解析 1	収集したデータを統計学的に解析する。
10	データ解析 2	収集したデータを統計学的に解析する。
11	データ解析 3	収集したデータを統計学的に解析する。
12	結果のまとめ	データ解析結果を英文でまとめる
13	表・グラフの作成	データ解析結果から表やグラフを英文で作成する。
14	表・グラフの解説作成	表やグラフの解説を英文で作成する
15	考察のまとめ 1	結果から考察を英文で作成する。
16	考察のまとめ 2	結果から考察を英文で作成する。
17	考察のまとめ 3	考察の裏付けとなる文献を引用する
18	論文の作成(背景)	最新の文献を引用し論文の背景を英文で作成する。
19	論文の作成(目的)	研究の目的を英文で作成する
20	論文の作成(方法)1	PICO/PECO に整理しながら方法を英文で作成する。
21	論文の作成(方法)2	実験デザインや実験手順を図表化する。
22	論文の作成(結果)1	作成した表やグラフを用いながら結果を英文で作成する。
23	論文の作成(結果)2	作成した表やグラフを用いながら結果を英文で作成する
24	論文の作成(考察)1	考察を英文でまとめる。
25	論文の作成(考察)2	考察の裏付けとなる文献を引用する
26	要旨の作成	論文の要旨を英文で作成する。
27	投稿規定の確認 1	International Journal の投稿規定に沿っているか確認する
28	投稿規定の確認 2	International Journal の投稿規定に沿っているか確認する
29	研究発表 1	研究発表を行う
30	研究発表 2	研究発表を行う

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅲ	担当	共同	90分×30回	3年	通年・集中
			主:中里 浩一 副:鴻崎 香里奈		必修	4単位

講義概要・目標

最終学年として研究計画に従って実験、データ収集と解析能力の向上、客観的な考察能力を修得し、学位論文を作成する。
 一般目標:研究計画に従って実験を行い、データの客観的な分析を実施し論文にまとめる能力を修得する。
 行動目標:①研究計画書が作成できる(精神・運動領域)。
 ②実験結果を統計学的に解析できる(認知領域)。
 ③反対意見をもつ研究者に配慮が出来る(情意領域)。

履修注意

事前に自分自身で原著論文を蒐集し、かつ複数の先行研究から各小テーマに至る理論を組むことを要求される。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行う。研究ノートを確認し、形成的評価を行う。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する。
2	研究計画の作成	これまでの研究を踏まえ研究計画を完成させ、論文作成に当たっての注意事項を説明する。
3	小テーマ3の論文作成1	小テーマ3の実験を行いデータ収集する
4	小テーマ3の論文作成2	小テーマ3の実験を行いデータ集計する
5	小テーマ3の論文作成3	小テーマ3の集計データを統計学的に解析する
6	小テーマ3の論文作成4	特別研究Ⅱによるイントロダクションと得られたデータとの整合性を検討する
7	小テーマ3の論文作成5	小テーマ3における実験手法の確認を行う
8	小テーマ3の論文作成6	小テーマ3におけるデータから考察を行う
9	小テーマ3の論文作成7	小テーマ3におけるデータを考察し、結論を導く
10	小テーマ3まとめ	小テーマ3のまとめを行う
11	General introduction1	General introduction に必要な文献のレビューを行う
12	General introduction2	General introduction に必要な文献のレビューから、研究の背景をまとめる
13	General introduction3	General introduction に必要な文献のレビューを基に議論を行い、改善点を抽出する
14	General introduction4	General introduction 全体の構成を考察・検討する
15	General introduction5	General introduction 全体の構成のまとめを行う
16	小テーマ1	学位論文全体の中で小テーマ1の再検討を行う
17	小テーマ1	学位論文全体の中で小テーマ1の再検討を基に議論を行い、改善点を抽出する
18	小テーマ1	学位論文全体の中で小テーマ1の再検討を考察し、結論を導く
19	小テーマ2	学位論文全体の中で小テーマ2の再検討を行う
20	小テーマ2	学位論文全体の中で小テーマ2の再検討を基に議論を行い、改善点を抽出する
21	小テーマ2	学位論文全体の中で小テーマ2の再検討を考察し、結論を導く
22	小テーマ3	学位論文全体の中で小テーマ3の再検討を行う
23	小テーマ3	学位論文全体の中で小テーマ3の再検討を基に議論を行い、改善点を抽出する
24	小テーマ3	学位論文全体の中で小テーマ3の再検討を考察し、結論を導く
25	General discussion1	General discussion に必要な文献のレビューを行う
26	General discussion2	General discussion に必要な文献のレビューを基に議論を行い、改善点を抽出する
27	General discussion3	General discussion に必要な文献のレビューを考察し、結論を導く
28	論文投稿	投稿規定に沿って論文を投稿する。
29	研究発表	研究発表を行う。
30	まとめ	研究発表を踏まえ議論を行い、博士論文を見直し完成させる。

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅲ	担当	共同	90分×30回	3年	通年・集中
			主:中里 浩一 副:鴻崎 香里奈		必修	4単位

講義概要・目標

本講義では自身の博士学位請求論文を作成するために必要な考え方を学ぶ。救急災害医療学特別演習ⅡおよびⅢ(以下特別演習Ⅱおよび特別演習Ⅲ)と関連させながら本講義は展開される。本講義の最終的な目標は博士学位請求論文を作成すること。

履修注意

事前に自分自身で原著論文を蒐集し、かつ複数の先行研究から各小テーマに至る理論を組むことを要求される。

評価方法

討論中の発言や態度を評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	イントロダクション	本講義の進め方や全体像の概説を行う
2	小テーマ3の論文作成1	小テーマ3の実験データ計画をプレゼン、議論する
3	小テーマ3の論文作成2	小テーマ3の実験データをプレゼン、議論する1
4	小テーマ3の論文作成3	小テーマ3の実験データをプレゼン、議論する2
5	小テーマ3の論文作成4	小テーマ3の実験データをプレゼン、議論する3
6	小テーマ3の論文作成5	特別研究Ⅱによるイントロダクションと得られたデータとの整合性を検討する
7	小テーマ3の論文作成6	小テーマ3における実験手法の確認を行う
8	小テーマ3の論文作成7	小テーマ3におけるデータから考察を行う1
9	小テーマ3の論文作成8	小テーマ3におけるデータから考察を行う2
10	小テーマ3まとめ	小テーマ3のまとめを行う
11	General introduction1	General introductionに必要な文献のレビューを行う1
12	General introduction2	General introductionに必要な文献のレビューを行う2
13	General introduction3	General introductionに必要な文献のレビューを行う3
14	General introduction4	General introduction全体の構成を検討する1
15	General introduction5	General introduction全体の構成を検討する2
16	小テーマ1	学位論文全体の中での小テーマ1の再検討を行う1
17	小テーマ1	学位論文全体の中での小テーマ1の再検討を行う2
18	小テーマ1	学位論文全体の中での小テーマ1の再検討を行う3
19	小テーマ2	学位論文全体の中での小テーマ2の再検討を行う1
20	小テーマ2	学位論文全体の中での小テーマ2の再検討を行う2
21	小テーマ2	学位論文全体の中での小テーマ2の再検討を行う3
22	小テーマ3	学位論文全体の中での小テーマ3の再検討を行う1
23	小テーマ3	学位論文全体の中での小テーマ3の再検討を行う2
24	小テーマ3	学位論文全体の中での小テーマ3の再検討を行う3
25	General discussion1	General discussionに必要な文献のレビューを行う1
26	General discussion2	General discussionに必要な文献のレビューを行う2
27	General discussion3	General discussionに必要な文献のレビューを行う3
28	General discussion4	General discussion全体の構成を検討する1
29	General discussion5	General discussion全体の構成を検討する2
30	まとめ	学位論文全体の構成を再確認する

教科書・参考書

特になし。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅲ	担当	共同 主:小林 正利 副:遠藤 直哉	90分×30回	3年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

最終学年として研究計画に従って実験、データ収集と解析能力の向上、客観的な考察能力を修得し、学位論文を作成する。
 一般目標:研究計画に従って実験を行い、データの客観的な分析を実施し論文にまとめる能力を修得する。
 行動目標:①研究計画書が作成できる(精神・運動領域)。
 ②実験結果を統計学的に解析できる(認知領域)。
 ③反対意見をもつ研究者に配慮が出来る(情意領域)。

履修注意

プレゼンテーション資料と課題は次回講義前に毎回、提出する。

評価方法

教員間での評価が異ならないように情報交換を行う。研究ノートを確認し、形成的評価を行う。認知領域はレポート、客観試験、精神・運動領域と情意領域の評価は観察記録で総合的な総括的評価を行う。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の概要・目標・履修上の注意・評価方法について説明する。
2	研究計画の作成	これまでの研究を踏まえ、研究計画を完成させる。
3	目的の作成	背景・仮説を述べるため、先行研究と比較引用しながら論文を作成する。
4	方法の作成 1	研究材料について解析する。
5	方法の作成 2	研究データについて統計学的に解析する。
6	方法の作成 3	研究材料、研究データについてまとめる。
7	方法の作成 4	研究方法について実験デザインを図表化してまとめていく。
8	方法の作成 5	研究方法について実験手順を図表化してまとめていく。
9	方法の作成 6	研究方法についてまとめていく。
10	実験の準備 1	実験に必要な実験動物・物品の準備・調整を行う。
11	実験の準備 2	実験に必要な化学固定試薬、緩衝液等の準備・調整を行う。
12	実験の実施 1	実験動物を化学固定し、組織を摘出する。
13	実験の実施 2	摘出組織を包埋し、ブロックを作製する。
14	実験の実施 3	免疫組織化学染色を行う為の試薬を調整する。
15	実験の実施 4	ブロック包埋試料をマイクロームで薄切しプレパラートに貼付する。
16	実験の準備 3	1回目の実験から改善すべきことをまとめ、人・実験動物・物品の準備・調整を行う。
17	実験の準備 4	1回目の実験から改善すべきことをまとめ、必要な試薬の準備・調整を行う。
18	実験の実施 5	実験を行い実験動物を化学固定し試料を摘出後、ブロック包埋する。
19	実験の実施 6	ブロック包埋した試料を薄切し、免疫組織化学染色をおこなう。
20	結果の作成	研究結果の文章をまとめる(図表の作成・統計学的分析)。
21	考察の作成 1	先行研究を比較しながら考察をまとめていく。
22	考察の作成 2	参考文献等を踏まえ、考察をまとめていく。
23	考察の作成 3	結果から考察をまとめる。
24	要旨の作成 1	先行研究を引用しながら要旨をまとめていく。
25	要旨の作成 2	先行研究を比較しながら要旨をまとめていく。
26	要旨の作成 3	結果から要旨をまとめる。
27	まとめの作成	研究全体の「まとめ」を行う。
28	論文投稿	投稿規定に沿って論文を投稿する。
29	研究発表	研究発表を行う。
30	まとめ	研究発表を踏まえ議論を行い、博士論文を見直し完成させる。

教科書・参考書

必要に応じて提示する。

科目	救急災害医療学 特別研究Ⅲ	担当	共同 主:小林 正利 副:遠藤 直哉	90分×30回	3年	通年・集中
					必修	4単位

講義概要・目標

一連の研究過程を通して、救急災害医療学のうち形態研究に関する博士論文を完成させる。

履修注意

論文の論理構成を確認し、議論しながら博士論文を完成させる。

評価方法

博士論文の提出をもって評価する。

講義計画・内容

回	項目	内容
1	オリエンテーション	論文作成に当たっての注意事項を説明する。
2	目的の作成 1	背景や仮説を述べるため、先行研究と比較引用しながら書いていく。
3	目的の作成 2	背景や仮説を述べるため、先行研究と比較引用しながら書いていく。
4	目的の作成 3	背景や仮説を述べるため、先行研究と比較引用しながら書いていく。
5	目的の作成 4	背景や仮説を述べるため、先行研究と比較引用しながらまとめる。
6	目的の作成 5	背景と目的の文章をまとめる。
7	目的の作成 6	背景と目的の文章を完成させる。
8	方法の作成 1	研究材料についてまとめていく。
9	方法の作成 2	研究材料についてまとめていく。
10	方法の作成 3	研究材料についてまとめていく。
11	方法の作成 4	研究方法についてまとめていく。
12	方法の作成 5	研究方法についてまとめていく。
13	方法の作成 6	研究方法についてまとめていく。
14	結果の作成 1	研究結果についてまとめていく。(図表の作成)
15	結果の作成 2	研究結果についてまとめていく。(図表の作成)
16	結果の作成 3	研究結果についてまとめていく。(形態分析)
17	結果の作成 4	研究結果についてまとめていく。(統計分析)
18	結果の作成 5	研究結果の文章をまとめる。
19	結果の作成 6	研究結果の文章を完成させる。
20	考察の作成 1	先行研究を引用・比較しながら考察をまとめていく。
21	考察の作成 2	先行研究を引用・比較しながら考察をまとめていく。
22	考察の作成 3	先行研究を引用・比較しながら考察をまとめていく。
23	考察の作成 4	先行研究を引用・比較しながら考察をまとめていく。
24	考察の作成 5	先行研究を引用・比較しながら考察をまとめていく。
25	考察の作成 6	先行研究を引用・比較しながら考察をまとめていく。
26	考察の作成 7	先行研究を引用・比較しながら考察をまとめる。
27	まとめの作成	研究全体の「まとめ」を行う。
28	引用文献の整理 1	引用文献を整理する。
29	引用文献の整理 2	引用文献を整理・記述する。
30	提出前の見直し	全体を通して博士論文全体を見直す。

教科書・参考書

必要に応じて提示する。

(改善事項) 保健医療学研究科救急災害医療学専攻 (D) (博士課程)

2. 【第一次審査意見4の回答について】

<論文審査方法の記載内容の改善>

博士論文審査の前提条件として示された2編以上の論文について、「保健医療学研究科委員会においてこれらに準ずると認められたものと含む」とあるが、論文審査の質保証の観点から、「これらに準ずる」とあるのは、「これらと同等」と改めることが望ましい。

(対応)

博士論文審査の前提条件として定める2編以上の論文について、下記のとおり改める。

「主論文として impact factor の値がある国際的学術雑誌に掲載または掲載が許可されている論文1編以上と、副論文として国内外を問わず査読者付き学術雑誌に掲載または掲載が許可されている論文を1編以上有することを条件とする。

ただし、上述の主論文及び副論文には、保健医療学研究科委員会においてこれらと同等と認められたものを含む。」

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (12 ページ)

新	旧
<p>博士の学位論文の審査を申請できるのは、前項の申請資格を有するとともに、主論文として impact factor の値がある国際的学術雑誌に掲載または掲載が許可されている論文 1 編以上と、副論文として国内外を問わず査読者付き学術雑誌に掲載または掲載が許可されている論文を 1 編以上有することを条件とする。</p> <p>ただし、上述の主論文及び副論文には、保健医療学研究科委員会においてこれら<u>と同等</u>と認められたものを含む。</p>	<p>博士の学位論文の審査を申請できるのは、前項の申請資格を有するとともに、主論文として impact factor の値がある国際的学術雑誌に掲載または掲載が許可されている論文 1 編以上と、副論文として国内外を問わず査読者付き学術雑誌に掲載または掲載が許可されている論文を 1 編以上有することを条件とする。</p> <p>ただし、上述の主論文及び副論文には、保健医療学研究科委員会においてこれら<u>に準ずる</u>と認められたものを含む。</p>